

消防年報

FIRE SERVICE ANNUAL REPORT 2021



浮羽消防署本署 救急車(令和4年3月 納車)



三井消防署三国出張所 救急車(令和4年3月 納車)



久留米消防署西出張所 救急車(令和4年3月 納車)

令和3年版

(令和4年度刊行)

久留米広域消防本部

は じ め に

この消防年報は、当消防本部が管轄する 4 市 2 町の現勢、当消防本部の消防力の現状及び令和 3 年中の災害統計等を広く紹介するとともに、将来の消防行政の基本資料とするために編集したものです。

統計資料は暦年、予算に関する事項は会計年度、それ以外は各表に記した年月日現在の内容を表しています。

消防防災関係機関をはじめ、多くの皆さまに当消防行政をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和 4 年 9 月

久留米広域消防本部

「やすらぎの鐘」

この半鐘は、直径 45 c m、高さ 77 c m、重さ 60 k g の青銅製で、明治 21 年に植木政則氏によって作成されたものです。

愛称「やすらぎの鐘」は、消防庁舎のシンボルとして地上高 25m の先端に位置し、皆さまの安全を見守り続けています。



— やすらぎの鐘 —





久留米広域市町村圏事務組合 久留米広域消防本部

昭和 45 年 10 月に設立した久留米広域市町村圏事務組合は、圏域の一体的な発展に資する事業を展開してきましたが、平成 21 年 4 月の久留米市消防本部と福岡県南広域消防組合消防本部の統合に伴い新たに消防事務が追加され、久留米広域消防本部による消防行政を開始しました。

組合章は、久留米広域の「久」の字をデザイン化したもので、青色は母なる川「筑後川」、緑色は緑豊かな「筑後平野」、赤色は圏域住民の活力と発展そして郷土を愛する情熱と団結を表したものです。

～ 構成市町章 ～



久 留 米 市



大 川 市



小 郡 市



う き は 市

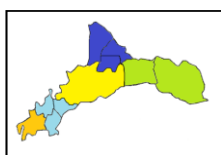


大 刀 洗 町



大 木 町

一 目 統 計



管内面積
467.83 k m²



管内人口
453,704人



管内世帯
196,672世帯



消防本部の位置
東経130° 31' 08"
北緯 33° 19' 13"



消防予算
54億3千4百万円



署・所
1本部5署7出張所



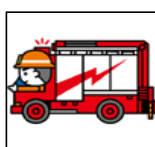
職 員 数
定 数 464人
実 員 431人



団 員 数
定 員 2,949人
実 員 2,740人



ポンプ車等
ポンプ車 15台
水槽付ポンプ車 10台
指揮車 5台
ホース延長車 4台
資材搬送車 5台



主な特殊車両
化学車 1台
はしご車 4台
救助工作車 6台
大型水槽車 1台
支援車 3台
津波・大規模風水害対策車 1台



救 急 車
救急車 20台



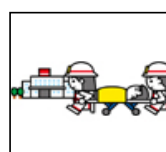
水 利
消火栓 5,199基
防火水槽 1,467基
その他 647基



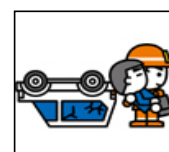
119受信件数
28,238件



火 災
1位 たき火 18件
2位 たばこ 15件
3位 こんろ/電灯・電話等の配線 各8件



救 急
出場件数 20,800件
搬送人員 19,293人



救 助
出場件数 295件
救出人員 317人



防火対象物数
19,672件
(うち防火管理者が必要な対象物) 3,501件



危険物数
製造所 8件
貯蔵所 562件
取扱所 352件



建築同意数
714件
(令和3年度)



関係団体数
消防設備士会 70事業所
防災協会 1,263事業所
女性防火クラブ 33クラブ
幼年消防クラブ 121団体
少年消防クラブ 3団体

目 次

総務編

管内の概要	1
管轄署所配置図	2
消防署所の現状	3
組織系統図	5
消防吏員等の配置状況	6
職員の階級別年齢	7
職員の階級別勤続年数	7
職員研修派遣状況	8
職員の資格・免許取得状況	9
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
久留米広域消防本部予算	10
構成市町別負担金	10
久留米広域消防音楽隊	11

予防編

防火対象物の状況	12
防火対象物査察状況	13
防火管理者の選任状況	14
防火管理者資格取得講習会受講者数	15
消防同意等の状況	16
危険物施設査察状況	17
危険物規制事務処理状況	18
政令、条例に基づく事務処理状況	19
関係団体の状況	20

警防編

消防車両等配置状況	21
救助資機材保有状況	22
緊急消防援助隊の登録隊数	23
消防水利の現況	24

通信編

消防通信指令業務の共同運用の概要	25
消防指令システム及び無線運用イメージ図 (デジタル無線回線構成図)	26
119 受信状況 (構成市町等別)	27
119 受信状況 (月別)	28
気象状況	29

火災統計

火災の概況	30
火災発生状況 (市町別)	32
過去 5 年間の火災発生状況 (消防本部)	33
過去 5 年間の火災発生状況 (構成市町別)	34
月別火災発生状況	40
火災種別・出火原因別件数 (消防本部)	41
構成市町別・出火原因別件数	42
月別・出火原因別件数 (消防本部)	43

校区別・火災種別件数	44
月別・火災種別件数	46
曜日別・火災種別件数	47
時間帯別・火災種別件数	48
その他の災害出動状況	49

救急統計

救急の概況	50
事故種別出動件数	52
救急出動件数・搬送人員の推移	53
救急搬送時間の推移	53
月別出動件数・搬送人員	54
事故種別・月別出動件数	54
事故種別・月別搬送人員	54
曜日別出動件数・搬送人員	55
事故種別・曜日別出動件数	55
事故種別・曜日別搬送人員	55
時間帯別出動件数・搬送人員	56
事故種別・時間帯別出動件数	56
事故種別・時間帯別搬送人員	56
事故種別・傷病程度別搬送人員	57
事故種別・年齢区分別搬送人員	57
事故種別・性別搬送人員	57
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	58
署所別出動件数・搬送人員	59
事故種別応急処置状況	60
事故種別・校区別出動件数	61
普通救命講習実施状況	63

過去 3 年間の

普通救命講習受講者の推移 63

救助統計

救助の概況	64
事故種別救助出動件数	65
月別出動件数	66
曜日別出動件数	66
時間別出動件数	67
傷病程度別救出人員	68
年齢別救出人員	68
救出時間別人員	68
校区別出動件数	69

資料編

歴代消防長	71
消防本部沿革	73
消防本部施策概要	94
消防本部・消防署の事務分掌	96
久留米広域消防本部管内消防団の概要	98
構成市町消防団配置図	98
構成市町消防団組織系統図	99

総務編

管内の概要

当消防本部は九州の北部、福岡県南西部に位置（東経 130 度 31 分 08 秒、北緯 33 度 19 分 13 秒）し、東西に連なる耳納の山々から望む管内は、有明海に注ぐ九州一の大河筑後川が貫流し、筑後川に沿って広大な筑紫平野が広がる温暖で四季の変化に富んだ気候風土に恵まれた地域です。

管内の中心都市である中核市久留米市は、城下町から軍都、ゴム工業都市、さらには近代商工業都市として発展し、福岡県南部地域の産業・経済・文化の拠点都市として位置付けられています。

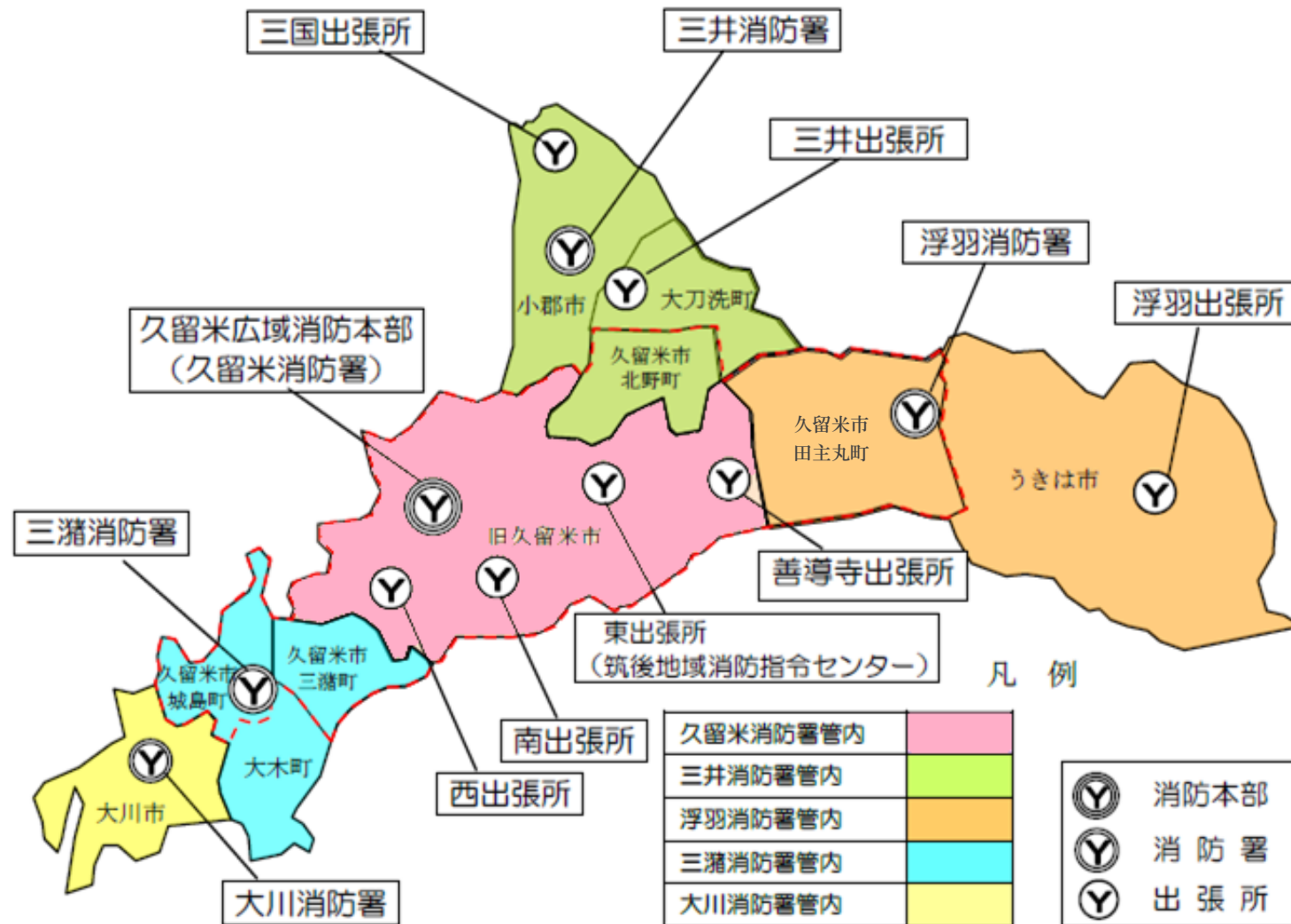
管内の構成市町は、この久留米市を中心に、豊かな自然を持ち、歴史的資源にも恵まれ、フルーツや苗木などの主産地である東部エリア（うきは市、久留米市田主丸地区）、都市圏からの人口流入による都市化傾向が見られ、多様なそ菜、園芸作物の生産が盛んな北部エリア（小郡市、大刀洗町、久留米市北野地区）、農業地帯としての特色を持ち、木工関連産業及び酒造業などの伝統的地場産業が盛んな西部エリア（大川市、大木町、久留米市城島・三潞地区）の 3 つの特色あるエリアで形成されています。

また、筑後川によって形成された肥沃な沖積地では、米・麦のほか多種類の野菜や果物の生産が盛んであり、県内でも有数の生産地となっています。

（令和 4 年 1 月 1 日現在）

	面積（k m ² ）	人口（人）	世帯数（世帯）
久留米市	229.96	303,052	135,357
大川市	33.62	32,845	13,897
小郡市	45.51	59,434	25,081
うきは市	117.46	28,523	11,249
大刀洗町	22.84	15,857	5,928
大木町	18.44	13,993	5,160
合計	467.83	453,704	196,672

管轄署所配置図（5 署 7 出張所）



消 防 署 所 の 現 状

令和4年4月1日



久留米広域消防本部・久留米消防署

所 在 地	久留米市東櫛原町999番地1
敷地面積	3,300.74㎡
建築面積	1,052.42㎡
延 面 積	3,564.72㎡
建築年月日	平成6年10月1日



東出張所（筑後地域消防指令センター）

所 在 地	久留米市山川杵形町3番15号
敷地面積	2,326.73㎡
建築面積	(庁舎) 624.61㎡ (訓練塔) 71.86㎡
延 面 積	(庁舎) 2,721.02㎡ (訓練塔) 238.39㎡
建築年月日	平成26年11月28日



南出張所

所 在 地	久留米市上津1丁目5番20号
敷地面積	1,443.77㎡
建築面積	561.50㎡
延 面 積	793.96㎡
建築年月日	平成10年7月1日



西出張所

所 在 地	久留米市大善寺町宮本96番地44
敷地面積	936.00㎡
建築面積	399.46㎡
延 面 積	815.49㎡
建築年月日	平成16年11月1日



善導寺出張所

所 在 地	久留米市善導寺町島188番地1
敷地面積	2,510.76㎡
建築面積	653.5㎡
延 面 積	928.76㎡
建築年月日	平成28年12月20日



三井消防署

所 在 地	小郡市大板井279番地2
敷地面積	4,828.35㎡
建築面積	705.09㎡
延 面 積	1,083.07㎡
建築年月日	昭和47年8月1日



三井出張所

所在地	三井郡大刀洗町大字下高橋381番地1		
敷地面積	7,974.97㎡		
建築面積	(庁舎) 666.50㎡	(訓練塔)	42.00㎡
延面積	(庁舎) 888.92㎡	(訓練塔)	126.00㎡
建築年月日	平成13年2月28日		



三国出張所

所在地	小郡市三沢4626番地5		
敷地面積	3,318.97㎡		
建築面積	283.01㎡		
延面積	395.86㎡		
建築年月日	昭和63年11月1日		



浮羽消防署

所在地	久留米市田主丸町鷹取682番地1		
敷地面積	4,550.41㎡		
建築面積	672.36㎡		
延面積	1,061.70㎡		
建築年月日	昭和47年8月1日		



浮羽出張所

所在地	うきは市浮羽町東隈上419番地7		
敷地面積	4,194.00㎡		
建築面積	381.04㎡		
延面積	381.04㎡		
建築年月日	昭和48年5月1日		



三潴消防署

所在地	久留米市城島町江上上165番地1		
敷地面積	7,449.00㎡		
建築面積	1,236.39㎡		
延面積	1,681.17㎡		
建築年月日	平成30年2月13日		

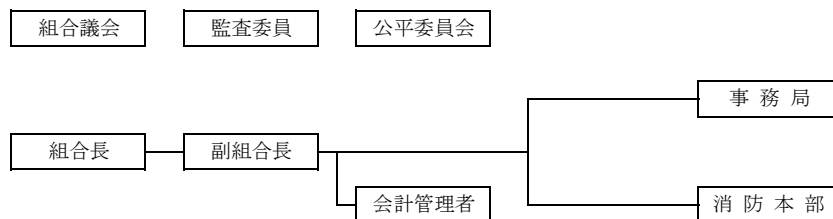


大川消防署

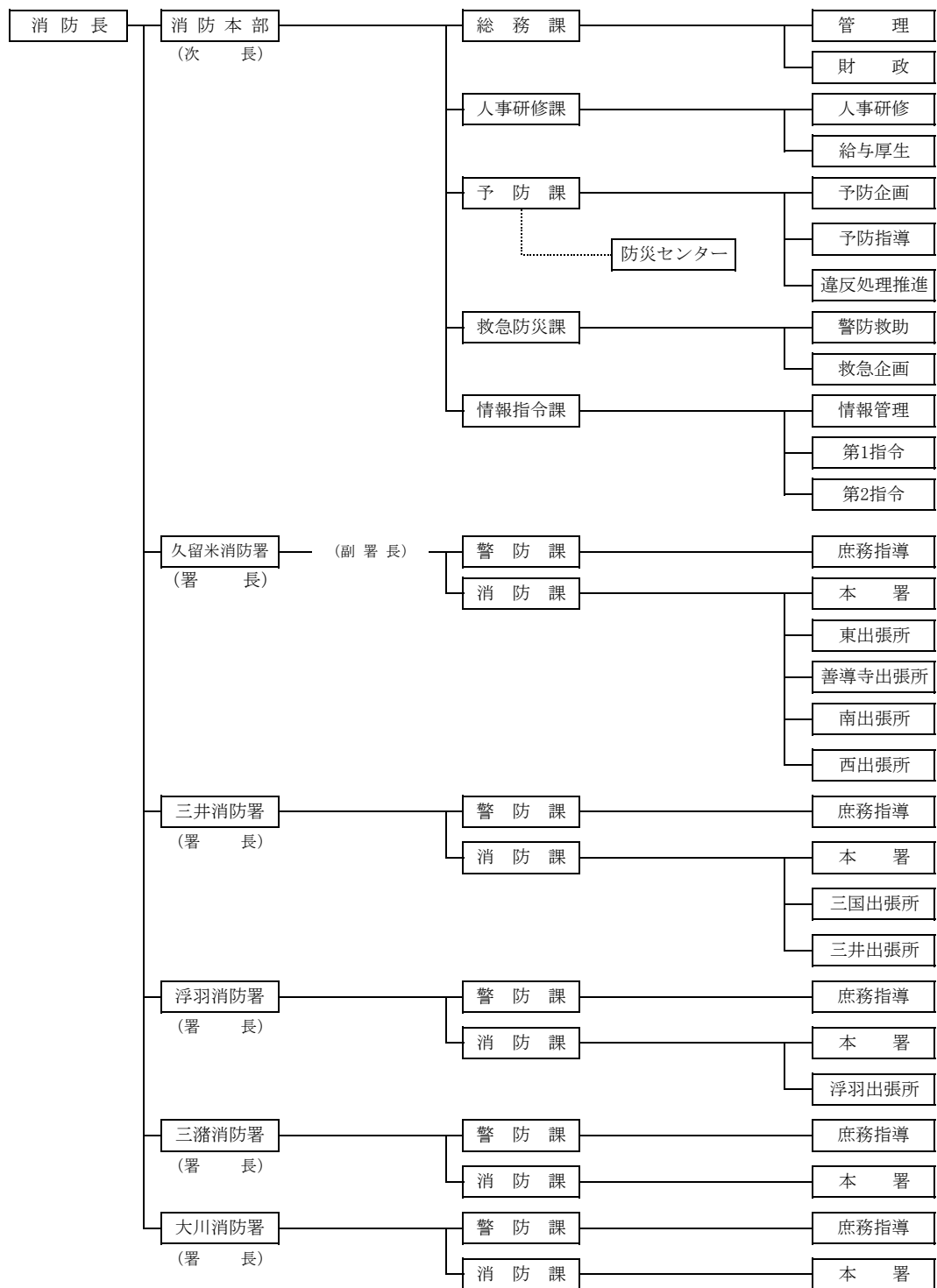
所在地	大川市大字郷原483番地5		
敷地面積	2,980.42㎡		
建築面積	367.88㎡		
延面積	979.60㎡		
建築年月日	昭和48年3月15日		

組 織 系 統 図

1 久留米広域市町村圏事務組合の組織



2 久留米広域消防本部の組織



消防吏員等の配置状況

(令和4年4月1日現在)

階 級 所 属		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	消 防 職 員	任会 用計 職年 員度
久留米広域市町村圏事務組合 事務局											2	
消 防 本 部	消 防 長	1								1		
	次 長		1							1		
	総 務 課		1		4	2	2			9		3
	人 事 研 修 課 (付職員)			1	3	1	4		(10)	19		1
	予 防 課			1	8		8			17		4
	救 急 防 災 課		1	1	9	4	3			18	1	
	情 報 指 令 課			1	8	4	5	1		19		
	小 計	1	3	4	32	11	22	1	10	84	1	8
久留米消防署	署 長		1							1		
	警 防 課			1	2	1	2			6		1
	消防課 (第1・第2)	本 署		4	2	7	13		14	40		
		東 出 張 所			6	7	19		2	34		
		善導寺出張所			4	4	4		6	18		
		南 出 張 所			6	5	8		5	24		
		西 出 張 所			4	4	6		4	18		
	小 計	0	1	5	24	28	52	0	31	141	0	1
三井消防署	署 長		1							1		
	警 防 課				2	1				3		
	消防課 (第1・第2)	本 署		2	6	8	10		8	34		
		三 国 出 張 所			4	4	5	1	2	16		
		三 井 出 張 所		1	4	4	4		6	19		
	小 計	0	1	3	16	17	19	1	16	73	0	0
浮羽消防署	署 長		1							1		
	警 防 課				2	1				3		1
	消防課 (第1・第2)	本 署		2	6	8	12		6	34		
		浮羽出張所			4	4	5		3	16		
	小 計	0	1	2	12	13	17	0	9	54	0	1
三瀬消防署	署 長		1							1		
	警 防 課				2		1			3		1
	消防課 (第1・第2)	本 署		2	6	8	9		10	35		
	小 計	0	1	2	8	8	10	0	10	39	0	1
大川消防署	署 長		1							1		
	警 防 課				2		1			3		
	消防課 (第1・第2)	本 署		2	6	7	16		7	38		
	小 計	0	1	2	8	7	17	0	7	42	0	0
合 計		1	8	18	100	84	137	2	83	433	3	11

※ 合計欄433人は、実員431人に再任用短時間勤務の消防吏員4名を含み、久留米広域市町村圏事務組合事務局職員2人を除いた数

職員の階級別年齢

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
30歳未満							15		81	96
30歳～・ 40歳未満				2	39	107		2		150
40歳～・ 50歳未満			3	61	43	8	2			117
50歳以上	1	8	15	38	3	7				72
計	1	8	18	101	85	137	2	83		435
平均年齢	59.0	57.1	52.8	48.4	40.7	35.0	49.0	24.3		37.8

職員の階級別勤続年数

(令和4年4月1日現在)

階級 年数	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
10年未満			1		3		28		83	115
10年～・ 20年未満					9	49	96			154
20年～・ 30年未満				4	56	32	6	2		100
30年以上	1	7	14	33	4	7				66
計	1	8	18	101	85	137	2	83		435
平均年数	37.0	33.1	32.6	26.6	19.6	13.3	29.0	3.6		16.5

※ 各表の合計欄435人は、実員431人に再任用短時間勤務の消防吏員4人を含んだ数

職員研修派遣状況

区分	研 修 機 関	研 修 内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学 校 教 育	消防大学校	上級幹部科			
		幹部科			
		新任消防長・学校長科			
		警防科	1		
		予防科			
		救急科			
		救助科			
		火災調査科	1		
		危険物科			
		高度救助・特別高度救助コース			1
		N B C コース			
		査察業務マネジメントコース			
		女性消防吏員活躍推進講習会			
	福岡県消防学校	初任教育	9	9	12
		初級幹部科（A）	4	1	
		初級幹部科（B）	3	1	
		中級幹部科	2		
		上級幹部科		1	
		特殊災害科	2		
		救助科	6		6
		救急科	10	9	11
		予防科			
		危険物科			
		予防査察科			
		火災調査科	5		
		消防操法指導者研修会			
		警防実務研修	3		
		はしご自動車教育			3
		救急救命士処置拡大講習	7		
そ の 他	救急救命研修所	救急救命士	3	3	3
		指導救命士養成研修	2	1	
	福岡県市町村職員研修所		13	6	10
	安全運転中央研修所	消防・救急緊急自動車運転技能者課程	1		
計			72	31	46

職員の資格・免許取得状況

(令和4年4月1日現在)

資格・免許の種別	救急Ⅱ課程(含む)	救急救命士	自動車運転免許(大型)	自動車運転免許(中型)	自動車運転免許(8トン限定)	自動車運転免許(普通)	小型船舶操縦士	潜水士	移動式クレーン	玉掛	特殊無線技士	高圧ガス製造保安責任者	特定化学物質等作業主任者	衛生管理者
数	272	109	264	92	30	45	198	319	233	233	192	12	18	35

消防力の整備指針と現有消防力の比較

区 分		指 針	現 有	充 足 率
署所の数		14署所	12署所	85.7%
消防隊員数		685人	433人	63.2%
消防ポンプ自動車	ポンプ車	21台	11台	95.2%
	タンク車		9台	
化学車		1台	1台	100.0%
はしご車		5台	4台	80.0%
救助工作車		5台	5台	100.0%
救急自動車		17台	17台	100.0%
指揮車		5台	5台	100.0%
非常用消防ポンプ自動車		5台	5台	100.0%
非常用救急自動車		4台	3台	75.0%
消防水利		5499箇所	4462箇所	81.1%

※ 数値は、令和元年度消防施設整備計画実態調査の調査結果

令和4年度 久留米広域消防本部 予算

歳入

(単位:千円)

	令和4年度	令和3年度	増減
分担金及び負担金	4,442,428	4,512,449	▲ 70,021
使用料及び手数料	3,850	3,850	0
国庫支出金	1	1	0
県支出金	1	1	0
財産収入	1,818	2,519	▲ 701
繰入金	85,000	1	84,999
繰越金	407,152	348,455	58,697
諸収入	27,750	28,324	▲ 574
組合債	466,000	81,400	384,600
歳入合計	5,434,000	4,977,000	457,000

歳出

(単位:千円)

	令和4年度	令和3年度	増減
消 防 費	4,805,240	4,432,640	372,600
常備消防費	4,217,502	4,210,796	6,706
消防施設費	587,738	221,844	365,894
公 債 費	478,760	394,360	84,400
予 備 費	150,000	150,000	0
歳 出 合 計	5,434,000	4,977,000	457,000

令和4年度 構成市町別負担金

《市町負担金内訳》

(単位:千円)

負担金種別	久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	合計
経常費負担金	2,548,870	380,741	454,321	330,172	158,392	130,114	4,002,610
退職手当特別負担金 (旧県南広域消防職員分)	23,439		15,136	12,437	5,690	4,736	61,438
退職手当特別負担金 (第一広域化後採用職員分)	32,364		5,535	4,179	1,947	1,616	45,641
地域医療連携事業特別負担金	3,490						3,490
投資の経費事業等特別負担金 (庁舎建設分)	5,376		18,754		4,903		29,033
投資の経費事業等特別負担金 (特殊車両整備事業分)	29,885		646		169		30,700
公債費特別負担金 (3市2町経常経費分)	46,755		7,996	6,038	2,813	2,335	65,937
公債費特別負担金 (投資の経費分)	78,907			19,350		21,508	119,765
計	220,216	0	48,067	42,004	15,522	30,195	356,004
合計	2,769,086	380,741	502,388	372,176	173,914	160,309	4,358,614

久留米広域消防音楽隊

久留米広域消防音楽隊は、前身の久留米市消防音楽隊として音楽演奏による防火・防災広報を目的に昭和54年6月に発足し、管内の各地域で行われる行事、小学校での演奏など、幅広い活動を展開しています。



令和3年度 音楽隊出場状況

出場先	回数
消 防 関 係	0
構 成 市 町 関 係	0
学 校 関 係	1
そ の 他	0
合 計	1

演奏形式	回数
式 典	0
ス テ ー ジ 演 奏	0
パ レ ー ド	0
そ の 他	1
合 計	1

予 防 編

防火対象物の状況

(令和3年4月1日)

用途 (項)			対象物総数 (R3. 4. 1現在)		久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三潞消防署		大川消防署	
			棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	25	11	18	4	2	2	3	3	1	1	1	1
	ロ	公会堂・集会場	231	192	113	96	43	34	36	29	24	18	15	15
2	イ	キャバレー・クラブ等	3	3	3	3								
	ロ	遊技場・ダンスホール	37	29	25	19	7	5	1	1			4	4
	ハ	風俗営業関係												
	二	カラオケボックス等	15	12	8	7	2	2	2	2	0	0	3	1
3	イ	待合・料理店等	16	15	8	7	2	2	1	1	1	1	4	4
	ロ	飲食店	818	785	459	449	91	78	119	110	28	27	121	121
4		百貨店・店舗・マーケット	809	728	435	400	112	100	119	93	51	46	92	89
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	165	80	76	44	52	7	29	23			8	6
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	5, 336	3, 969	3926	2, 953	743	539	256	166	220	160	191	151
6	イ	(1) 特定診療科名を有する病院等	72	25	60	17	5	3	3	2	2	1	2	2
		(2) 特定診療科名を有する有床診療所等	29	29	15	15	6	6	4	4	2	2	2	2
		(3) (1)、(2)以外の病院、 有床診療所及び有床助産所	130	46	92	26	19	10	13	5	2	2	4	3
		(4) 無床診療所及び無床助産所	350	338	209	204	58	55	35	33	22	22	26	24
	ロ	(1) 特別養護老人ホーム等	268	217	136	110	44	35	20	19	43	33	25	20
		(2) 救護施設												
		(3) 乳児院	1	1			1	1						
		(4) 障害児入所施設	2	4			2	4						
		(5) 障害者支援施設等	58	30	25	12	12	7	6	2	14	8	1	1
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	115	102	55	51	24	21	18	15	7	7	11	8
		(2) 更生施設												
		(3) 保育所等	229	147	115	72	53	30	19	16	20	14	22	15
		(4) 児童発達支援センター等	31	26	11	11	14	9	3	3	2	2	1	1
		(5) 身体障害者福祉センター等	118	85	37	34	38	20	24	17	6	4	13	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校	80	36	47	22	18	8	4	3	9	3	2	
7		小中高大学・専修学校等	726	155	406	72	119	30	89	21	57	16	55	16
8		図書館・美術館等	22	14	7	6	5	2	4	1	3	3	3	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	7	6	1	1					2	2	4	3
	ロ	イ以外の公衆浴場	23	5	3	2	1		19	3				
10		停車場・航空機等の発着場	8	2	2	1	5	1	1					
11		神社・寺院・教会等	353	232	175	124	88	49	43	18	32	26	15	15
12	イ	工場・作業場	2, 324	1, 445	963	543	291	202	381	215	354	227	335	258
	ロ	映画・テレビスタジオ												
13	イ	自動車庫車・駐車場	193	104	83	70	41	10	62	21	3	2	4	1
	ロ	飛行機等の格納庫												
14		倉庫	1, 974	1, 147	649	505	314	131	410	124	204	143	397	244
15		前各項に該当しない事務所	2, 511	1, 384	1113	778	588	303	546	134	118	80	146	89
16	イ	特定複合用途防火対象物	1, 489	1, 350	953	876	195	183	161	142	90	80	90	69
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1, 043	869	732	671	109	66	108	56	65	51	29	25
16-2		地下街												
16-3		準地下街												
17		文化財等	58	21	25	9	5	3	21	4			7	5
18		アーケード (50m以上)	3	3	3	3								
19		市町村長の指定する山林												
20		総務省令で定める舟車												
合 計			19, 672	13, 647	10, 988	8, 217	3, 109	1, 958	2, 560	1, 286	1, 382	981	1, 633	1, 205

防火対象物査察状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

用 途 (項)			区 分	対象物数 (棟数) (R3. 4. 1現在)	査察数 (棟数)	久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三潁消防署		大川消防署	
						対象物数	査察数	対象物数	査察数	対象物数	査察数	対象物数	査察数	対象物数	査察数
1	イ	劇場・映画館・観覧場等		25	12	18	12	2		3		1		1	
	ロ	公会堂・集会場		231	31	113	25	43	4	36		24	2	15	
2	イ	キャバレー・クラブ等		3		3									
	ロ	遊技場・ダンスホール		37	5	25	3	7	1	1	1			4	
	ハ	風俗営業関係													
	ニ	カラオケボックス等		15		8		2		2				3	
3	イ	待合・料理店等		16	3	8	2	2	1	1		1		4	
	ロ	飲食店		818	83	459	40	91	17	119	6	28		121	20
4		百貨店・店舗・マーケット		809	163	435	58	112	46	119	23	51	10	92	26
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		165	20	76	12	52	1	29	7			8	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		5,336	563	3926	508	743	1	256	44	220	4	191	6
6	イ	(1) 特定診療科名を有する病院等		72	9	60	7	5		3		2		2	2
		(2) 特定診療科名を有する有床診療所等		29	6	15	2	6	1	4	2	2	1	2	
		(3) (1)、(2)以外の病院、 有床診療所及び有床助産所		130	16	92	13	19	2	13	1	2		4	
		(4) 無床診療所及び無床助産所		350	69	209	35	58	27	35	5	22		26	2
	ロ	(1) 特別養護老人ホーム等		268	13	136	6	44	1	20	3	43	3	25	
		(2) 救護施設													
		(3) 乳児院		1				1							
		(4) 障害児入所施設		2				2							
		(5) 障害者支援施設等		58	3	25	2	12	1	6		14		1	
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等		115	35	55	22	24	13	18		7		11	
		(2) 更生施設													
		(3) 保育所等		229	21	115	10	53	10	19		20	1	22	
		(4) 児童発達支援センター等		31	14	11	7	14	6	3	1	2		1	
		(5) 身体障害者福祉センター等		118	22	37	7	38	5	24	5	6	3	13	2
	ニ	幼稚園・特別支援学校		80	28	47	17	18	11	4		9		2	
7		小中高大学・専修学校等		726	168	406	127	119	35	89		57		55	6
8		図書館・美術館等		22	3	7		5		4	2	3	1	3	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		7		1						2		4	
	ロ	イ以外の公衆浴場		23	11	3		1		19	11				
10		停車場・航空機等の発着場		8		2		5		1					
11		神社・寺院・教会等		353	63	175	6	88	28	43	1	32	28	15	
12	イ	工場・作業場		2,324	437	963	195	291	76	381	41	354	81	335	44
	ロ	映画・テレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫・駐車場		193	8	83	2	41	1	62	5	3		4	
	ロ	飛行機等の格納庫													
14		倉庫		1,974	330	649	90	314	66	410	66	204	51	397	57
15		前各項に該当しない事務所		2,511	306	1113	156	588	79	546	52	118	18	146	1
16	イ	特定複合用途防火対象物		1,489	246	953	185	195	31	161	9	90	9	90	12
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1,043	162	732	106	109	26	108	9	65	12	29	9
16-2		地下街													
16-3		準地下街													
17		文化財等		58	1	25		5		21				7	1
18		アーケード (50m以上)		3		3									
19		市町村長の指定する山林													
20		総務省令で定める舟車													
合 計				19,672	2,851	10,988	1,655	3,109	490	2,560	294	1,382	224	1,633	188

防火管理者の選任状況

(令和4年3月31日)

用 途 (項)			法第8条 該当対象物	届出済 対象物	久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三瀬消防署		大川消防署	
					法第8条 該当対象物	届出済 対象物	法第8条 該当対象物	届出済 対象物	法第8条 該当対象物	届出済 対象物	法第8条 該当対象物	届出済 対象物	法第8条 該当対象物	届出済 対象物
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	9	8	2	1	2	2	3	3	1	1	1	1
	ロ	公会堂・集会場	170	161	71	65	34	33	30	28	20	20	15	15
2	イ	キャバレー・クラブ等	1	1	1	1								
	ロ	遊技場・ダンスホール	25	24	17	16	5	5					3	3
	ハ	風俗営業関係												
	二	カラオケボックス等	11	11	7	7	2	2					2	2
3	イ	待合・料理店等	13	13	6	6	2	2	1	1	1	1	3	3
	ロ	飲食店	242	181	144	116	32	21	40	29	4	2	22	13
4		百貨店・店舗・マーケット	397	318	175	146	62	54	63	50	37	28	60	40
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	52	50	32	31	4	4	10	9			6	6
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	503	394	377	294	62	53	13	9	15	12	36	26
6	イ	(1) 特定診療科名を有する病院等	25	24	17	17	3	3	2	2	1	1	2	1
		(2) 特定診療科名を有する有床診療所等	25	25	14	14	4	4	4	4	2	2	1	1
		(3) (1)、(2)以外の病院、有床診療所 及び有床助産所	41	41	25	25	10	10	3	3	1	1	2	2
		(4) 無床診療所及び無床助産所	39	38	20	20	7	7	6	6	1	1	5	4
	ロ	(1) 特別養護老人ホーム等	212	208	105	101	37	37	19	19	33	33	18	18
		(2) 救護施設												
		(3) 乳児院	1	1			1	1						
		(4) 障害児入所施設												
		(5) 障害者支援施設等	26	25	7	7	11	10	2	2	5	5	1	1
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	43	41	18	18	9	8	9	9	3	3	4	3
		(2) 更生施設												
		(3) 保育所等	133	130	66	65	27	26	14	13	12	12	14	14
		(4) 児童発達支援センター等	2	2			1	1	1	1				
		(5) 身体障害者福祉センター等	24	23	6	6	9	8	4	4	2	2	3	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校	31	31	19	19	6	6	3	3	3	3		
7		小中高大学・専修学校等	150	137	69	64	31	27	20	19	15	15	15	12
8		図書館・美術館等	8	8	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	3	3	1	1							2	2
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	4	2	2			3	2				
10		停車場・航空機等の発着場												
11		神社・寺院・教会等	139	118	68	65	36	29	15	12	11	7	9	5
12	イ	工場・作業場	98	91	49	45	17	16	20	20	7	7	5	3
	ロ	映画・テレビスタジオ												
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	1	1								
	ロ	飛行機等の格納庫												
14		倉庫	30	25	11	11	9	7	4	3	4	4	2	
15		前各項に該当しない事務所	372	332	195	175	77	74	52	41	17	17	31	25
16	イ	特定複合用途防火対象物	580	410	369	233	70	58	60	48	35	34	46	37
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	79	57	67	48	3	2	7	6			2	1
16-2		地下街												
16-3		準地下街												
17		文化財等	11	10	2	2	1	1	3	3			5	4
18		アーケード (50m以上)												
19		市町村長の指定する山林												
20		総務省令で定める舟車												
合 計			3, 501	2, 946	1, 965	1, 624	576	513	412	350	231	212	317	247

防火管理者資格取得講習会受講者数（過去5ヵ年）

久留米広域消防本部

年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度※	令和3年度
新規	講習会（回）	5	5	5	1	4
	受講者（人）	457	487	475	62	227
再講習	講習会（回）	1	1	1		2
	受講者（人）	45	65	52		106

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会を中止したことに伴い開催回数が減少しています。

大川市消防本部

年 度		平成29年度	平成30年度
新規	講習会（回）	1	1
	受講者（人）	18	19
再講習	講習会（回）	1	
	受講者（人）	15	

消防同意等の状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

用途(項)		管轄署	計	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署
1	イ	劇場・映画館・観覧場等						
	ロ	公会堂・集会場	3	2				1
2	イ	キャバレー・クラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール						
	ハ	風俗営業関係						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合・料理店等						
	ロ	飲食店	6	3	2	1		
4		百貨店・店舗・マーケット	23	17	4	1	1	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1			1		
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	84	58	21		2	3
6	イ	病院・診療所	16	11	3		2	
	ロ	老人短期	5	2	2		1	
	ハ	デイサービス	34	13	8	1	6	6
	ニ	幼稚園	3	1			2	
7		小中高大学・専修学校等	5	4				1
8		図書館・美術館等	1	1				
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	イ以外の公衆浴場						
10		停車場・航空機等の発着場						
11		神社・寺院・教会等						
12	イ	工場・作業場	29	15	1	10	1	2
	ロ	映画・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	8	4	1	3		
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	44	15	8	8	9	4
15		前各項に該当しない事務所	77	40	17	8	3	9
16	イ	特定複合用途防火対象物	13	8	1	1	3	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	8	5	2			1
17		文化財等						
上記以外			150	57	36	33	10	14
専用住宅			204	172	10	6	7	9
小 計			714	428	116	73	47	50
消防通知			2,000					
合 計			2,714					

※ 事務処理については、消防本部（予防課）で実施

危険物施設査察状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

製 造 所 の 別		施設数 (R2. 4. 1現在)	査察数	久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三瀬消防署		大川消防署	
				施設数	査察数	施設数	査察数	施設数	査察数	施設数	査察数	施設数	査察数
製 造 所		8	3	4	1	1				3	2		
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	124	49	58	31	11		21	4	12	5	22	9
	屋外タンク貯蔵所	102	25	44	15	10		25	3	21	7	2	
	屋内タンク貯蔵所	20	2	12	2	1		6				1	
	地下タンク貯蔵所	194	67	105	33	29	10	26	13	16	5	18	6
	簡易タンク貯蔵所												
	移動タンク貯蔵所	113	46	64	20	12	12	7		14	6	16	8
	屋外貯蔵所	9	3	3				3	1	3	2		
取 扱 所	給油取扱所	189	71	82	32	34	13	29	14	19	5	25	7
	第1種販売取扱所	6	1	2				1		1		2	1
	第2種販売取扱所	2										2	
	移送取扱所												
	一般取扱所	155	45	75	19	24	7	25	14	16	3	15	2
合 計		922	312	449	153	122	42	143	49	105	35	103	33

危険物規制事務処理状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

製 造 所 等 の 別		事 務 処 理 状 況										
		許可申請		完成検査		仮使用 承 認	水 圧 検 査	水 張 検 査	仮貯蔵 仮取扱	廃止届	各 種 届 出	
		設 置	変 更	設 置	変 更							
製 造 所			6	1		73	1	16	17	1	405	
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	4	6	5						4		
	屋外タンク貯蔵所	5	12	10	4							
	屋内タンク貯蔵所									1		
	地下タンク貯蔵所	2	2	2						9		
	簡易タンク貯蔵所											
	移動タンク貯蔵所	2	1	2	3					1		
	屋外貯蔵所											
	小 計	13	21	19	7					15		
取 扱 所	給油取扱所		24		27					4		
	第1種販売取扱所											
	第2種販売取扱所											
	移送取扱所											
	一般取扱所	1	50	6	41					3		
	小 計	1	74	6	68					7		
合 計		14	101	26	75							
手数料金額		347, 000	2, 309, 000	367, 000	900, 000	394, 000	11, 000	111, 000	92, 000			
手数料合計		4, 531, 000										

※ 手数料金額について 千円未満は四捨五入して表記

政令、条例に基づく事務処理状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区 分		計	予防課	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署
政 令 関 係	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出 書	386	386					
	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書	752	752					
	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	5,779		3,444	926	718	347	344
	防 火 (防 災) 管 理 者 選 解 任 届 出 書	580		367	111	44	30	28
	消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出 書	635		390	123	53	39	30
	統 括 防 火 (防 災) 管 理 者 選 解 任 届 出 書	2		1				1
	全 体 に つ い て の 消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出 書	2		1				1
	自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届 出 書	7		5		1		1
	避 難 訓 練 等 通 知 書	2,401		1,337	466	240	196	162
	防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	254		153	33	18	28	22
	防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	17		16				1
	法 9 条 の 3 関 係 届 出	138		108	17		11	2
	り 災 証 明 願 (発 行 数)	98(277)		36(123)	26(63)	16(52)	15(30)	5(9)
	小 計	11,051	1,138	5,858	1,702	1,090	666	597
条 例 関 係	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	488		247	84	68	64	25
	炉 ・ 厨 房 設 備 等 設 置 届	62		30	9	15	5	3
	変 電 設 備 等 設 置 届	107		48	17	22	10	10
	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届							
	水 素 ガ ス 気 球 設 置 届							
	火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 の 届	322		105	77	98	32	10
	煙 火 打 上 げ 等 届	31		9	6	9	6	1
	催 物 開 催 届							
	水 道 断 水 等 届	14		5	4	5		
	道 路 工 事 届	392		167	50	69	93	13
	露 店 等 の 開 設 届 出 書	83		44	12	9	10	8
	少 量 危 険 物 等 届	39		16	13	8	1	1
	禁 止 行 為 の 解 除 申 請	41		39	1			1
	小 計	1,579		710	273	303	221	72
合 計		12,630	1,138	6,568	1,975	1,393	887	669

関係団体の状況

令和4年4月1日

区分	目的・活動	団体名等
消防設備士会	消防設備士会は、消防設備士の地位向上とその業務の進歩改善を促進し、もって消防設備士制度の発展を図り、社会公共の福祉に資することを目的として活動しています。 筑後地区消防設備士会は、(一財)福岡県消防設備安全協会の構成団体としても、活動しています。	久留米消防設備士会 41 事業所 121 名 浮羽消防設備士会 13 事業所 13 名 大川市消防設備士会 16 事業所 16 名 筑後地区消防設備士会 207 事業所 287 名 9 部会 (久留米、大牟田、大川、筑後、浮羽、八女、柳川、みやま、朝倉)
防災協会	防災協会は、火災その他各種災害の予防対策及び研究並びに防火思想の普及宣伝に寄与し、会員相互の融和及び親睦を図ることを目的として活動しています。 石油、塗料、灯油等の危険物を取り扱う事業所や一般の事業所で構成されています。	久留米市防災協会連合会 4 部会 174 事業所 三井・小郡地区防災協会 202 事業所 浮羽地区防災協会 206 事業所 三潞地区防災協会 8 部会 272 事業所 大川市防災協会 33 部会 409 事業所
女性(婦人)防火クラブ	女性(婦人)防火クラブは、一般家庭の火災を予防する目的で設立されました。 会員相互の融和及び親睦を図り、火災予防の普及に努めるとともに、あらゆる災害に対する知識を深め、安全・安心なまちづくりを目指して活動しています。	久留米市女性防火クラブ連合会 ・久留米支部 27 クラブ 581 名 ・城島支部(久留米市城島町婦人防火クラブ) 88 名 三井・小郡地区女性防火クラブ 349 名 久留米市田主丸町婦人防火クラブ 270 名 うきは市婦人防火クラブ 100 名 三潞郡大木町婦人防火クラブ 80 名 大川市女性防火クラブ 256 名
幼年消防クラブ	幼年消防クラブは、幼年期からの火災予防と幼年者を通じて家庭内の火災予防を両立させ、災害のない明るく住みよい、そして快適な地域のまちづくりを推進することを目的として活動しています。 管轄内の公私立の保育園児及び幼稚園児を対象としたクラブです。	久留米市幼年消防クラブ連合会 48 団体 6,080 名 三井・小郡地区幼年消防クラブ 27 団体 825 名 浮羽地区幼年消防クラブ 16 団体 353 名 三潞地区幼年消防クラブ 16 団体 1,510 名 大川市幼年消防クラブ 14 団体 1,098 名
少年消防クラブ	少年消防クラブは、小学生の児童で構成され、団体活動を通して、クラブ員の相互の連帯、融和及び親睦を図るとともに、火災予防の普及に努め、災害のない明るく住みよいまちづくりを目的として、活動しています。	城島町少年消防クラブ 3 支部 189 名 大木町大莞校区少年消防クラブ 1 支部 59 名 大川市少年消防クラブ 25 名

警 防 編

消防車両等配置状況

(令和4年4月1日)

種別 所属		合 計	ポ ン プ 車	タ ン ク 車	化 学 車	は し ご 車	救 助 工 作 車	救 急 車	指 揮 車	大 型 水 槽 車	津 波 ・ 大 規 模 水 害 対 策 車	ホ ー ス 延 長 車	広 報 車	資 材 搬 送 車	支 援 車	連 絡 車	訓 練 指 導 車
合 計		98	15	10	1	4	6	20	5	1	1	4	7	5	3	14	2
本 部		11											2			7	2
久留米消防署	本 署	10	1	1		2		2	1				1	1		1	
	東出張所	6	1	1			2	1			1						
	南出張所	6	1	1				3							1		
	西出張所	3	1		1			1									
	善導寺出張所	4	2					1				1					
	小 計	29	6	3	1	2	2	8	1		1	1	1	1	1	1	
三井消防署	本 署	12	2	1		1	1	2	1				1	1	1	1	
	三井出張所	4	1	1				1							1		
	三国出張所	3		1				1				1					
	小 計	19	3	3		1	1	4	1			1	1	1	2	1	
浮羽消防署	本 署	14	2	1		1	1	2	1	1		1	1	1		2	
	浮羽出張所	3	1					1				1					
	小 計	17	3	1		1	1	3	1	1		2	1	1		2	
三潞消防署		10	2	1			1	2	1				1	1		1	
大川消防署		12	1	2			1	3	1				1	1		2	

救助資機材保有状況(署別)

(令和4年4月1日)

種 別	署 資 機 材	久 留 米 消 防 署	三 井 消 防 署	浮 羽 消 防 署	三 瀧 消 防 署	大 川 消 防 署	合 計
一般 救助 用	かぎ付はしご	7	3	2	2	1	15
	三連はしご	8	6	3	3	3	23
	ワイヤはしご	2	1	1	1	0	5
	空気式救助マット	1	0	0	0	0	1
	救命索発射銃	1	1	1	1	0	4
	救助用縛帯	18	5	5	4	5	37
	平担架	22	0	0	8	0	30
重量 物 排 除 用	油圧ジャッキ	16	7	5	8	0	36
	油圧スプレッダー	3	1	0	1	1	6
	可搬ウインチ	2	1	1	2	2	8
	マンホール救助器具	2	1	1	1	0	5
切 断 ・ 破 壊 用	油圧切断機	3	1	1	1	1	7
	エンジンカッター	13	5	4	3	4	29
	ガス溶断器	2	0	0	0	0	2
	チェーンソー	11	3	4	4	3	25
	携帯用コンクリート破壊器具	3	2	1	1	0	7
検 知 ・ 測 定 用	生物剤検知器	1	0	0	0	0	1
	化学剤検知器	1	0	0	0	0	1
	可燃性ガス測定器	10	7	5	3	3	28
	有毒ガス測定器	10	7	5	3	3	28
	酸素濃度測定器	10	7	5	3	3	28
	放射線測定器	31	15	1	0	7	54
呼 吸 ・ 隊 員 保 護 用	空気呼吸器	50	26	22	13	14	125
	防毒マスク	42	5	5	3	5	60
	化学防護服	118	66	81	46	36	347
	陽圧式化学防護服	7	3	0	0	0	10
	耐熱服	4	0	2	0	0	6

種 別	署 資 機 材	久 留 米 消 防 署	三 井 消 防 署	浮 羽 消 防 署	三 瀧 消 防 署	大 川 消 防 署	合 計
除 染 用	除染シャワー	2	1	0	0	0	3
	除染剤散布器	0	0	0	0	0	0
水 難 救 助 用	潜水器具一式	19	7	8	9	11	54
	救命胴衣	132	58	31	28	43	292
	救命浮環	36	19	11	8	6	80
	浮標	7	5	6	3	2	23
	救命ボート	7	3	2	2	2	16
	船外機	8	4	1	2	2	17
山 岳 用	登山器具一式	1	1	1	1	1	5
	バスケット担架	6	2	3	2	1	14
重 量 物 排 除 用	マット型空気ジャッキ一式	2	1	1	1	2	7
	大型油圧スプレッダー	3	1	2	1	2	9
	救助用支柱器具	2	1	1	0	0	4
切 断 用	空気鋸	0	1	2	1	1	5
	大型油圧切断機	2	1	1	1	1	6
	空気切断機	1	1	0	1	1	4
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	2	0	0	0	0	2
破 壊 用	削岩機	2	1	1	1	1	6
	ハンマドリル	3	1	1	1	0	6
呼 吸 保 護 用	酸素呼吸器	0	0	0	0	0	0
	送排風機	2	1	1	2	1	7
	エアラインマスク	1	0	0	0	0	1
高 度 救 助 用	画像探索機	1	1	0	0	0	2
	地中音響探知機	1	0	0	0	0	1
	熱画像直視装置	2	1	2	1	0	6
	夜間用暗視装置	1	0	0	0	0	1
	地震警報器	1	0	0	0	0	1

緊急消防援助隊の登録隊数

令和4年4月1日

	隊 名 (車両)		隊 数	隊員数	編成担当 消防署
1	指 1	福岡県大隊指揮隊 (兼) 統合機動部隊指揮隊 (指揮車)	1 隊	3 名	久留米署本署
2	消火 4	消火小隊 (タンク車)	1 隊	4 名	久留米署東出張所
3		消火小隊 (ポンプ車)	1 隊	4 名	浮羽署浮羽出張所
4		消火小隊 (タンク車)	1 隊	4 名	大川署
5		消火小隊 (ポンプ車)	1 隊	4 名	大川署
6	救助 3	救助小隊 (兼) 毒劇物対応小隊 (救助工作車Ⅲ型)	1 隊	5 名	久留米署東出張所
7		土砂・風水害機動支援部隊 救助小隊 (津波・大規模風水害対策車)	1 隊	5 名	久留米署東出張所
8		救助小隊 (救助工作車Ⅱ型)	1 隊	5 名	三井署本署
9	救急 3	救急小隊 (高規格救急車)	1 隊	3 名	久留米署善導寺出張所
10		救急小隊 (高規格救急車)	1 隊	3 名	浮羽署本署
11		救急小隊 (高規格救急車)	1 隊	3 名	三潞署
12	特殊 2	特殊装備小隊 (梯子車 40m級)	1 隊	4 名	久留米署本署
13		特殊装備小隊 (梯子車 30m級)	1 隊	4 名	三井署本署
14	支援 5	後方支援小隊 (支援車Ⅰ型)	1 隊	4 名	三井署三井出張所
15		後方支援小隊 (支援車Ⅲ型)	1 隊	4 名	久留米署南出張所
16		後方支援小隊 (支援車Ⅲ型)	1 隊	4 名	三井署本署
17		後方支援小隊 (資機材搬送車)	1 隊	2 名	三井署本署
18		後方支援小隊 (資機材搬送車)	1 隊	2 名	久留米署本署
	登録隊計 《兼務含む》		18 隊 《20 隊》	67 名 《75 名》	
※	活動支援隊 (警防車等)		1 隊	2 名	消防本部

※ 活動支援隊は、帯同隊であるため、国への登録はしていない。

消防水利の現況

(令和4年4月1日)

署 別 項 目			久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署	合 計
現有 公設 水利	消火栓		2, 924	1, 348	103	517	307	5, 199
	防火水槽 (うち耐震性)	40m³未満	46 (0)	12 (4)	112 (0)	21 (0)	54 (0)	245 (4)
		40m³～100m³	183 (30)	411 (18)	204 (18)	268 (35)	124 (10)	1, 190 (111)
		100m³以上	10 (10)	0 (0)	17 (0)	0 (0)	5 (2)	32 (12)
		小計	239 (40)	423 (22)	333 (18)	289 (35)	183 (12)	1, 467 (127)
	その他(プール、井戸、河川等)		59	68	378	100	42	647
	合計		3, 222	1, 839	814	906	532	7, 313

通 信 編

消防通信指令業務の共同運用の概要

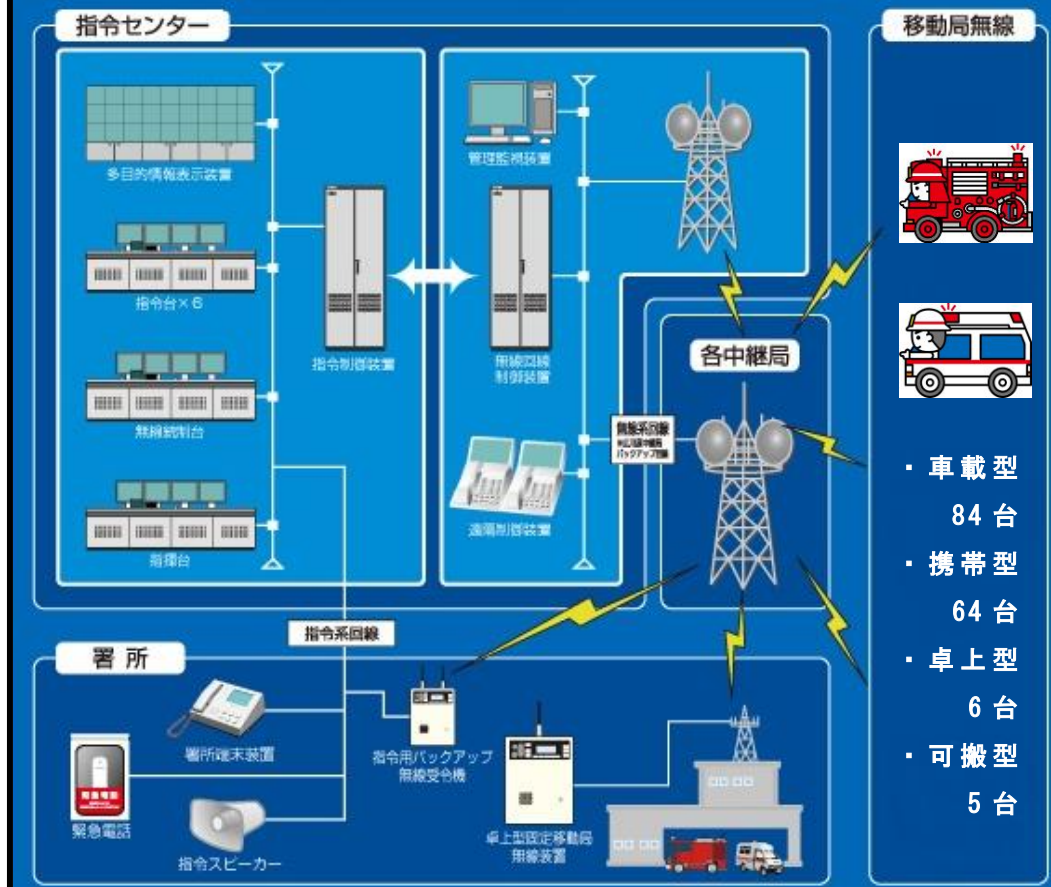
当消防本部は、筑後地域の 6 消防本部と福岡県内初となる消防通信指令業務の共同運用を行うため、最新の高機能消防指令システムと消防救急デジタル無線システムを備えた「筑後地域消防指令センター」を共同で整備し、平成 28 年 4 月 1 日から運用しています。

消防通信指令業務の共同運用とは、複数の消防本部が 1 ヶ所の指令センターで 119 番通報を受信し、各消防本部の消防車や救急車に出動指令などを行うものです。

通信指令事務の共同運用イメージ

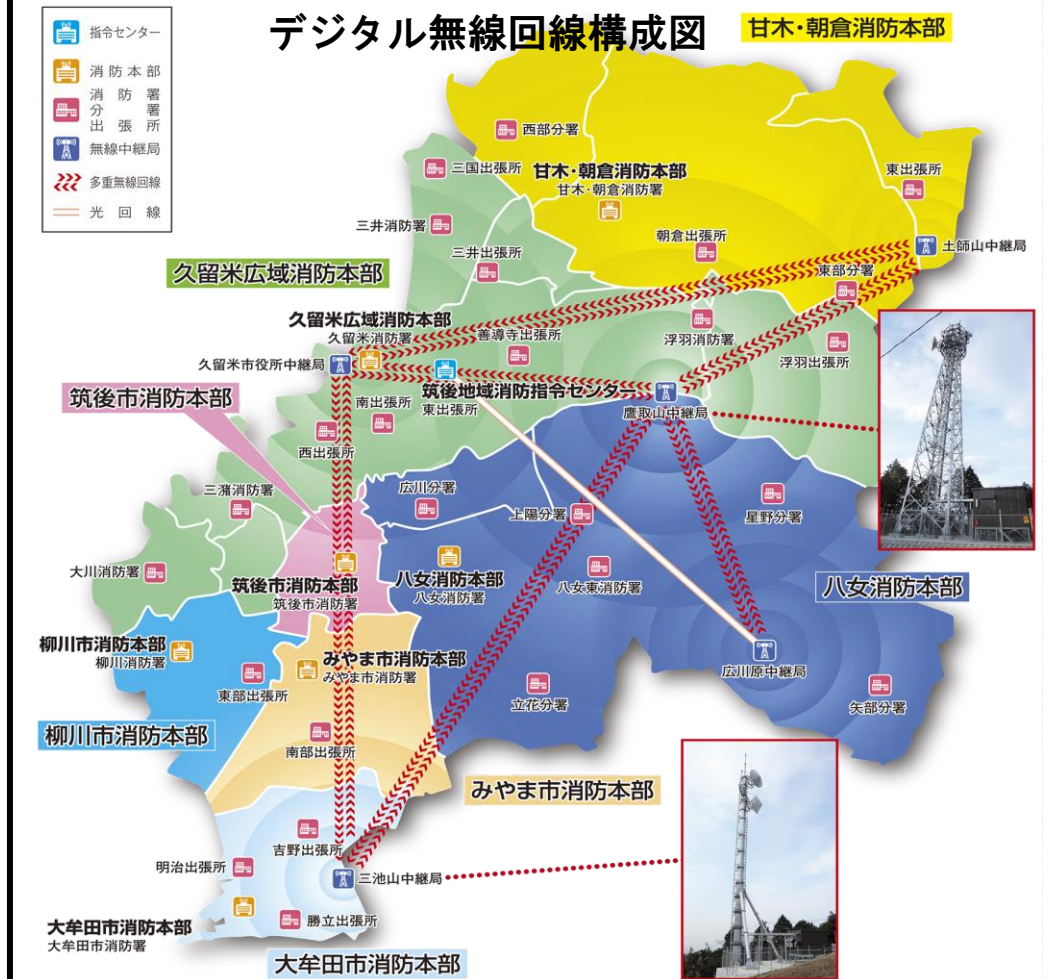


消防指令システム及び無線運用イメージ図



デジタル無線回線構成図

甘木・朝倉消防本部



119受信状況（災害種別：構成市町等別）

（令和3年中）

区分		久留米市	通報割合 ※1	大川市	通報割合 ※1	小郡市	通報割合 ※1	うきは市	通報割合 ※1	大刀洗町	通報割合 ※1	大木町	通報割合 ※1	計	通報割合 ※2
災害 通報	火災	188	1.0%	28	1.3%	23	0.7%	26	1.2%	11	1.3%	7	1.1%	283	1.0%
	救急	14,358	74.2%	1,594	76.5%	2,464	76.6%	1,610	76.5%	636	73.8%	453	73.4%	21,115	74.8%
	救助	189	1.0%	16	0.8%	19	0.6%	17	0.8%	8	0.9%	3	0.5%	252	0.9%
	その他災害	515	2.7%	54	2.6%	52	1.6%	39	1.9%	27	3.1%	13	2.1%	700	2.5%
そ の 他	問合せ	296	1.5%	26	1.2%	34	1.1%	23	1.1%	23	2.7%	8	1.3%	410	1.5%
	通報訓練・テスト	2,150	11.1%	210	10.1%	279	8.7%	230	10.9%	96	11.1%	67	10.9%	3,032	10.7%
	間違い・その他	1,659	8.6%	155	7.4%	346	10.8%	159	7.6%	61	7.1%	66	10.7%	2,446	8.7%
構成市町別 通報割合※3		19,355	68.5%	2,083	7.4%	3,217	11.4%	2,104	7.5%	862	3.1%	617	2.2%	28,238	

119受信状況（覚知別：構成市町等別）

（令和3年中）

区分		久留米市	通報割合 ※1	大川市	通報割合 ※1	小郡市	通報割合 ※1	うきは市	通報割合 ※1	大刀洗町	通報割合 ※1	大木町	通報割合 ※1	計	通報割合 ※2
固 定	119固定	4,519	23.3%	508	24.4%	905	28.1%	525	25.0%	218	25.3%	190	30.8%	6,865	24.3%
	119 I P	3,703	19.1%	539	25.9%	787	24.5%	376	17.9%	178	20.6%	125	20.3%	5,708	20.2%
携帯 119		10,276	53.1%	961	46.1%	1,418	44.1%	1,118	53.1%	429	49.8%	285	46.2%	14,487	51.3%
そ の 他	緊急通報システム	43	0.2%	4	0.2%	6	0.2%	8	0.4%	1	0.1%	2	0.3%	64	0.2%
	駆け込み	54	0.3%	3	0.1%	11	0.3%	7	0.3%	9	1.0%	0	0.0%	84	0.3%
	一般加入電話	34	0.2%	6	0.3%	3	0.1%	4	0.2%	3	0.3%	0	0.0%	50	0.2%
	専用電話	36	0.2%	3	0.1%	6	0.2%	6	0.3%	3	0.3%	0	0.0%	54	0.2%
	その他	690	3.6%	59	2.8%	81	2.5%	60	2.9%	21	2.4%	15	2.3%	926	3.3%
構成市町別 通報割合※3		19,355	68.5%	2,083	7.4%	3,217	11.4%	2,104	7.5%	862	3.1%	617	2.2%	28,238	

※1 構成市町別通報件数における各区分通報件数の割合を示す。

※2 全通報件数における各区分通報件数の割合を示す。

※3 全通報件数における構成市町別通報件数の割合を示す。

（注）四捨五入により※1～※3における割合の合計が100%とならない場合があります。

119受信状況（災害等：月別）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
災害 通報	火災	17	35	18	30	25	29	27	17	12	47	17	9	283
	救急	1,823	1,497	1,686	1,734	1,685	1,633	1,945	1,808	1,694	1,773	1,827	2,010	21,115
	救助	20	18	22	19	16	14	23	44	20	22	16	18	252
	その他災害	49	21	25	36	53	38	39	261	58	39	35	46	700
その他	問合せ	33	35	35	29	28	30	35	46	31	40	35	33	410
	通報訓練・テスト	190	255	300	221	198	209	247	179	202	315	401	315	3,032
	間違い・その他	186	141	195	227	250	211	231	215	224	184	197	185	2,446
計		2,318	2,002	2,281	2,296	2,255	2,164	2,547	2,570	2,241	2,420	2,528	2,616	28,238

119受信状況（覚知別：月別）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
固 定	119固定	644	560	596	583	594	483	622	523	501	564	621	574	6,865
	119 I P	485	416	519	439	475	440	455	443	420	470	559	587	5,708
携帯 119		1,108	954	1,079	1,200	1,124	1,183	1,377	1,502	1,213	1,251	1,187	1,309	14,487
その他	緊急通報システム	8	2	3	5	5	3	9	4	8	6	4	7	64
	駆け込み	12	9	6	8	9	8	10	6	2	4	2	8	84
	一般加入電話	6	4	4	10	5	2	3	7	3	1	3	2	50
	専用電話	6	3	3	7	2	4	7	3	4	3	5	7	54
	その他	49	54	71	44	41	41	64	82	90	121	147	122	926
計		2,318	2,002	2,281	2,296	2,255	2,164	2,547	2,570	2,241	2,420	2,528	2,616	28,238

気 象 状 況

(令和3年)

	最 多	風 速(m/s)		温 度(℃)			相対湿度(%)			雨 量(mm)		
	風 位	最 大	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	日最大	月雨量	累計雨量
1月	北北東	17.2	2.0	17.8	-3.6	4.2	99.9	33.3	81.5	9.0	32.0	32.0
2月	北北東	17.5	2.5	21.4	-2.1	9.0	98.6	24.9	77.3	36.0	93.5	125.5
3月	北北東	17.7	2.5	23.8	2.9	12.8	98.3	18.0	70.0	31.5	115.0	240.5
4月	北北東	18.3	2.6	29.5	5.2	16.0	98.3	10.8	60.2	52.5	119.0	359.5
5月	南	20.9	2.6	31.6	6.9	19.9	98.3	8.0	72.6	120.5	358.0	717.5
6月	北北東	12.3	1.9	34.8	15.4	24.4	98.3	17.2	71.9	40.5	138.5	856.0
7月	南	20.4	2.8	36.4	22.1	27.9	98.3	35.2	74.6	40.5	103.5	959.5
8月	南	22.9	2.6	37.5	19.5	27.1	98.8	39.9	82.5	293.0	1112.5	2072.0
9月	北北東	31.9	2.5	33.1	18.7	25.4	98.6	34.9	77.4	53.0	141.0	2213.0
10月	北北東	15.9	2.3	32.4	8.4	20.0	98.0	22.7	68.9	1.5	2.0	2215.0
11月	北北東	15.7	1.8	22.2	2.9	12.6	98.6	29.4	71.4	36.0	80.0	2295.0
12月	北北東	18.2	1.9	17.8	-0.6	7.7	98.3	29.4	67.8	26.0	30.5	2325.5

※ 上記気象状況の各データは、当消防本部設置(久留米市東櫛原町)の気象情報観測装置によるものです。

火災統計

火 災 の 概 況

この統計は、令和 3 年中に当消防本部管内において発生した、火災について分類・集計したものです。

1 火災発生件数は 121 件、前年より 13 件増加

火災発生件数は 121 件（前年 108 件）で、前年より 13 件増加しました。

発生頻度は 3 日に 1 件の割合で発生し、出火率（人口 1 万人あたりの火災件数）は 2.7 件（前年 2.4 件）となります。

なお、令和 3 年中の全国の火災件数は 35,077 件で、おおよそ 1 日あたり 96 件、15 分ごとに 1 件の火災が発生したことになります。（概数値）

火災種別件数は、建物火災 71 件（前年 70 件）、林野火災 0 件（前年 1 件）、車両火災 18 件（前年 9 件）、その他の火災 32 件（前年 28 件）となっています。

火 災 種 別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災
発 生 件 数	71	0	18	32
発 生 割 合	58.7%	0%	14.9%	26.4%

2 建物火災の焼損棟数は 109 棟、前年より 9 棟増加

建物火災による焼損棟数は 109 棟（前年 100 棟）で、前年より 9 棟増加しています。

なお、焼損面積は 5,388 m²（前年 4,243 m²）で、前年より 1,145 m²増加しています。

また、建物の焼損程度別にみると、全焼 29 棟（前年 24 棟）、半焼 7 棟（前年 6 棟）、部分焼は 28 棟（前年 34 棟）、ぼや 45 棟（前年 36 棟）となっています。

焼 損 程 度 別	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や
発 生 棟 数	29	7	28	45
発 生 割 合	26.6%	6.4%	25.7%	41.3%

3 損害見積額は 291,629 千円、前年より 89,773 千円増加

全ての火災の損害見積額は 291,629 千円（前年 201,856 千円）で、前年より 89,773 千円増加しています。

4 死者数は 8 人、前年より 4 人増加

火災による死者数は 8 人（前年 4 人）、負傷者は 20 人（前年 15 人）で、ともに前年より増加しています。

5 出火原因第1位は『たき火』、第2位は『たばこ』、第3位は『こんろ』と『電灯・電話等の配線』

出火原因別にみると、「たき火」18件（前年15件）、「たばこ」15件（前年10件）、「こんろ及び電灯・電話等の配線」8件（前年10件）の順となっています。

	令和3年		令和2年		令和元年		平成30年		平成29年	
1位	たき火		たき火		放火の疑い		放火の疑い		たき火	
	18件	14.9%	15件	13.9%	16件	11.1%	15件	10.6%	25件	15.8%
2位	たばこ		電気機器／ 電灯・電話等の配線		電灯・電話等の配線		たばこ		こんろ	
	15件	12.4%	各10件	9.3%	15件	10.4%	14件	9.9%	16件	10.1%
3位	こんろ／ 電灯・電話等の配線		こんろ		たき火		たき火		放火の疑い／火入れ	
	各8件	6.6%	7件	6.5%	13件	9.0%	12件	8.5%	各11件	7.0%
4位	放火		放火の疑い		火入れ		こんろ／ 電灯・電話等の配線		たばこ／ストーブ ／配線器具	
	7件	5.8%	6件	5.6%	12件	8.3%	各10件	7.1%	各7件	4.4%
5位	電気装置		たばこ／火入れ		たばこ		火入れ／配線器具		電灯・電話等の配線	
	6件	5.0%	各5件	4.6%	11件	7.6%	各7件	5.0%	5件	3.2%

※ 平成29年以降、「放火」と「放火の疑い」を分けて件数を計上

火災発生状況

			久留米市	大川市	小都市	うきは市	大刀洗町	大木町
出火件数	建物火災	71	51	6	3	6	3	2
	林野火災							
	車両火災	18	14	2		1	1	
	船舶・航空機火災							
	その他の火災	32	15	3	8	3	1	2
	合計	121	80	11	11	10	5	4
焼損棟数	全焼	29	14	5	3	4	2	1
	半焼	7	6			1		
	部分焼	28	22	2	1	2	1	
	ぼや	45	29	10		2	2	2
	合計	109	71	17	4	9	5	3
焼損面積	建物 (㎡)	5,387	2,088	1,115	664	1,114	384	22
	林野 (a)							
死傷者	死者	8	5	3				
	負傷者	20	12	5		1		2
り災世帯	全損	16	7	5	2	2		
	半損	8	6			2		
	小損	41	27	5	1	5	1	2
	合計	65	40	10	3	9	1	2
り災人員		178	100	36	4	31	3	4
損害見積額 (千円)	建物火災	259,066	102,058	89,071	23,981	40,923	2,791	242
	林野火災							
	車両火災	6,978	6,227	391			360	
	船舶・航空機火災							
	その他の火災	25,585	341	100	24,774	2	100	268
	合計	291,629	108,626	89,562	48,755	40,925	3,251	510
建物火災1件当たりの損害額 (千円)		3,649	12,981	14,845	7,994	6,821	930	121
建物火災1件当たりの焼損面積 (㎡)		75.9	40.9	185.9	221.4	185.7	127.9	11.0
出火率 (人口1万人当たり)		2.7	2.6	3.3	1.8	3.5	3.2	2.8

過去5年間の火災発生状況

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	89	78	73	70	71
	林 野 火 災	1	1		1	
	車 両 火 災	15	11	12	9	18
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	53	51	59	28	32
	合 計	158	141	144	108	121
焼 損 棟 数	全 焼	29	28	15	24	29
	半 焼	8	5	8	6	7
	部 分 焼	35	20	28	34	28
	ぼ や	44	51	38	36	45
	合 計	116	104	89	100	109
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	5,942	7,887	3,491	4,243	5,388
	林 野 (a)	5	22		2	
死 傷 者	死 者	4	1	4	4	8
	負 傷 者	22	15	15	15	20
り 災 世 帯	全 損	25	14	12	16	16
	半 損	5	2	3	2	8
	小 損	47	52	47	33	41
	合 計	77	68	62	51	65
り 災 人 員		183	177	180	116	178
損 害 見 積 額 (千円)	建 物 火 災	256,588	345,810	159,892	196,718	259,066
	林 野 火 災	23	14			
	車 両 火 災	5,662	1,630	9,375	4,358	6,978
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	1,982	2,700	2,402	780	25,585
	合 計	264,255	350,154	171,669	201,856	291,629

過去5年間の火災発生状況（久留米市）

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	58	50	42	48	51
	林 野 火 災				1	
	車 両 火 災	13	6	7	7	14
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	33	30	31	14	15
	合 計	104	86	80	70	80
焼 損 棟 数	全 焼	15	16	6	15	14
	半 焼	2	2	3	4	6
	部 分 焼	25	17	13	23	22
	ぼ や	34	37	23	25	29
	合 計	76	72	45	67	71
焼 損 面 積	建 物（㎡）	2,462	3,600	1,807	2,783	2,088
	林 野（a）				2	
死 傷 者	死 者	2	1	2	3	5
	負 傷 者	17	10	10	14	12
り 災 世 帯	全 損	18	9	3	13	7
	半 損	3	2	3		6
	小 損	36	37	26	23	27
	合 計	57	48	32	36	40
り 災 人 員		124	129	77	76	100
損 害 見 積 額 （千円）	建 物 火 災	141,219	129,977	98,767	98,594	102,058
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	5,096	823	1,546	2,843	6,227
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	1,713	1,257	1,793	439	341
	合 計	148,028	132,057	102,106	101,876	108,626

過去5年間の火災発生状況（大川市）

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	9	5	10	8	6
	林 野 火 災					
	車 両 火 災		2			2
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	3	8	11	2	3
	合 計	12	15	21	10	11
焼 損 棟 数	全 焼	4		3	2	5
	半 焼	2	1	3		
	部 分 焼	3		5	5	2
	ぼ や	2	4	2	3	10
	合 計	11	5	13	10	17
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	1, 925	2, 068	816	579	1, 115
	林 野 (a)					
死 傷 者	死 者			1		3
	負 傷 者	2		2	1	5
り 災 世 帯	全 損	2		4	2	5
	半 損					
	小 損	1	2	5	3	5
	合 計	3	2	9	5	10
り 災 人 員		7	4	37	8	36
損 害 見 積 額 （千円）	建 物 火 災	40, 128	130, 489	29, 295	19, 200	89, 071
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	297	324			391
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	1	1, 366	197	5	100
	合 計	40, 426	132, 179	29, 492	19, 205	89, 562

過去5年間の火災発生状況（小郡市）

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	6	10	7	3	3
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	1	1	2		
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	5	3	8	6	8
	合 計	12	14	17	9	11
焼 損 棟 数	全 焼	1	6	3	2	3
	半 焼	2	1		1	
	部 分 焼	1	2	3		1
	ぼ や	3	4	9	1	
	合 計	7	13	15	4	4
焼 損 面 積	建 物（㎡）	209	1,239	332	228	664
	林 野（a）					
死 傷 者	死 者	2			1	
	負 傷 者		1	1		
り 災 世 帯	全 損	1	3	1		2
	半 損	1			1	
	小 損	3	7	8	1	1
	合 計	5	10	9	2	3
り 災 人 員		12	21	38	7	4
損 害 見 積 額 （千円）	建 物 火 災	32,380	46,538	6,402	8,541	23,981
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	70	3	7,520		
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	6	4	392	9	24,774
	合 計	32,456	46,545	14,314	8,550	48,755

過去5年間の火災発生状況（うきは市）

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	9	7	12	7	6
	林 野 火 災	1	1			
	車 両 火 災	1	1	2		1
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	4	5	7	3	3
	合 計	15	14	21	10	10
焼 損 棟 数	全 焼	6	5	3	2	4
	半 焼			1	1	1
	部 分 焼	3	1	7	5	2
	ぼ や	3	2	3	4	2
	合 計	12	8	14	12	9
焼 損 面 積	建 物（㎡）	819	602	466	311	1,114
	林 野（a）	5	22			
死 傷 者	死 者			1		
	負 傷 者	2	2	2		1
り 災 世 帯	全 損	2	2	4		2
	半 損	1			1	2
	小 損	3	2	8	5	5
	合 計	6	4	12	6	9
り 災 人 員		16	13	28	21	31
損 害 見 積 額 （千円）	建 物 火 災	20,618	28,171	23,865	47,659	40,923
	林 野 火 災	23	14			
	車 両 火 災	199	80	209		
	船舶・航空機火災					
	その他の火災		25	20	306	2
	合 計	20,840	28,290	24,094	47,965	40,925

過去5年間の火災発生状況（大刀洗町）

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	6	2	2	2	3
	林 野 火 災					
	車 両 火 災		1	1	2	1
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	5	3	2	1	1
	合 計	11	6	5	5	5
焼 損 棟 数	全 焼	3	1			2
	半 焼	2		1		
	部 分 焼	3			1	1
	ぼ や	1	1	1	2	2
	合 計	9	2	2	3	5
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	527	285	70	3	384
	林 野 (a)					
死 傷 者	死 者					
	負 傷 者	1				
り 災 世 帯	全 損	2				
	半 損					
	小 損	3	1		1	1
	合 計	5	1		1	1
り 災 人 員		19	3		2	3
損 害 見 積 額 （千円）	建 物 火 災	22,033	8,007	1,563	4	2,791
	林 野 火 災					
	車 両 火 災		400	100	1,515	360
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	190	27		21	100
	合 計	22,223	8,434	1,663	1,540	3,251

過去5年間の火災発生状況（大木町）

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 火 件 数	建 物 火 災	1	4		2	2
	林 野 火 災					
	車 両 火 災					
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	3	2		2	2
	合 計	4	6		4	4
焼 損 棟 数	全 焼				3	1
	半 焼		1			
	部 分 焼					
	ぼ や	1	3		1	2
	合 計	1	4		4	3
焼 損 面 積	建 物（㎡）		93		339	22
	林 野（a）					
死 傷 者	死 者					
	負 傷 者		2			2
り 災 世 帯	全 損				1	
	半 損					
	小 損	1	3			2
	合 計	1	3		1	2
り 災 人 員		5	7		2	4
損 害 見 積 額 （千円）	建 物 火 災	210	2,628		22,720	242
	林 野 火 災					
	車 両 火 災					
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	72	21			268
	合 計	282	2,649		22,720	510

月別火災発生状況

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	建物火災	71	4	10	2	10	10	6	6	5		7	7	4
	林野火災													
	車両火災	18	4	1	2		1	2	1	2		2	1	2
	船舶 航空機火災													
	その他の火災	32			2	6	2	3	2	1	3	11	1	1
	合 計	121	8	11	6	16	13	11	9	8	3	20	9	7
焼損棟数	全 焼	29	1	7	1	3	1	2	2			9	3	
	半 焼	8		2		2	2	1				1		
	部分焼	27	2	4	1	1	6	2	3			6	2	
	ぼ や	45	3	4	3	8	4	3	4	6		4	2	4
	合 計	109	6	17	5	14	13	8	9	6		20	7	4
焼損面積	建物（㎡）	5,387	198	1,663	112	526	86	653	176	2		1,510	460	1
	林野（a）													
死傷者	死 者	8		5	1			1					1	
	負傷者	20	1	2		3	2	5	2	4				1
り災世帯	全 損	16	1	6	1	3		2				1	2	
	半 損	8		1			3		2			1	1	
	小 損	41	3	5	3	6	5	5	2	3		3	3	3
	合 計	65	4	12	4	9	8	7	4	3		5	6	3
り災人員		178	9	38	10	28	21	15	4	9		22	14	8
損害見積額（千円）	建物火災	259,066	3,413	107,910	2,537	45,813	15,111	19,161	8,192	162		37,108	19,006	653
	林野火災													
	車両火災	6,978	414	50	1,453		405	200	617	3,385		377	3	74
	船舶 航空機火災													
	その他の火災	25,585				58	50	4	3	268	24,970	232		
	合 計	291,629	3,827	107,960	3,990	45,871	15,566	19,365	8,812	3,815	24,970	37,717	19,009	727

火災種別・出火原因別件数

		建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
放 火	7	5		1	1
放 火 疑 い	2	1			1
コ ン ロ	8	8			
(うち天ぷら油)	4	4			
た ば こ	15	10		2	3
か ま ど					
風 呂 か ま ど	3	3			
炉					
焼 却 炉	1				1
ス ト ー ブ					
こ た つ					
ボ イ ラ ー					
煙 突 ・ 煙 道					
排 気 管	2			2	
電 気 機 器	5	4		1	
電 気 装 置	6	3		3	
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	8	5			3
内 燃 機 関	1			1	
配 線 器 具	4	3		1	
火 遊 び	2			2	
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	1			
た き 火	18	5		1	12
溶 接 機 ・ 溶 断 機	2				2
灯 火	3	3			
衝 突 の 火 花					
取 灰	2	1		1	
火 入 れ	5				5
そ の 他	16	12		2	2
不 明	10	7		1	2
合 計	121	71		18	32

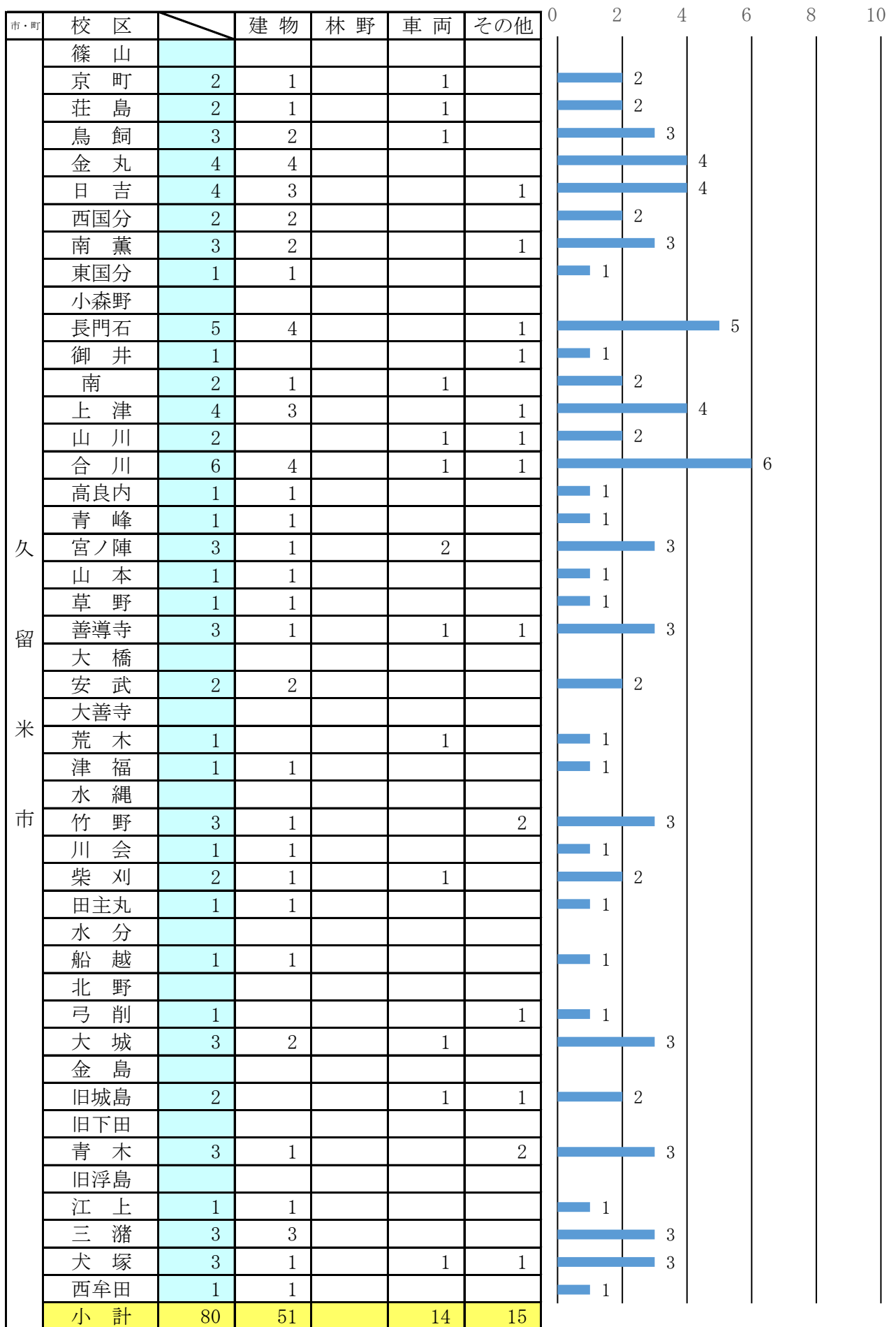
構成市町別・出火原因別件数

		久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町
放 火	7	7					
放 火 疑 い	2			1	1		
コ ン ロ	8	6			1		1
(う ち 天 ぷ ら 油)	4	3			1		
た ば こ	15	12	1	1	1		
か ま ど							
風 呂 か ま ど	3			1	2		
炉							
焼 却 炉	1		1				
ス ト ー ブ							
こ た つ							
ボ イ ラ ー							
煙 突 ・ 煙 道							
排 気 管	2	2					
電 気 機 器	5	3			1	1	
電 気 装 置	6	5	1				
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	8	7		1			
内 燃 機 関	1	1					
配 線 器 具	4	1	3				
火 遊 び	2	2					
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	1					
た き 火	18	8	2	3	2	2	1
溶 接 機 ・ 溶 断 機	2	1		1			
灯 火	3	2		1			
衝 突 の 火 花							
取 灰	2	1					1
火 入 れ	5	1	1	1	1		1
そ の 他	16	12	1	1		2	
不 明	10	8	1		1		
合 計	121	80	11	11	10	5	4

月別・出火原因別件数

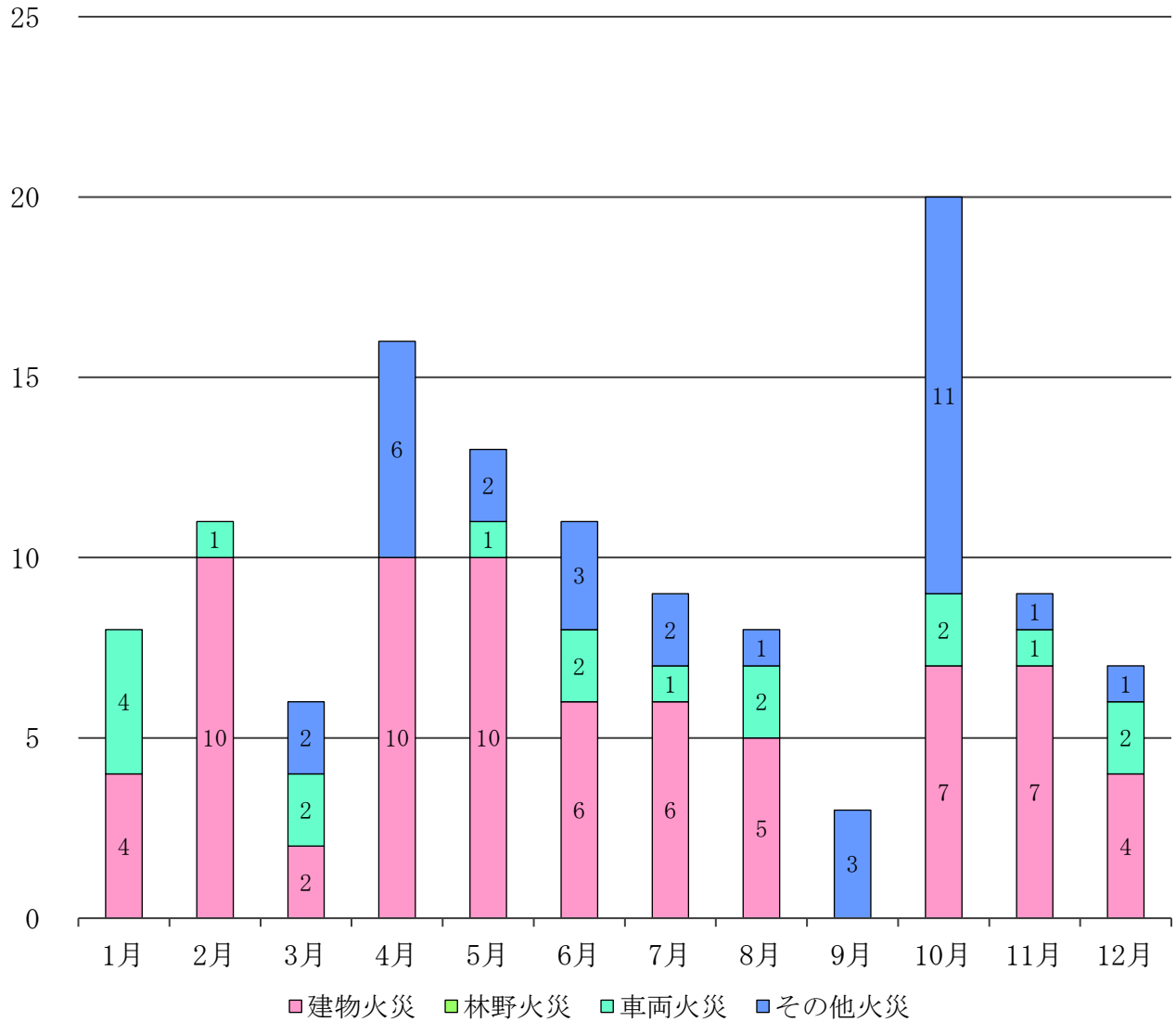
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
放 火	7	1		1	1				1	1		2	
放 火 疑 い	2										2		
コ ン ロ	8		1		2	1	1	1	1				1
(うち天ぷら油)	4		1		1	1			1				
た ば こ	15		2	2	1			2			5	1	2
か ま ど													
風 呂 か ま ど	3		1									2	
炉													
焼 却 炉	1										1		
ス ト ー ブ													
こ た つ													
ボ イ ラ ー													
煙 突 ・ 煙 道													
排 気 管	2	1					1						
電 気 機 器	5	1			1			1	2				
電 気 装 置	6	1				1	2					1	1
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	8					2	1	3		1		1	
内 燃 機 関	1												1
配 線 器 具	4	1	1		1								1
火 遊 び	2	1							1				
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1							1					
た き 火	18		1		4	3	1		1		6	1	1
溶 接 機 ・ 溶 断 機	2									1		1	
灯 火	3						1		1		1		
衝 突 の 火 花													
取 灰	2		1								1		
火 入 れ	5			1	1		2				1		
そ の 他	16	2	2	1	2	5	1		1		2		
不 明	10		2	1	3	1	1	1			1		
合 計	121	8	11	6	16	13	11	9	8	3	20	9	7

校区别・火災種別件数



市・町	校 区		建 物	林 野	車 両	その他	0	2	4	6	8	10
大川市	大 川	3	2		1			3				
	三 又	4	1		1	2		4				
	木 室											
	田 口	2	2					2				
	川 口	2	1			1		2				
	大野島											
	小 計	11	6		2	3						
小郡市	小 郡	3				3		3				
	三 国											
	立 石	1				1		1				
	御 原	3	2			1		3				
	味 坂	2				2		2				
	大 原	1				1		1				
	東 野	1	1					1				
	のぞみが丘											
	小 計	11	3			8						
うきは市	千 年	1	1					1				
	吉 井	3	2		1			3				
	江 南	2	1			1		2				
	福 富											
	旧御幸											
	旧小塩											
	旧妹川											
	旧姫治											
	山 春	2	1			1		2				
	大 石	2	1			1		2				
	小 計	10	6		1	3						
大刀洗町	大刀洗	2	1			1		2				
	本 郷	1	1					1				
	大 堰											
	菊 池	2	1		1			2				
	小 計	5	3		1	1						
大木町	木佐木	1	1					1				
	大 溝	2	1			1		2				
	大 莞	1				1		1				
	小 計	4	2			2						
合 計		121	71		18	32						

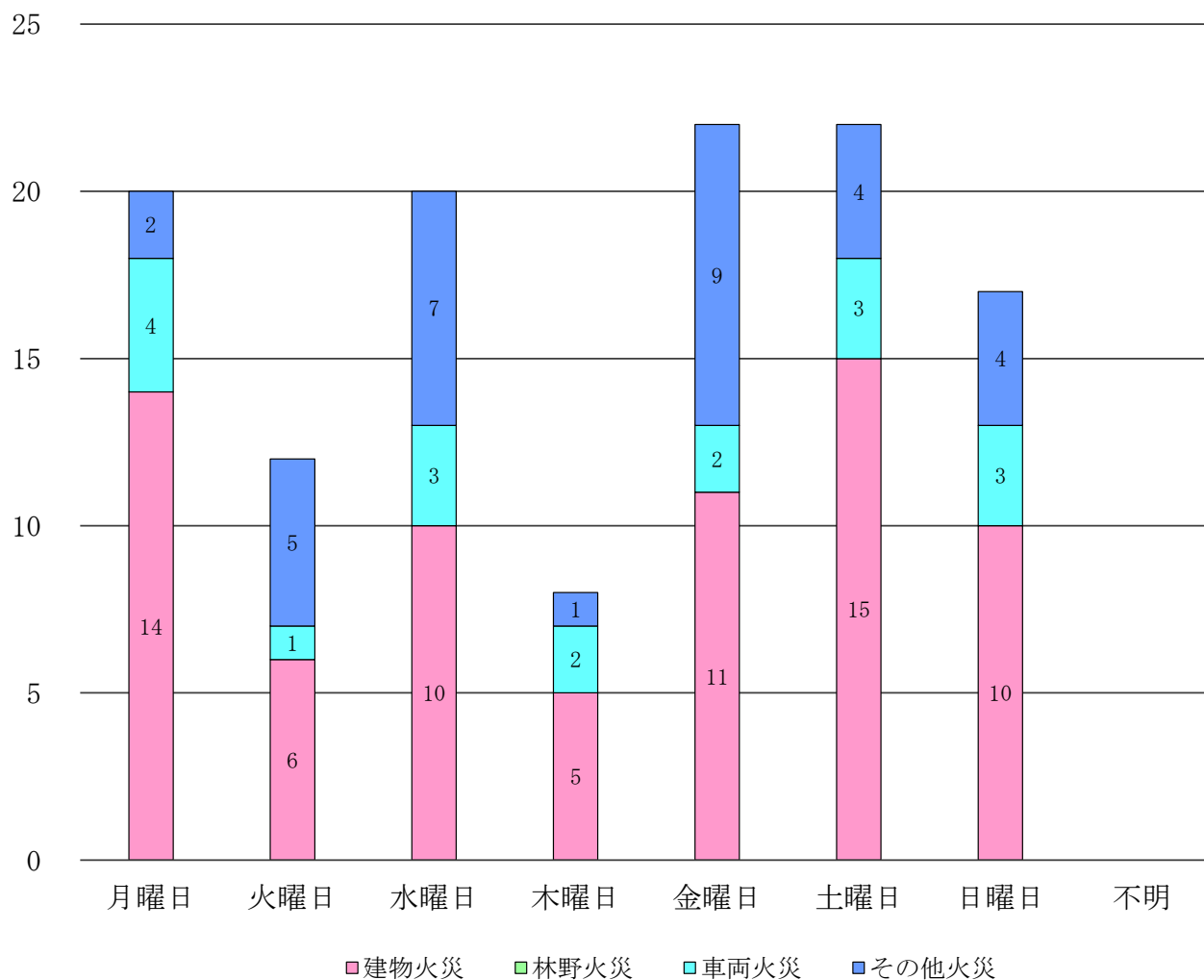
月別・火災種別件数



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物火災	71	4	10	2	10	10	6	6	5		7	7	4
林野火災													
車両火災	18	4	1	2		1	2	1	2		2	1	2
その他火災	32			2	6	2	3	2	1	3	11	1	1
合計	121	8	11	6	16	13	11	9	8	3	20	9	7
月別発生率		6.6%	9.1%	5.0%	13.2%	10.7%	9.1%	7.4%	6.6%	2.5%	16.5%	7.4%	5.8%

※ 月別発生率は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

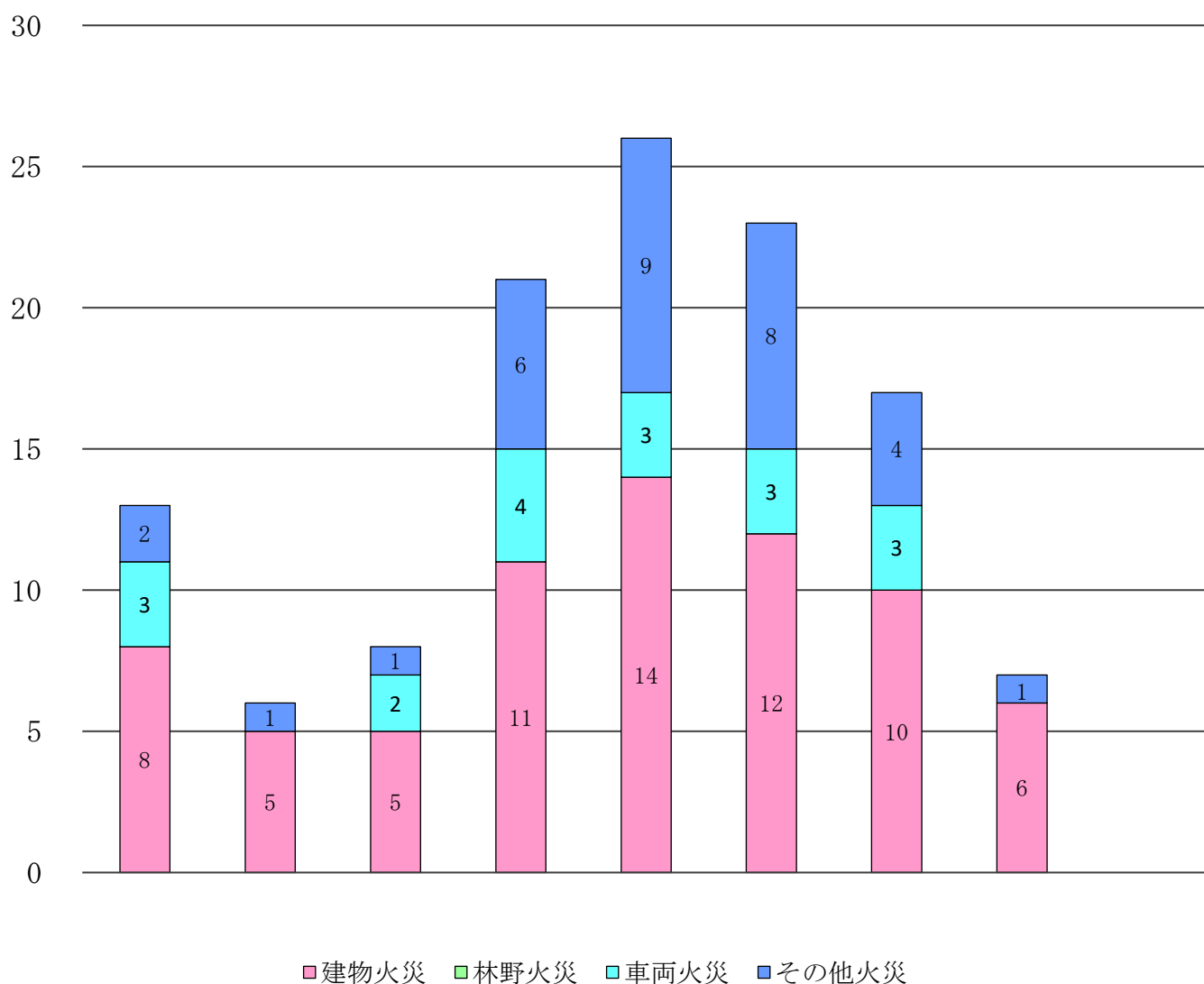
曜日別・火災種別件数



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	不明
建物火災	71	14	6	10	5	11	15	10	
林野火災									
車両火災	18	4	1	3	2	2	3	3	
その他火災	32	2	5	7	1	9	4	4	
合計	121	20	12	20	8	22	22	17	
曜日別発生率		16.5%	9.9%	16.5%	6.6%	18.2%	18.2%	14.0%	

※ 曜日別発生率は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

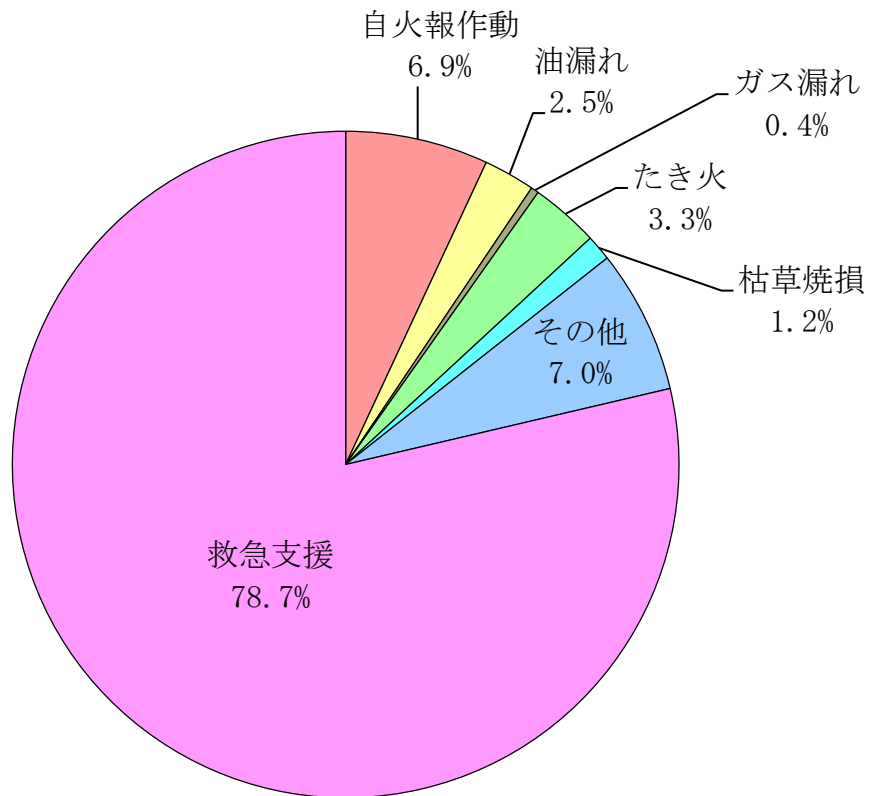
時間帯別・火災種別件数



		0時 ～3時	3時 ～6時	6時 ～9時	9時 ～12時	12時 ～15時	15時 ～18時	18時 ～21時	21時 ～24時	不 明
建物火災	71	8	5	5	11	14	12	10	6	
林野火災										
車両火災	18	3		2	4	3	3	3		
その他火災	32	2	1	1	6	9	8	4	1	
合計	121	13	6	8	21	26	23	17	7	
時 間 帯 別 発 生 率		10.7%	5.0%	6.6%	17.4%	21.5%	19.0%	14.0%	5.8%	

※ 時間帯別発生率は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

その他の災害 出動状況



署 種別	久留米署	三井署	浮羽署	三潞署	大川署	合計
自火報作動	121	22	9	4	11	167
油漏れ	31	12	8	6	3	60
ガス漏れ	7	2	0	0	0	9
たき火	23	17	17	10	13	80
枯草焼損	13	6	3	5	3	30
その他	73	26	25	19	25	168
救急支援	1,080	284	205	122	204	1,895
合 計	1,348	369	267	166	259	2,409

※ その他の内訳（誤報、風水害警戒、管轄外災害出動、廃棄物焼却等）

※ グラフの種別割合は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

救 急 統 計

救 急 の 概 況

1 救急件数は20,800件で、1日当たり約57.0件

令和3年の管内の救急出動件数は20,800件（前年比+1,557件）で8.1%増となっており、搬送人員は19,293人（同+1,194人）で6.6%増となっています。1日あたり約57.0件、約25.3分に1件の頻度で救急車が出動し、管内住民の約23.6人に1人が救急車で搬送されたことになります。

2 救急出動件数の約7割が「久留米市」

構成市町別の救急出動件数は、久留米市14,240件（68.5%）、大川市1,543件（7.4%）、小郡市2,373件（11.4%）、うきは市1,574件（7.6%）、大刀洗町606件（2.9%）、大木町449件（2.2%）、その他が15件（0.1%）となっています。

消防署管内別でみると、久留米消防署が12,326件（59.3%）、三井消防署が3,371件（16.2%）、浮羽消防署が2,133件（10.3%）、三潴消防署が1,415件（6.8%）、大川署が1,555件（7.5%）となっています。

3 事故種別の6割が急病

主な事故種別では、急病が13,227件で全体に占める割合が63.6%と最も多く、次いで一般負傷が3,286件で15.8%、転院搬送が1,877件で9.0%、交通事故が1,194件で5.7%となっており、その構成比は全国と概ね同じ状況となっています。

急病のうち熱中症による搬送人員は、241人（前年比-32人）となっています。

4 搬送人員は19,293人（前年比+1,194人）で6.6%増加

搬送人員19,293人のうち、軽症が8,243人（前年比+404人）で全体の42.7%を占め、次いで中等症が8,383人（同+717人）で43.5%、重症以上が2,666人（同+75人）で13.8%、その他が1人（同-2人）で0.01%となっています。

5 搬送人員の62.3%が高齢者

搬送人員19,293人のうち、高齢者が12,014人（前年比+860人）と全体の62.3%を占め、次いで成人が5,904人（同+291人）で30.6%、乳幼児が721人（同+31人）で3.7%、少年が648人（同+15人）で3.4%、新生児が6人（同-3人）で0.03%となっています。

6 全国トップレベルの搬送時間

救急搬送時間（119番入電～病院到着）は平均28.6分で、これは全国1位である富山県の平均32.2分を大きく上回り、全国トップレベルを維持しています。

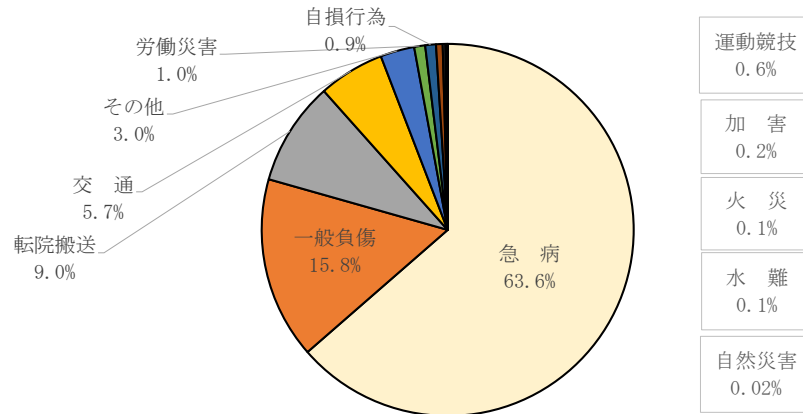
※ 富山県の内容は、令和2年中のもの…総務省消防庁調べ

※ 令和2年中の福岡県は、平均33.1分で全国3位

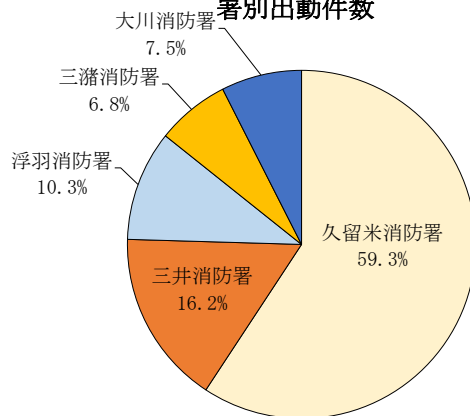
7 普通救命講習 受講者が減少

新型コロナウイルス感染防止対策から、応急手当普及活動を自粛したため、令和 3 年の普通救命講習受講者は 1,549 名（前年比-127 名）でした。

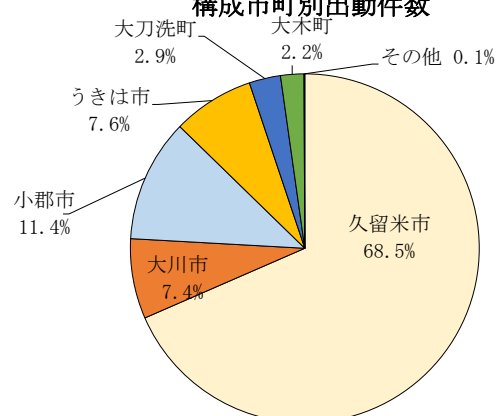
事故種別出動件数（総件数20,800件）



署別出動件数



構成市町別出動件数



※グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

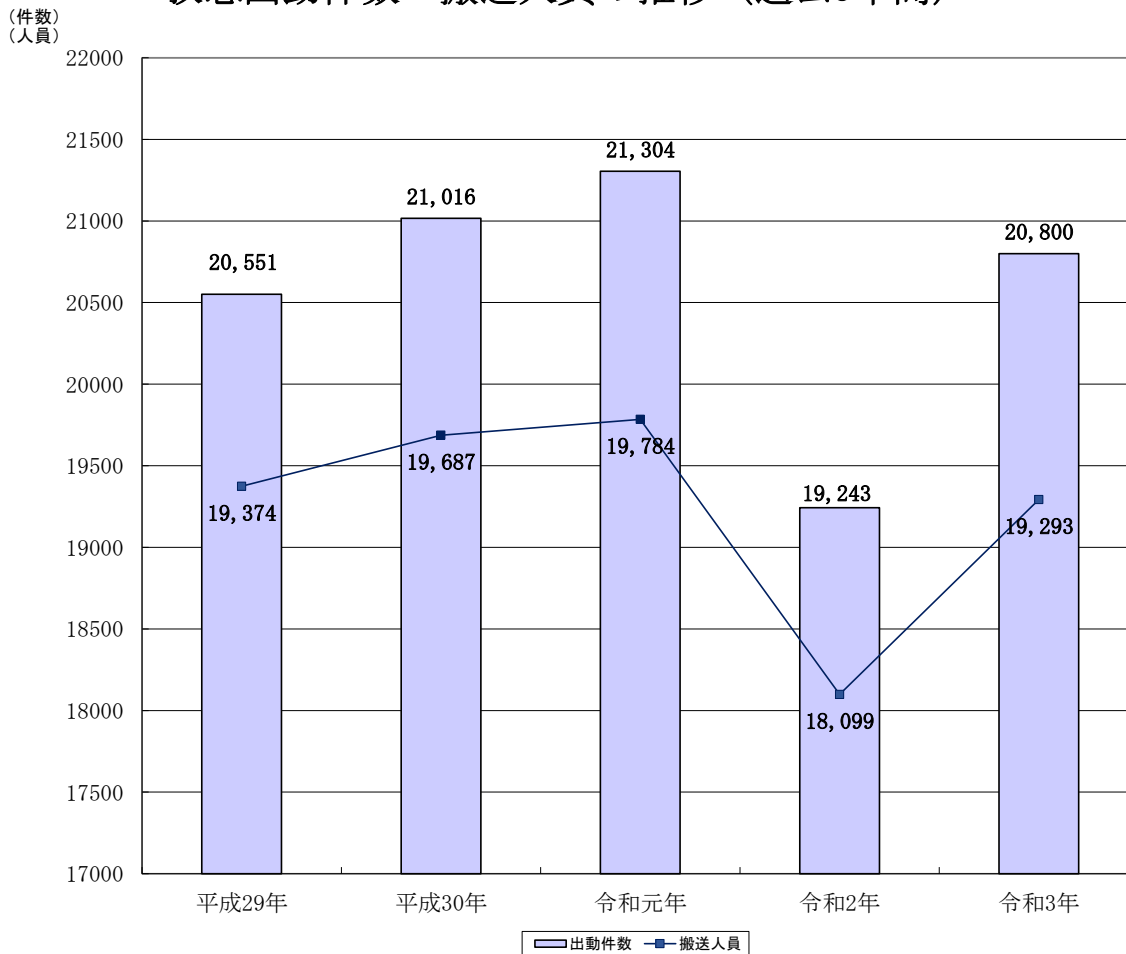
事故種別		合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
総 件 数		20,800	21	4	16	1,194	198	120	3,286	48	194	13,227	1,877	615
署別 出動件数	久留米消防署	12,326	12	4	6	736	101	60	1,973	32	130	8,002	1,010	260
	三井消防署	3,371	1		1	180	37	21	527	7	24	2,057	456	60
	浮羽消防署	2,133	1			86	20	12	281	3	14	1,264	189	263
	三瀬消防署	1,415	4		5	96	16	16	246	3	13	903	99	14
	大川消防署	1,555	3		4	96	24	11	259	3	13	1,001	123	18
構成市町別 出動件数	久留米市	14,240	15	4	11	849	119	75	2,290	32	144	9,187	1,241	273
	大川市	1,543	3		3	87	23	12	253	3	13	1,010	119	17
	小郡市	2,373			1	111	22	14	370	7	11	1,398	387	52
	うきは市	1,574	1			58	15	9	201	3	13	901	113	260
	大刀洗町	606				45	12	7	86	2	6	439	2	7
	大木町	449	2		1	36	7	3	86	1	5	288	15	5
	その他	15				8					2	4		1

※事故種別のその他は、飲酒によるもの、受傷機転が不明なもの及び誤報などを含みます。

熱中症による搬送人員

	合計	久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町
令和3年	241	166	18	25	11	11	10
令和2年	273	190	23	27	17	7	9

救急出動件数・搬送人員の推移（過去5年間）



区分	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出動件数		20,551	21,016	21,304	19,243	20,800
搬送人員		19,374	19,687	19,784	18,099	19,293

救急搬送時間の推移（過去5年間）

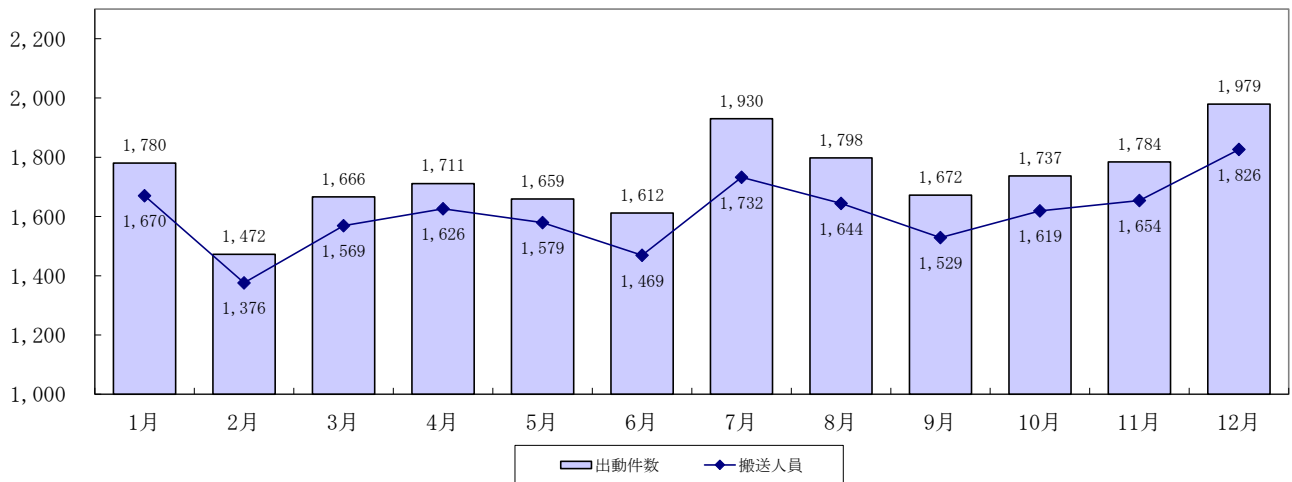
入電～病院到着

(分)

市町別	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
久留米広域		26.5	26.3	27.2	27.8	28.6
久留米市		25.2	24.9	26.0	26.7	27.6
大川市		26.7	27.0	26.5	27.1	27.5
小郡市		26.7	27.2	28.3	27.8	27.9
うきは市		36.3	35.4	35.4	36.6	37.4
大刀洗町		31.0	30.9	30.2	32.4	32.1
大木町		30.3	32.1	32.9	32.4	33.9

月別出動件数・搬送人員

(件数)
(人員)



事故種別・月別出動件数

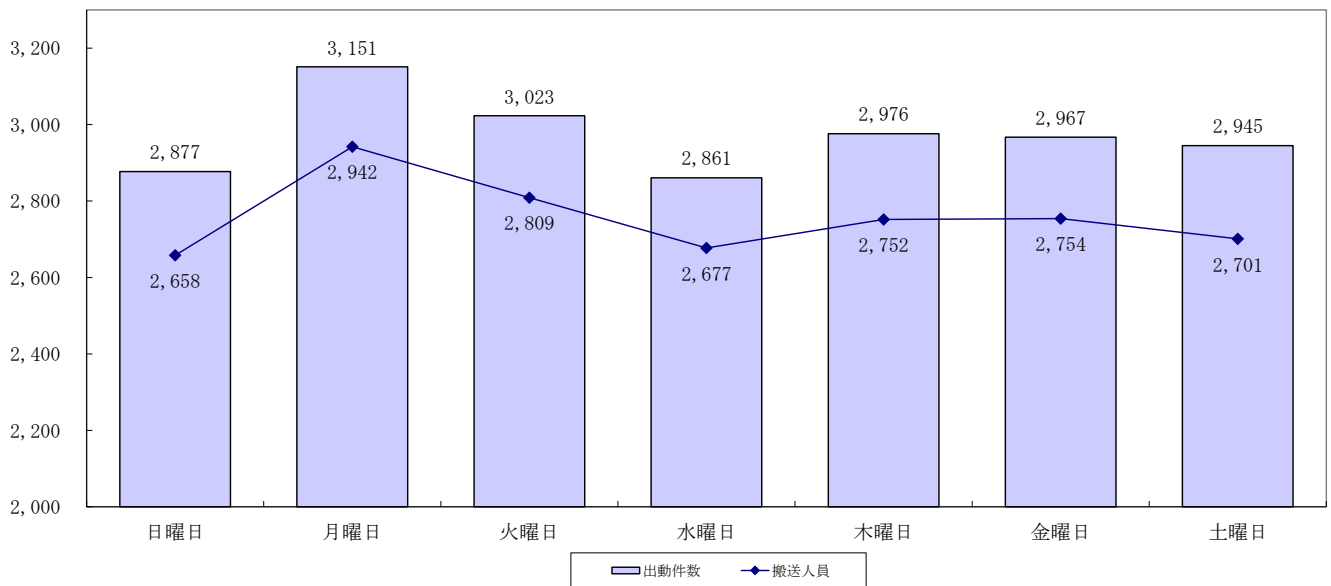
事故種別 月別	合 計	火災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
合 計	20,800	21	4	16	1,194	198	120	3,286	48	194	13,227	1,877	615
1月	1,780	1			93	12	12	292	3	17	1,134	171	45
2月	1,472	4		1	87	9	7	225	5	15	942	149	28
3月	1,666	1			96	19	9	295	5	13	1,023	175	30
4月	1,711	2		1	109	26	7	263	10	21	1,081	169	22
5月	1,659	3			91	12	9	239	3	18	1,095	158	31
6月	1,612	3		2	101	11	15	220	3	16	1,037	146	58
7月	1,930	2		3	99	23	13	264	5	21	1,249	147	104
8月	1,798	3	3	2	101	20	7	235		16	1,198	129	84
9月	1,672		1		89	12	4	261	5	10	1,072	142	76
10月	1,737			4	107	14	14	317	3	21	1,062	157	38
11月	1,784	1		2	105	19	10	312	3	13	1,110	162	47
12月	1,979	1		1	116	21	13	363	3	13	1,224	172	52

事故種別・月別搬送人員

事故種別 月別	合 計	火災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
合 計	19,293	17	1	6	1,182	187	123	3,184	43	148	12,528	1,874	
1月	1,670	1			97	12	12	281	2	12	1,082	171	
2月	1,376	2			89	9	7	212	5	8	895	149	
3月	1,569				95	18	9	285	5	9	973	175	
4月	1,626	2		1	109	26	7	256	10	17	1,029	169	
5月	1,579	1			93	12	9	236	2	17	1,052	157	
6月	1,469	4		1	93	10	17	210	3	12	973	146	
7月	1,732	2		3	97	22	13	262	5	16	1,165	147	
8月	1,644	3			108	20	8	229		15	1,133	128	
9月	1,529		1		89	11	4	257	5	9	1,012	141	
10月	1,619			1	103	13	14	308	2	14	1,007	157	
11月	1,654	1			98	15	9	302	2	9	1,056	162	
12月	1,826	1			111	19	14	346	2	10	1,151	172	

曜 日 別 出 動 件 数 ・ 搬 送 人 員

(件数)
(人員)



事 故 種 別 ・ 曜 日 別 出 動 件 数

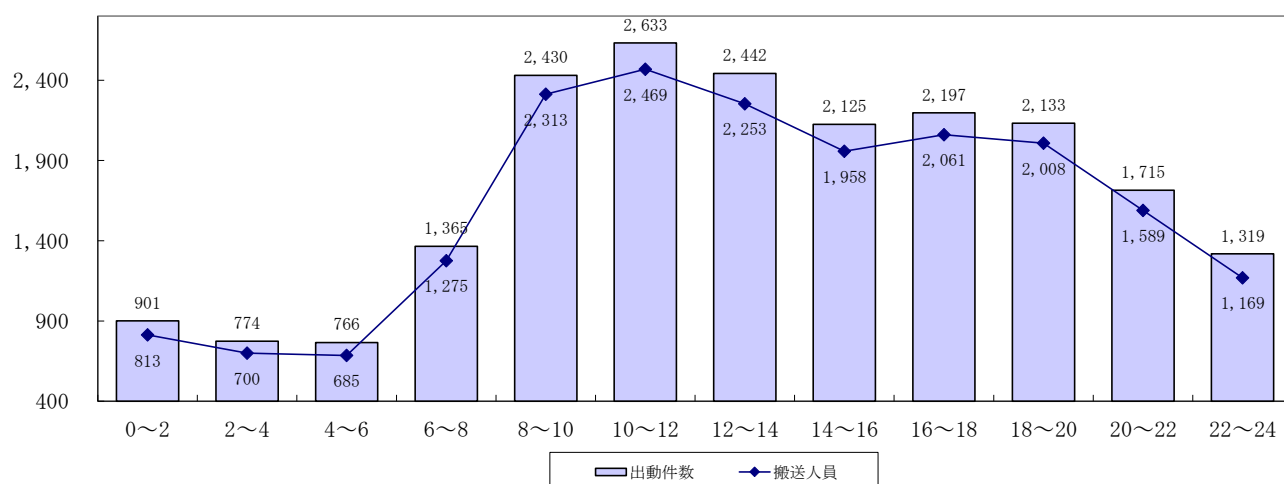
事故種別 曜日別	合 計	火災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
合 計	20,800	21	4	16	1,194	198	120	3,286	48	194	13,227	1,877	615
日曜日	2,877	6		1	139	16	37	484	7	34	1,908	148	97
月曜日	3,151	3		1	185	35	8	482	10	27	2,000	331	69
火曜日	3,023	3		2	166	34	16	500	6	33	1,852	323	88
水曜日	2,861	2		2	168	28	10	422	6	32	1,837	275	79
木曜日	2,976	1		1	185	38	13	466	6	16	1,889	266	95
金曜日	2,967	4	1	5	182	25	7	452	9	26	1,853	315	88
土曜日	2,945	2	3	4	169	22	29	480	4	26	1,888	219	99

事 故 種 別 ・ 曜 日 別 搬 送 人 員

事故種別 曜日別	合 計	火災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
合 計	19,293	17	1	6	1,182	187	123	3,184	43	148	12,528	1,874	
日曜日	2,658	5			141	15	38	472	5	27	1,807	148	
月曜日	2,942	4		1	177	32	8	472	10	19	1,889	330	
火曜日	2,809	2		1	165	31	18	486	6	30	1,748	322	
水曜日	2,677	2			166	26	10	410	6	23	1,760	274	
木曜日	2,752			1	185	38	13	442	5	11	1,791	266	
金曜日	2,754	3	1	2	175	24	7	437	8	21	1,761	315	
土曜日	2,701	1		1	173	21	29	465	3	17	1,772	219	

時間帯別出動件数・搬送人員

(件数)
(人員)



事故種別・時間帯別出動件数

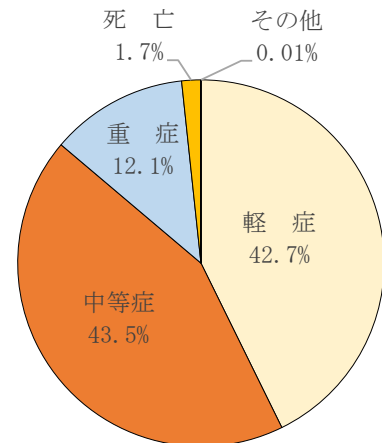
事故種別 時間帯別	合 計	火災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
合 計	20,800	21	4	16	1,194	198	120	3,286	48	194	13,227	1,877	615
0～2	901	2			17			91	5	11	685	46	44
2～4	774	1			15	3		87	4	7	587	28	42
4～6	766	1	2		22	3		88	2	10	566	29	43
6～8	1,365			1	108	3		216	3	15	957	23	39
8～10	2,430	2		1	144	34	4	466	2	16	1,542	179	40
10～12	2,633	3	1	7	162	42	29	439	3	17	1,470	410	50
12～14	2,442	4		2	127	24	38	382	4	25	1,423	364	49
14～16	2,125	3		1	147	33	27	361	3	20	1,201	259	70
16～18	2,197	2		1	191	37	15	393	4	20	1,212	266	56
18～20	2,133	2	1	2	159	12	6	337	4	18	1,410	131	51
20～22	1,715				78	5	1	247	8	19	1,221	79	57
22～24	1,319	1		1	24	2		179	6	16	953	63	74

事故種別・時間帯別搬送人員

事故種別 時間帯別	合 計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合 計	19,293	17	1	6	1,182	187	123	3,184	43	148	12,528	1,874	
0～2	813	2			19			88	5	10	643	46	
2～4	700	1			15	3		84	3	6	560	28	
4～6	685	1			20	2		83	1	9	540	29	
6～8	1,275				108	3		211	3	10	917	23	
8～10	2,313	1			139	31	4	455	2	10	1,492	179	
10～12	2,469	3		1	159	39	29	427	3	12	1,386	410	
12～14	2,253	1		1	120	24	39	367	4	16	1,318	363	
14～16	1,958	4		1	146	30	28	350	2	18	1,122	257	
16～18	2,061	2		1	193	36	15	383	4	13	1,148	266	
18～20	2,008	1	1	2	156	12	7	325	4	12	1,357	131	
20～22	1,589				85	5	1	236	7	16	1,160	79	
22～24	1,169	1			22	2		175	5	16	885	63	

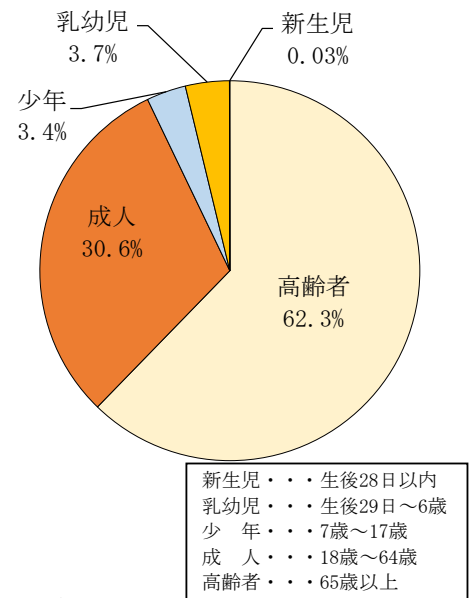
事故種別・傷病程度別搬送人員

区 分 事故種別	合 計	傷 病 程 度 別				
		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
合 計	19,293	325	2,341	8,383	8,243	1
火 災	17	1	2	8	6	
自然災害	1				1	
水 難	6	4		1	1	
交 通	1,182	2	62	265	853	
労働災害	187	2	22	79	84	
運動競技	123		1	42	80	
一般負傷	3,184	22	227	1,474	1,461	
加 害	43		2	8	33	
自損行為	148	28	40	41	39	
急 病	12,528	258	1,466	5,271	5,532	1
そ の 他	1,874	8	519	1,194	153	



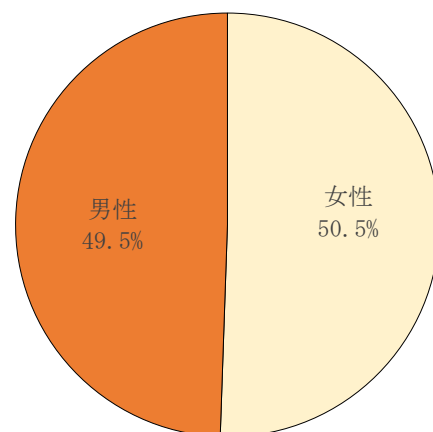
事故種別・年齢区分別搬送人員

区 分 事故種別	合 計	年 齢 別				
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
合 計	19,293	6	721	648	5,904	12,014
火 災	17		1		7	9
自然災害	1		1			
水 難	6			1	1	4
交 通	1,182		24	122	660	376
労働災害	187				142	45
運動競技	123			81	37	5
一般負傷	3,184		171	103	495	2,415
加 害	43			1	30	12
自損行為	148			7	116	25
急 病	12,528	5	501	317	3,827	7,878
そ の 他	1,874	1	23	16	589	1,245



事故種別・性別搬送人員

区 分 事故種別	合 計	性 別	
		男性	女性
合 計	19,293	9,542	9,751
火 災	17	11	6
自然災害	1	1	
水 難	6	3	3
交 通	1,182	674	508
労働災害	187	166	21
運動競技	123	100	23
一般負傷	3,184	1,339	1,845
加 害	43	18	25
自損行為	148	55	93
急 病	12,528	6,260	6,268
そ の 他	1,874	915	959



※1 事故種別のその他には、転院搬送（病院間の搬送）を含みます。

※2 グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

年齢区分別・傷病程度別搬送人員

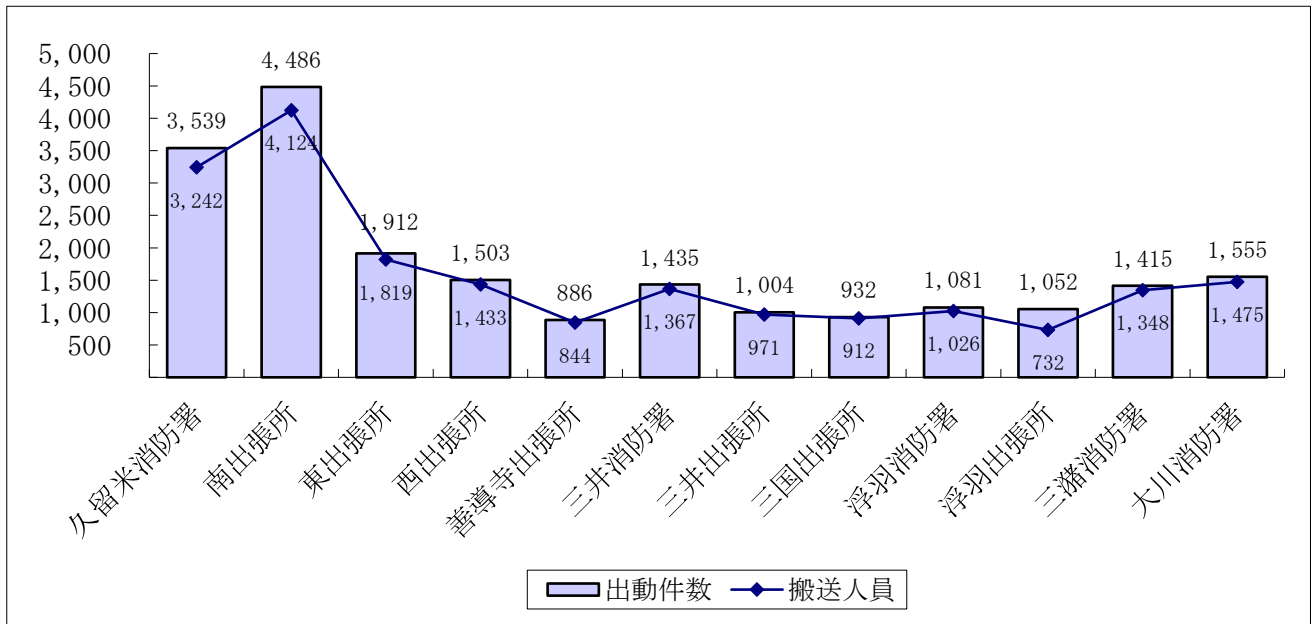
傷病程度		合 計	傷 病 程 度 別				
			死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
久留米広域消防本部	新生児	6		1	5		
	乳幼児	721	2	3	122	594	
	少 年	648		13	142	493	
	成 人	5,904	52	558	2,040	3,253	1
	高齢者	12,014	271	1,766	6,074	3,903	
	合 計	19,293	325	2,341	8,383	8,243	1
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 1.7% 					
久留米市	新生児	4		1	3		
	乳幼児	517	2	2	67	446	
	少 年	446		9	98	339	
	成 人	4,377	38	448	1,406	2,484	1
	高齢者	7,975	178	1,213	3,800	2,784	
	小 計	13,319	218	1,673	5,374	6,053	1
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 1.6% 					
大川市	新生児	1			1		
	乳幼児	43			13	30	
	少 年	43		1	12	30	
	成 人	342	2	31	162	147	
	高齢者	1,038	37	151	627	223	
	小 計	1,467	39	183	815	430	
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 2.7% 					
小郡市	新生児						
	乳幼児	79			26	53	
	少 年	85		3	19	63	
	成 人	590	4	47	248	291	
	高齢者	1,524	20	195	877	432	
	小 計	2,278	24	245	1,170	839	
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 1.1% 					
うきは市	新生児	1			1		
	乳幼児	34		1	3	30	
	少 年	35			4	31	
	成 人	287	4	14	116	153	
	高齢者	846	26	135	415	270	
	小 計	1,203	30	150	539	484	
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 2.5% 					
大刀洗町	新生児						
	乳幼児	38			10	28	
	少 年	20			7	13	
	成 人	200	4	9	65	122	
	高齢者	334	5	35	196	98	
	小 計	592	9	44	278	261	
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 1.5% 					
大木町	新生児						
	乳幼児	10			3	7	
	少 年	19			2	17	
	成 人	101		9	41	51	
	高齢者	293	5	37	157	94	
	小 計	423	5	46	203	169	
		傷病程度別搬送人員割合 死亡 1.2% 					

※1 上記のほか、管轄外等（高速道路及び管轄外）に出動し、11名の傷病者を搬送しています。

※2 グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

署所別出動件数・搬送人員

(件数)
(人員)



署所別 区 分	久留米消防署	南出張所	東出張所	西出張所	善導寺出張所	三井消防署	三井出張所
出動件数	3,539	4,486	1,912	1,503	886	1,435	1,004
搬送人員	3,242	4,124	1,819	1,433	844	1,367	971

署所別 区 分	三国出張所	浮羽消防署	浮羽出張所	三潁消防署	大川消防署	合 計
出動件数	932	1,081	1,052	1,415	1,555	20,800
搬送人員	912	1,026	732	1,348	1,475	19,293

事故種別応急処置状況

事故種別	対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保					保温	被覆	在宅療法継続			ショックパンツ	除細動（AED）	静脈路確保（輸液）	静脈路確保		薬剤投与	血圧測定	聴診器	血中酸素飽和度	心電図	血糖測定	ブドウ糖投与	その他	処置合計	
					うち自動	1				2	3	4	A	B			C	CPA前	CPA後															
急病	12,528	38	211	29	4		313	19	3,533	409	33	51	261	5	516	41	66	1	3	62		40	165	69	96	63	11,741	6,522	12,202	6,599	17	10	3,071	46,105
交通事故	1,182	30	692				2		59	3			2		44	125						3	3				1,163	589	1,175	117			320	4,327
一般負傷	3,184	148	872	2			42	2	290	43	3	19	38	2	106	437	4			4			17	7	10	8	3,018	933	3,131	695			847	10,672
その他	2,399	39	170	6	1	1	44	3	789	60	9	7	31		95	96						3	8	3	5	3	2,304	798	2,345	752			457	8,025
計	19,293	255	1,945	37	5	1	401	24	4,671	515	45	77	332	7	761	699	70	1	3	66		43	193	82	111	74	18,226	8,842	18,853	8,163	17	10	4,695	69,129

（注）気道確保欄の

- *1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数の内数
- *2には、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数の内数
- *3には、救急救命士がラリングルマスク等を行った件数の内数
- *4には、救急救命士が気管挿管処置を行った件数の内数

（注）在宅療法継続欄の

- *Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数の内数
- *Bには、気管切開孔又は、気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数の内数
- *Cには、*A・*B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数の内数

事故種別 ・ 校区別出動件数

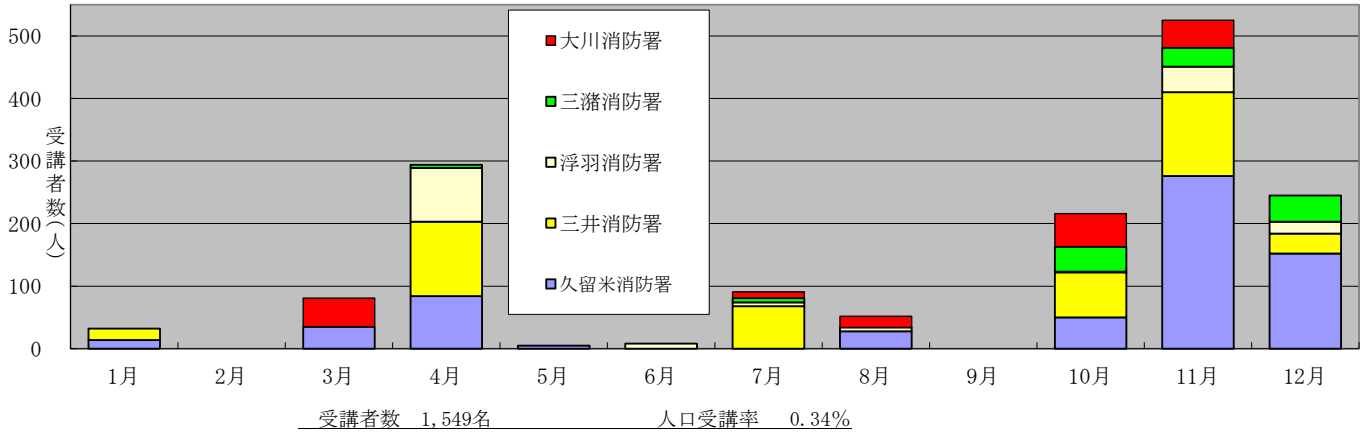
市町	種別 校区	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				
	合 計	20,800	21	4	16	1,194	198	120	3,286	48	194	13,227	2,492	200	400	600	800
久米市	篠 山	368				22	1	3	63	1	3	220	55		368		
	京 町	304			1	10	2		54	1	5	220	11		304		
	荘 島	241				15	1	1	45		1	163	15		241		
	鳥 飼	480		2		20	6	1	68		2	325	56		480		
	金 丸	625	1			35	1	1	103	1	14	373	96		625		
	日 吉	638				33	4		85	5	8	416	87		638		
	西国分	727	1			33	6	1	88	1	6	427	164		727		
	南 薫	712	1		1	52	6	3	102	1	4	498	44		712		
	東国分	658	1			26	4	22	90	3	5	399	108		658		
	小森野	165			1	5		3	28	1	1	117	9		165		
	長門石	301	1			15	1		59		6	199	20		301		
	御 井	548				45	3	6	110		5	329	50		548		
	南	774	2			52	3		113	6	11	503	84		774		
	上 津	829				63	6	3	144	1	12	523	77		829		
	山 川	294				10	5		55	1	5	191	27		294		
	合 川	739			1	69	9	3	110	1	11	480	55		739		
	高良内	365				18	3	3	61		3	259	18		365		
	青 峰	65				2			15		1	45	2		65		
	宮ノ陣	423			1	25	6	1	75	1	3	268	43		423		
	山 本	150				14	1		22			95	18		150		
	草 野	71	1			4	1	1	11	1		51	1		71		
	善導寺	303	3	1		13	3		53	2	2	203	23		303		
	大 橋	64				8	2		8			40	6		64		
	安 武	281				15	1	1	48			184	32		281		
	大善寺	325			1	17	1	2	56		4	206	38		325		
	荒 木	590				38	7		89		6	395	55		590		
	津 福	544		1		41	5		97	1	7	356	36		544		
	水 縄	140				5	1		23			87	24		140		
	竹 野	92					1	3	21		1	65	1		92		
	川 会	70				4	1		16			46	3		70		
	柴 刈	61				4	1		15			38	3		61		
	田主丸	287				17	4	2	32		2	165	65		287		
	水 分	71				4	1	1	14			49	2		71		
	船 越	96				3	1	1	14			76	1		96		
	北 野	351				21	3	2	55		1	253	16		351		
	弓 削	82			1	3	1		13		2	61	1		82		
	大 城	158	1			7	1		32		4	110	3		158		
	金 島	126				7	1		13		2	41	62		126		

事故種別 ・ 校区別出動件数

市町	種別 校区	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他	200 400 600 800			
久留米市	旧城島	214			1	21	3	8	39			136	6		214		
	旧下田	26				3			4			18	1		26		
	青木	113			2	4	2		13			64	28		113		
	旧浮島	9							2			7			9		
	江上	113			1	9		1	16	1	1	77	7		113		
	三潯	274				17	3		47	1	2	184	20		274		
	犬塚	241	2			11	3	2	47		3	134	39		241		
	西牟田	132	1			9	4		22	2	1	91	2		132		
大川市	大川	588	1		1	34	7	2	97	2	6	334	104		588		
	三又	222	2			10	5	4	26		2	165	8		222		
	木室	199				8	5	1	48			127	10		199		
	田口	213			1	15	3		36	1	3	151	3		213		
	川口	214				11	3	2	34		1	155	8		214		
	大野島	107			1	9		3	12		1	78	3		107		
小郡市	小郡	683			1	27	4	3	97	4	4	309	234		683		
	三国	573				21	6	3	93	3	1	377	69		573		
	立石	267				17	7	2	34			141	66		267		
	御原	108				7	1		16		2	80	2		108		
	味坂	97				10	2		16			64	5		97		
	大原	239				14	1	3	43		2	158	18		239		
	東野	267				10		2	47		1	175	32		267		
	のぞみが丘	139				5	1	1	24		1	94	13		139		
うきは市	吉井	232				11	4		44	1	3	128	41		232		
	千年	165				10			26	2		108	19		165		
	福富	121				8	2	1	13		1	95	1		121		
	江南	139				8	2	4	14		1	101	9		139		
	旧御幸	586				6	3	2	55		1	256	263		586		
	旧姫治	22				1		1	3			16	1		22		
	山春	90				5	1	1	16		2	61	4		90		
	大石	181	1			6	3		25		4	109	33		181		
	旧妹川	16				1			1		1	11	2		16		
	旧小塩	22				2			4			16			22		
大刀洗町	大刀洗	181				19	2		26			133	1		181		
	本郷	172				14	5	5	30		1	115	2		172		
	大堰	77				3		2	13		2	56	1		77		
	菊池	176				9	5		17	2	3	135	5		176		
大木町	大莞	85				7	2		21		1	52	2		85		
	木佐木	187			1	8	2	1	34	1	1	128	11		187		
	大溝	177	2			21	3	2	31		3	108	7		177		
その他 管轄外等	高速	13				8						4	1		13		
	管轄外														0		
	県外	2									2				2		

普通救命講習実施状況

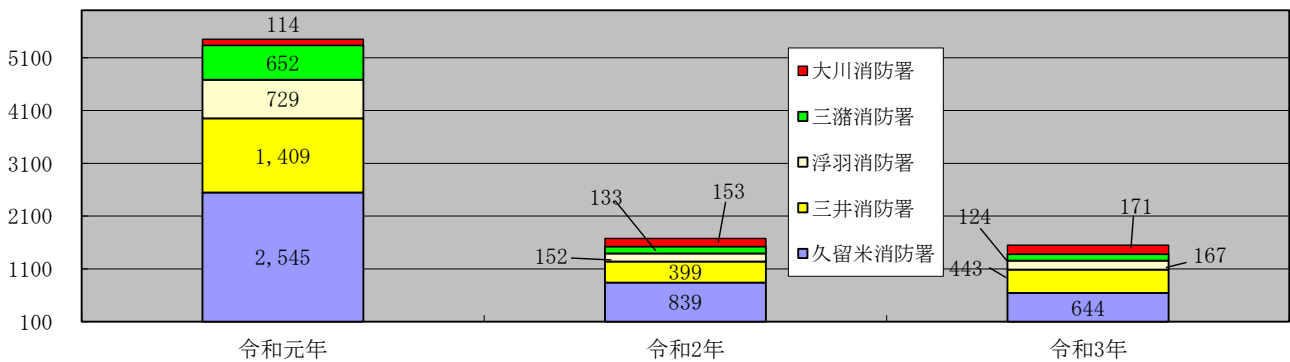
(人)



月	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三瀨消防署	大川消防署	合計(人)
1月	14	18	0	0	0	32
2月	0	0	0	0	0	0
3月	35	0	0	0	46	81
4月	84	119	86	5	0	294
5月	5	0	0	0	0	5
6月	0	0	8	0	0	8
7月	0	68	6	7	10	91
8月	28	0	6	0	18	52
9月	0	0	0	0	0	0
10月	50	72	1	40	53	216
11月	276	134	41	30	44	525
12月	152	32	19	42	0	245
合計	644	443	167	124	171	1,549

過去3年間の普通救命講習受講者の推移

(人)



年	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三瀨消防署	大川消防署	合計(人)
令和元年	2,545	1,409	729	652	114	5,449
令和2年	839	399	152	133	153	1,676
令和3年	644	443	167	124	171	1,549

救 助 統 計

救 助 の 概 況

1 救助出動件数は10件減少

令和3年中における救助出動件数は295件（前年比－10件）、救助活動件数は、173件（同一16件）となっており、出動件数、活動件数ともに減少しています。

構成市町別の出動件数は、久留米市230件（同－9件）、大川市16件（同＋8件）、小郡市20件（同＋3件）、うきは市15件（同－5件）、大刀洗町9件（同－1件）、大木町3件（同－1件）となっています。

2 建物等による事故と自然災害事故で過半数を占める

主な事故種別では、建物等による事故が97件で32.9%、次いで自然災害事故が72件で24.4%となり、全体の57.3%を占めています。

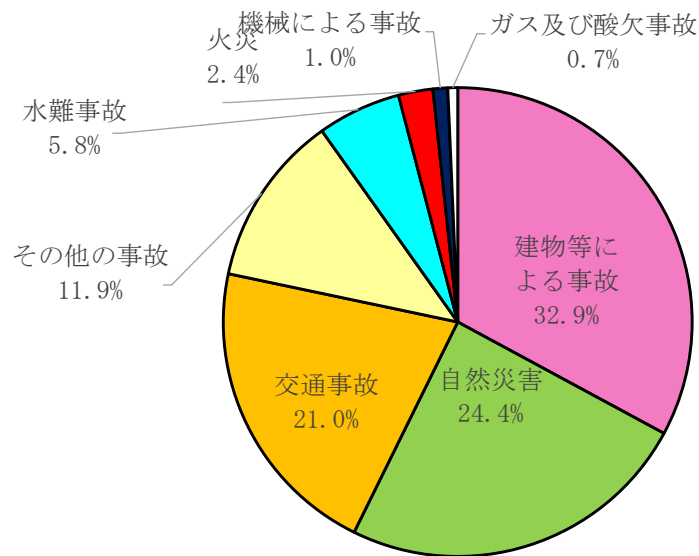
なお、自然災害事故72件は、すべて令和3年8月の大雨に伴い発生したものとなっています。

3 救出人員（317人）の62.5%は自然災害事故

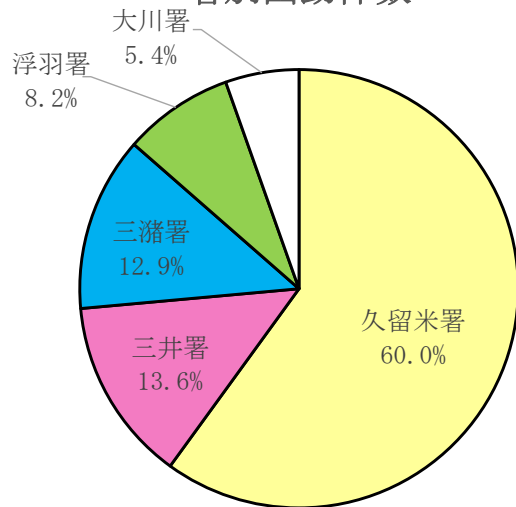
自然災害事故以外の救出人員119人のうち「65歳以上」が64人と全体の53.8%を占めています。

自然災害事故の救出人員198人のうち「50～64歳」が125人と全体の63.1%と最も多く、65歳以上は13人と全体の6.6%となっています。

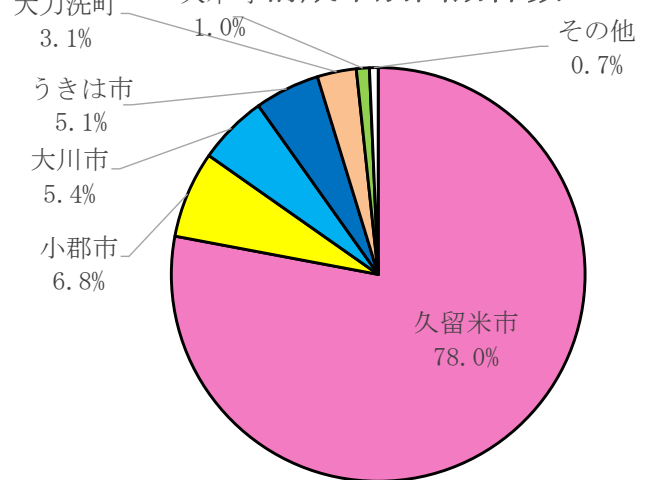
事故種別救助出動件数（総件数295件）



署別出動件数

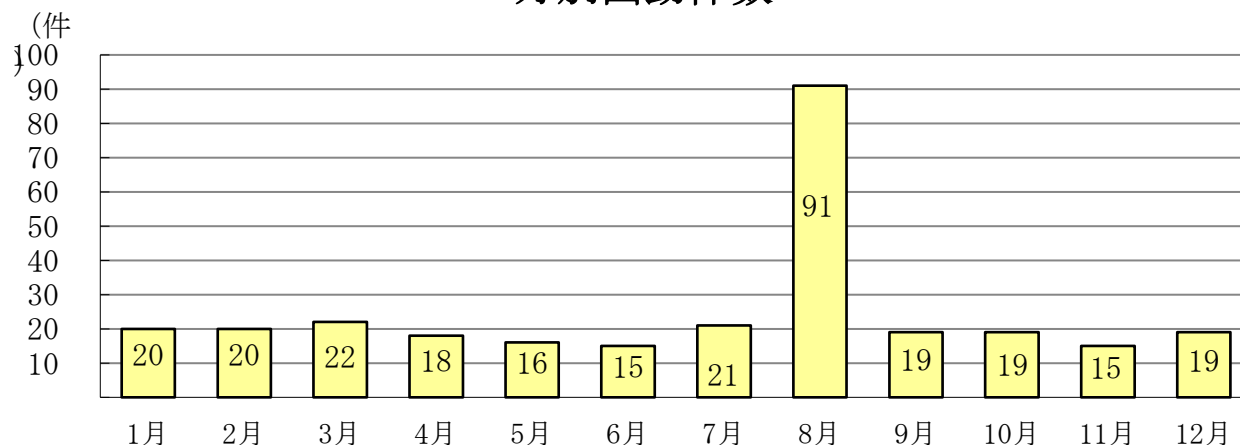


構成市別出動件数



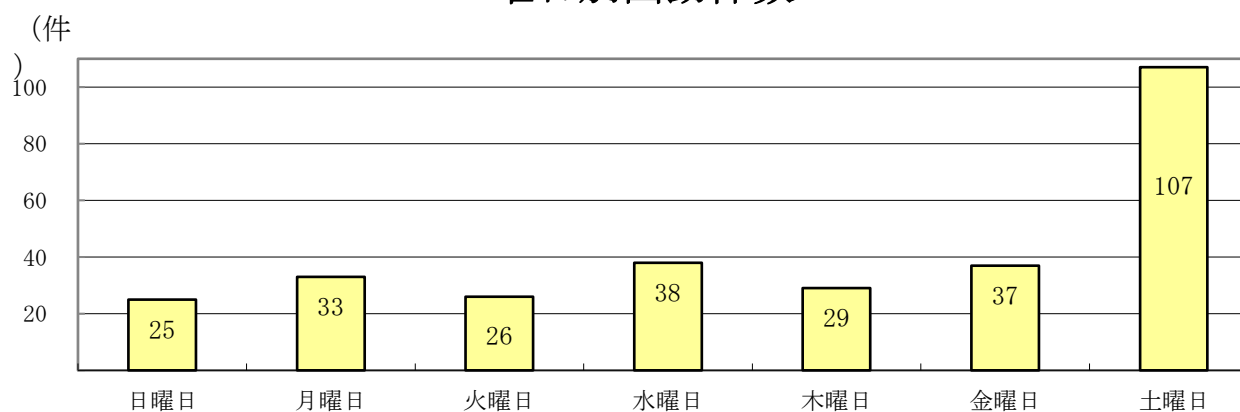
事故種別		合 計	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
令和3年出動件数		295	7	62	17	72	3	97	2		35
令和2年出動件数		305	4	80	14	88		79	2		38
前年比		-10	+3	-18	+3	-16	+3	+18			-3
令和3年活動件数		173	5	27	12	68	3	36	1		21
構成市町別出動件数	久留米市	230	6	42	12	69	2	79	2		18
	大川市	16	1	2	1			9			3
	小郡市	20		8	1	1		6			4
	うきは市	15		4	1		1	2			7
	大刀洗町	9		4		2					3
	大木町	3		1	1			1			
	その他	2		1	1						
署別出動件数	久留米消防署	177	2	23	7	57	1	71	2		14
	三井消防署	40	1	16	3	5		8			7
	浮羽消防署	24		10	1	1	1	2			9
	三潁消防署	38	3	11	5	9	1	7			2
	大川消防署	16	1	2	1			9			3

月別出動件数



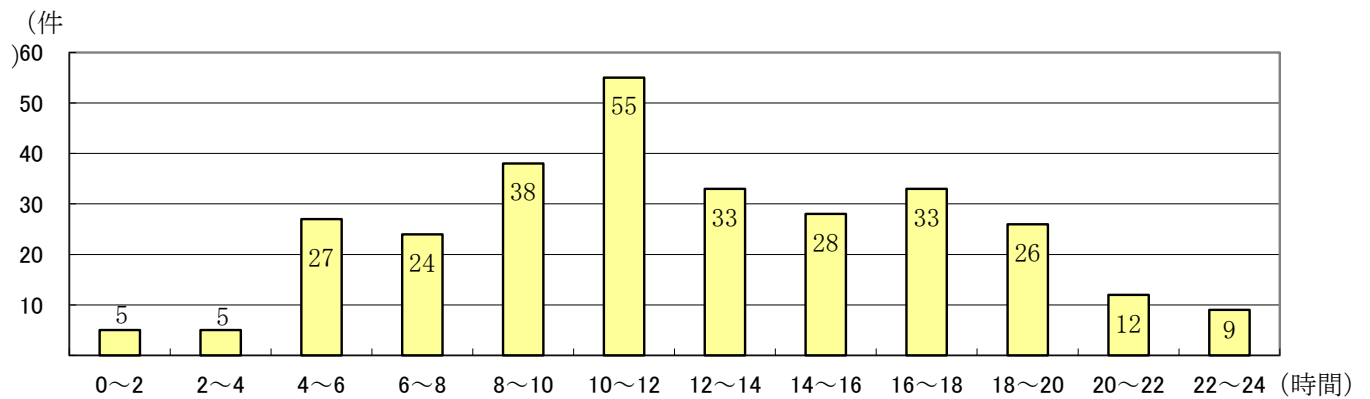
事故種別	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
合計	295	7	62	17	72	3	97	2		35
1 月	20		6				10			4
2 月	20	2	4	1			10			3
3 月	22	1	8				10	1		2
4 月	18		3	1		1	8			5
5 月	16		6				8			2
6 月	15	1	4	2			8			
7 月	21		5	4			9			3
8 月	91	1	3	3	72		10			2
9 月	19		9	1		1	4			4
10 月	19		6	2			8			3
11 月	15	1	3	2		1	4	1		3
12 月	19	1	5	1			8			4

曜日別出動件数



事故種別	計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
合計	295	7	62	17	72	3	97	2		35
日曜日	25	2	4	1			14	1		3
月曜日	33	2	11	2			15			3
火曜日	26	1	8	3		2	11			1
水曜日	38		8	2			18			10
木曜日	29	1	11	1	1		10			5
金曜日	37		9	5	1		12	1		9
土曜日	107	1	11	3	70	1	17			4

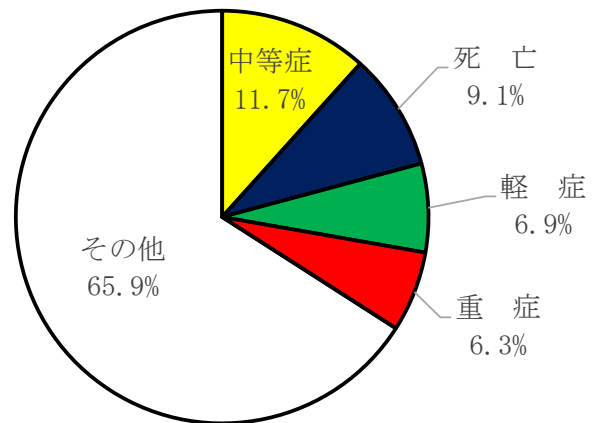
時間別出動件数



事故種別 時間別	合 計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
合 計	295	7	62	17	72	3	97	2		35
0 ～ 2	5	1	1				3			
2 ～ 4	5		2		2					1
4 ～ 6	27		4		18		5			
6 ～ 8	24		8		11		4			1
8 ～ 10	38		8	1	15		11	1		2
10 ～ 12	55	2	14	6	13		13			7
12 ～ 14	33	1	6	2	3	1	12			8
14 ～ 16	28	1	4	1	5	1	12	1		3
16 ～ 18	33	1	6	3	3	1	9			10
18 ～ 20	26	1	5	3	2		13			2
20 ～ 22	12		3				9			
22 ～ 24	9		1	1			6			1

傷病程度別救出人員

程度別 事故種別	合 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
合 計	317	29	20	37	22	209
火 災	7	6				1
交 通	35		9	14	12	
水 難	12	10		1	1	
自然災害	198				1	197
機 械	3	1	1		1	
建 物	40	9	8	16	1	6
ガス酸欠	1	1				
破 裂						
そ の 他	21	2	2	6	6	5

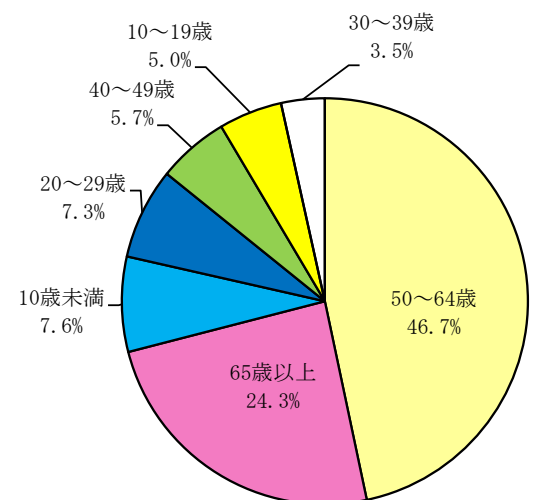


死 亡…初診時において死亡が確認されたもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中 等 症…重症又は軽症以外のもの
 軽 症…入院加療を必要としないもの
 そ の 他…医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの

※ 傷病程度その他＝不搬送

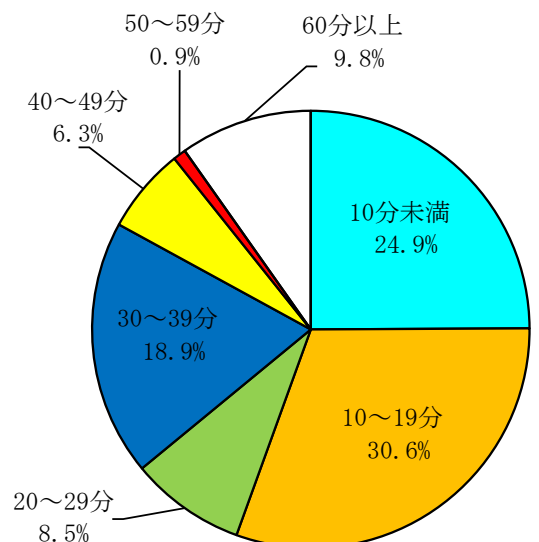
年齢別救出人員

年齢別 事故種別	合 計	1 0 歳 未 満	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 4 歳	6 5 歳 以 上	不 明
合 計	317	24	16	23	11	18	148	77		
火 災	7		1			1	1	4		
交 通	35	1	5	1	1	7	9	11		
水 難	12		1					11		
自然災害	198	17	8	21	9	5	125	13		
機 械	3					1		2		
建 物	40	1	1			3	10	25		
ガス酸欠	1						1			
破 裂										
そ の 他	21	5		1	1	1	2	11		



救出時間別人員

救出時 間 事故種別	合 計	1 0 分 未 満	1 0 分 ～ 1 9 分	2 0 分 ～ 2 9 分	3 0 分 ～ 3 9 分	4 0 分 ～ 4 9 分	5 0 分 ～ 5 9 分	6 0 分 以 上	不 明
合 計	317	79	97	27	60	20	3	31	
火 災	7	3						4	
交 通	35	22	9	3	1				
水 難	12	9	2				1		
自然災害	198	8	65	22	58	19	2	24	
機 械	3	2	1						
建 物	40	21	14	2	1			2	
ガス酸欠	1	1							
破 裂									
そ の 他	21	13	6			1		1	



※ グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

校区別出動件数

市町	種別 校区	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
	合 計	295	7	62	17	72	3	97	2		35
久留米市	篠 山	5		1	1			3			
	京 町	4			1			3			
	荘 島	8						8			
	鳥 飼	57				53		4			
	金 丸	6		1		1		4			
	日 吉	10		1				7			2
	西国分	1	1								
	南 薫	7		3				4			
	東国分	5	1	1		1		2			
	小森野	3			2			1			
	長門石	3		1		1		1			
	御 井	2		1				1			
	南	8		1				6			1
	上 津	11		2				7			2
	山 川										
	合 川	7		1	1	1		3			1
	高良内	5						3			2
	青 峰	4						2	1		1
	宮ノ陣	5		4			1				
	山 本	1						1			
	草 野										
	善導寺	2				1		1			
	大 橋	2		1							1
	安 武	3			1			1			1
	大善寺	8		1	1			5			1
	荒 木	4		2					1		1
	津 福	8		1		2		4			1
	水 縄	1				1					
	竹 野	1									1
	川 会										
	柴 刈	2		2							
	田主丸	4		4							
	水 分										
	船 越	1									1
	北 野	2		2							
	弓 削	2			1			1			
	大 城	3	1		1			1			
	金 島	2		2							

市 町	種別 校区	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
久留米市	旧城島	7		2		5					
	旧下田										
	青 木	6		3	2			1			
	旧浮島										
	江 上	6		4	1	1					
	三 瀨	4		1				3			
	犬 塚	9	2			2	1	2			2
	西牟田	1	1								
	小計	230	6	42	12	69	2	79	2		18
大川市	大 川	6	1					4			1
	三 又	2		1				1			
	木 室	1						1			
	田 口	2			1			1			
	川 口	2						2			
	大野島	3		1							2
	小計	16	1	2	1			9			3
小郡市	小 郡	7		1	1			3			2
	三 国	3		2							1
	立 石	3		1				1			1
	御 原	1		1							
	味 坂	2		1		1					
	大 原	1						1			
	東 野	3		2				1			
	のぞみが丘										
	小計	20		8	1	1		6			4
うきは市	吉 井										
	千 年	2		1							1
	福 富	2		2							
	江 南	2		1							1
	旧御幸	3						1			2
	旧姫治										
	山 春	3					1				2
	大 石	3			1			1			1
	旧妹川										
	旧小塩										
	小計	15		4	1		1	2			7
大刀洗町	大刀洗	4		2		2					
	本 郷	2		2							
	大 堰										
	菊 池	3									3
	小計	9		4		2					3
大木町	大 莞										
	木佐木	2			1			1			
	大 溝	1		1							
	小計	3		1	1			1			
その他管轄外等	高 速	1		1							
	管轄外										
	県 外	1			1						
	小計	2		1	1						

資料編

歴 代 消 防 長

久留米市消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	池上 秀吉	昭和 23 年 3 月 7 日	昭和 32 年 6 月 5 日
二代	中村恵三郎	昭和 32 年 9 月 2 日	昭和 40 年 5 月 31 日
三代	和田 正人	昭和 40 年 6 月 1 日	昭和 43 年 5 月 2 日
四代	野村 金吾	昭和 43 年 6 月 12 日	昭和 51 年 3 月 31 日
五代	後藤 時也	昭和 51 年 4 月 1 日	昭和 57 年 3 月 31 日
六代	中島 主税	昭和 57 年 4 月 14 日	昭和 63 年 3 月 31 日
七代	家中 一興	昭和 63 年 4 月 1 日	平成 6 年 3 月 31 日
八代	向 忠義	平成 6 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月 31 日
九代	石橋 郁朗	平成 7 年 4 月 1 日	平成 11 年 3 月 31 日
十代	塚本 篤行	平成 11 年 4 月 1 日	平成 12 年 3 月 31 日
十一代	上野 敏彦	平成 12 年 4 月 1 日	平成 15 年 3 月 31 日
十二代	板谷 克之	平成 15 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
十三代	野田 久雄	平成 19 年 4 月 1 日	平成21年 3月31日

福岡県南広域消防組合消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	徳岡肇一郎	昭和 54 年 10 月 1 日	昭和55年 3月31日
二代	矢野 正道	昭和55年 4月 1日	昭和60年 3月31日
三代	大熊 正剛	昭和60年 4月 1日	昭和62年 3月31日
四代	南 徳雄	昭和62年 4月 1日	平成 2年 3月31日
五代	宮崎 敬一	平成 2年 4月 1日	平成 4年 3月31日
六代	安永 茂歳	平成 4年 4月 1日	平成 7年 3月31日
七代	田中 政嗣	平成 7年 4月 1日	平成12年 3月31日
八代	権藤 英資	平成12年 4月 1日	平成14年 3月31日
九代	岩橋 勝幸	平成14年 4月 1日	平成21年 3月31日

大川市消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
	古賀 龍生	昭和 38 年 7 月 15 日	昭和 40 年 12 月 27 日
	井福志免夫	昭和 40 年 12 月 28 日	昭和 42 年 3 月 31 日
初代	井福志免夫	昭和 42 年 4 月 1 日	昭和 47 年 12 月 18 日
	田中 八郎	昭和 47 年 12 月 18 日	昭和 49 年 5 月 17 日
二代	宮崎 昌雄	昭和 49 年 5 月 17 日	昭和 50 年 8 月 12 日
	清松 利通	昭和 50 年 8 月 12 日	昭和 53 年 5 月 30 日
三代	清松 利通	昭和 53 年 5 月 31 日	昭和 57 年 1 月 18 日
	細川 孝冬	昭和 57 年 1 月 18 日	昭和 57 年 4 月 1 日
四代	水落 正人	昭和 57 年 4 月 1 日	昭和 58 年 4 月 30 日
	水落 正人	昭和 58 年 5 月 2 日	昭和 59 年 10 月 8 日
	福永 邦男	昭和 59 年 10 月 9 日	昭和 60 年 4 月 17 日
五代	田中 衛	昭和 60 年 4 月 17 日	昭和 63 年 11 月 22 日
六代	石橋 勇喜	昭和 63 年 11 月 22 日	平成 3 年 3 月 31 日
七代	長野 一生	平成 3 年 4 月 1 日	平成 5 年 9 月 6 日
	石井 忠晴	平成 5 年 9 月 7 日	平成 6 年 3 月 31 日
八代	田島 辰生	平成 6 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
九代	古賀 昭夫	平成 9 年 4 月 1 日	平成 12 年 3 月 31 日
十代	岡 甚次郎	平成 12 年 4 月 1 日	平成 13 年 3 月 31 日
十一代	蔵森 洋	平成 13 年 4 月 1 日	平成 17 年 3 月 31 日
十二代	龍 巖	平成 17 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
十三代	柿添 新一	平成 19 年 4 月 1 日	平成 22 年 3 月 31 日
十四代	今村 辰雄	平成 22 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日
十五代	田中 晴彦	平成 24 年 4 月 1 日	平成 26 年 3 月 31 日
十六代	大淵 慶人	平成 26 年 4 月 1 日	平成 27 年 3 月 31 日
十七代	持木 芳己	平成 27 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日
十八代	田中 嘉親	平成 29 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日

※「代」欄中の空欄は、他の職務と兼務で消防長を任命されていた者

久留米広域消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	野田 久雄	平成 21 年 4 月 1 日	平成 22 年 3 月 31 日
二代	岩橋 勝幸	平成 22 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日
三代	福田 義宜	平成 24 年 4 月 1 日	平成 27 年 3 月 31 日
四代	牟田 誠治	平成 27 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日
五代	井上 秀敏	平成 29 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日
六代	秋吉 弘章	平成 31 年 4 月 1 日	現在に至る

久留米市消防本部 沿革

年月	概要
M 2 2.	4 久留米市制施行
2 4.	7 久留米市消防組規約制定 6 組編成し、筒竜吐水台新調購入し各 1 台配置する。
2 7.	2 勅令第 15 号消防組規則公布
2 7. 1 0	県告示第 8 号により旧消防組を新組織に改組、組員 370 名 6 部編成
3 2.	2 消防組規則施行細則改正 当市消防組員に対して初めての被服が支給される。 当市消防組発足以来初めて自衛消防隊結成される。（鐘紡久留米支社）
T 6. 1 1	三潞郡鳥飼村合併により当市消防組は 9 部編成となる。
7.	2 久留米市消防議会結成される。（目的：消防事業の発達、警火思想の涵養、組員の功 労表彰、組員及びその遺族の弔慰等）
1 2.	6 県告示第 441 号を以って新たに消防本部を設置
1 2.	8 三井郡櫛原村合併の結果、県告示第 677 号により消防組本部他 11 部制とし定員 601 名となる。
1 3.	8 女子消防組を組織し、組員 80 名を以って 2 部編成とする。
1 3. 1 1	三井郡国分村合併の結果、県告示第 790 号を以って消防組本部他 15 部制とし、定員 872 名となる。
S 4.	1 県告示第 52 号により消防組本部他 15 部制とし定員 614 名となる。
4. 1 1	久留米市上水道敷設
6.	4 県告示第 406 号により定員 527 名となり副組頭制度が設けられる。
9. 1 2	県告示第 1321 号により消防組本部他 10 部、定員 478 名となる。
1 3.	4 消防組本部を解散し、新に常備消防本部設置（自動車ポンプ 2 台、人員 29 名にて発 足）
1 4.	4 消防組は警防団に改組される。（久留米市警防団結成）
1 8. 1 0	三井郡御井村合併
2 0.	8 久留米市空爆受ける。（焼失戸数 4,506 戸、罹災者数 20,023 名、死者 118 名）
2 2.	4 勅令第 18 号により、消防団令公布
2 2. 1 0	常備消防本部解消
2 2. 1 0	官設久留米消防署設置（自動車ポンプ 6 台、人員 62 名にて発足）
2 2. 1 0	久留米市消防団結成（12ヶ分団定員 620 名）
2 2. 1 0	梅満町派出所開所
2 2. 1 2	御井町派出所開所
2 3.	1 梅満町派出所閉鎖
2 3.	3 法律第 226 号消防組織法施行
2 3.	3 久留米市消防本部並びに久留米市消防署開設
2 3.	3 政令第 59 号消防団令公布
2 3.	5 大石町派出所開所

年月	概要
23.	7 消防法公布
24.	5 消防団1ヶ分団増設し、13ヶ分団となる。
26.	3 消防団に対し、竿頭綬が授与される。
26.	4 三井郡の山川・合川・上津荒木村3ヶ所合併（消防分団16ヶ所、団員数820名）
26.	6 三井郡高良内村合併（消防分団17ヶ分団、団員数870名となる）
26.	9 消防本部庁舎完成、移転並びに消防長公舎建築竣工
27.	1 発信専用電話設置
28.	6 久留米地域未曾有の大水害発生（筑後川堤防決壊）
29.	3 当市消防本部並びに消防団に対し、総合消防力の強化拡充により国家消防本部より表彰旗が授与される。
29.	5 当市水害一周年記念日に水難救助用鉄舟競漕に優勝旗一流授与される。
29.	10 市庁舎屋上に消防信号用10馬力モーターサイレン取付（既在望楼に更に望楼室を増築竣工）
31.	4 久留米市危険物安全協会設立（S35.9久留米市石油防災協会と改称）
31.	8 消防専用無線局開局（電話）（中短波）
33.	7 久留米市一般危険物防災協会設立
33.	9 三井郡宮ノ陣村、山本両村と合併（消防分団19ヶ分団、団員数772名となる）
34.	5 大石町派出所閉鎖
34.	5 御井町派出所閉鎖
34.	5 東出張所開所（自動車ポンプ2台配置、人員20名配置）
34.	8 久留米市塗料防災協会設立
35.	7 三井郡草野町と合併（消防分団20ヶ分団、団員数810名となる）
35.	8 久留米市危険物安全協会設立（石油、一般危険物、塗料の3防災協会による）
36.	4 消防団員定数条例改正により消防団員668名となる。
37.	6 消防レンジャー部隊発足（隊員26名）
38.	10 消防庁舎完成移転（市庁舎併設）
38.	10 消防通信施設を強化し、一斉指令付共電式交換機を新設
39.	7 天神町派出所閉鎖
39.	7 南出張所開所（自動車ポンプ2台配置、人員19名配置）
40.	4 南出張所に救急隊を新設
40.	12 スノーケル車購入、本署に配置
41.	3 超短波無線局を併設し、消防通信の強化を図る。（基地局1、移動局7、携帯局2）
42.	2 三潞郡筑邦町と合併
42.	4 三井郡善導寺町と合併（消防分団25ヶ分団、団員数769名となる）
42.	4 消防職員数132名となる。
42.	4 大善寺派出所（仮称）開所
42.	9 久留米消防設備士会設立
43.	4 大善寺派出所閉所、西出張所開設（ポンプ車2台、人員15名配置）

年月	概要
44. 7	「市民防火の日」設定、毎月25日を市民防火の日と定め、市民に対する防火思想の普及徹底を図る。
45. 4	監視用テレビを本署に設置（10馬力サイレンも商工会館屋上に移設）
46. 4	救助隊発足
46. 6	久留米広域市町村圏において広域消防発足のため、関係市町（小郡市、大刀洗町、北野町、浮羽町、吉井町、田主丸町、三潴町、城島町、大木町）が政令指定を受け、久留米市に事務委託する準備に入る。
46. 11	上記1市8町により久留米地区広域消防組合を設立し、第1回組合会議において消防事務（消防施設、職員採用を除く）を久留米市に委託することを議決した。
46. 12	12月久留米市定例議会で上記消防の委託事務を受託する旨議決、消防事務委託に関する規約が成立し昭和47年1月1日から施行することになった。
47. 4	消防職員数196名（うち60名は広域組合からの派遣職員）となる。
47. 4	久留米市灯油防災協会が設立され久留米市危険物安全協会に加盟する。
47. 8	三井消防署開設（ポンプ車2台、救急車1台、指令車1台、人員17名）
47. 8	浮羽 " (")
47. 11	三潴 " (")
47. 12	32mはしご車購入（久留米市消防署に配置）
48. 1	消防職員数217名（うち81名は広域組合からの派遣職員）となる。
48. 4	消防職員数232名（うち94名は広域組合からの派遣職員）となる。
48. 5	浮羽出張所開所（ポンプ車1台、救急車1台、人員13名）
48. 11	東出張所に救急隊を新設（19名となる）
48. 12	消防職員数236名（うち98名は広域組合からの派遣職員）となる。
48. 12	三井出張所開所（ポンプ車1台、救急車1台、人員13名）
49. 4	潜水救助器具を購入し、救助隊の強化を図る。
49. 5	西国分校区婦人防火クラブ設立
49. 10	善導寺校区婦人防火クラブ設立
49. 11	40mはしご車購入（久留米市消防署に配置）
49. 12	消防職員数238名（うち98名は広域組合からの派遣職員、久留米市消防職員140名）となる。
50. 3	日吉校区婦人防火クラブ設立
50. 6	南薫校区婦人防火クラブ設立
50. 11	消防本部・消防署庁舎（通信指令室・訓練場兼会議室・車庫）増築竣工、旧通信施設を消防・救急指令台・自動交換機に大幅更新、復信式救急無線設備を新設
50. 11	青峰校区婦人防火クラブ設立
50. 11	高良内校区婦人防火クラブ設立
52. 7	南校区婦人防火クラブ設立
52. 7	上津校区婦人防火クラブ設立
52. 9	合川校区婦人防火クラブ設立

年月	概要
5 2. 1 0	草野校区婦人防火クラブ設立
5 2. 1 0	西出張所に救急分隊（1 ヶ分隊）新設
5 2. 1 1	御井校区婦人防火クラブ設立
5 2. 1 2	金丸校区婦人防火クラブ設立
5 3. 3	救助工作車購入（久留米市消防署に配置）
5 3. 3	自治体消防発足 30 周年記念事業として中央公園内に「消防の森」建設
5 3. 3	山川校区婦人防火クラブ設立
5 3. 4	東国分校区婦人防火クラブ設立
5 3. 7	安武校区婦人防火クラブ設立
5 3. 7	京町校区婦人防火クラブ設立
5 4. 3	化学車購入（東出張所に配置）
5 4. 3	消防記念誌「消防のあしあと」発刊
5 4. 6	消防音楽隊発足
5 4. 7	宮ノ陣校区婦人防火クラブ設立
5 4. 8	荘島校区婦人防火クラブ設立
5 4. 8	山本校区婦人防火クラブ設立
5 4. 1 0	職員定数 152 名となる。久留米地区広域消防組合分離独立
5 4. 1 1	鳥飼校区婦人防火クラブ設立
5 4. 1 1	ポンプ車購入（南出張所に配置）
5 4. 1 2	大橋校区婦人防火クラブ設立
5 4. 1 2	小森野校区婦人防火クラブ設立
5 5. 1	消防出初式にて消防音楽隊公式初演奏
5 5. 7	篠山校区婦人防火クラブ設立
5 5. 9	久留米市婦人防火クラブ連合会設立
5 6. 4	善導寺派出所開設（ポンプ車 1 台、救急車 1 台、人員 11 名配置）
5 7. 3	大型タンク車購入（本署に配置）
5 7. 4	消防団津福校区に 1 ヶ分団増設（消防分団 26 ヶ分団、団員数 799 名となる）
5 8. 4	久留米市危険物安全協会を久留米市防災協会連合会に名称変更
5 8. 1 1	久留米市幼年消防クラブ設立
5 8. 1 2	荒木校区婦人防火クラブ設立
5 9. 4	L P ガス販売組合が灯油防災協会へ入会し、久留米市灯油 L P ガス防災協会を設立
5 9. 4	長門石校区婦人防火クラブ設立
6 1. 1	善導寺派出所を善導寺出張所に拡充
6 2. 3	久留米地区広域消防組合への職員派遣を解く。
6 2. 6	消防・救急通信施設（第 1 期分）完成
6 3. 2	東出張所用地取得（東合川 7 丁目）1,329.75 m ²
6 3. 4	「市民防火の日」を毎月 9 日に変更
6 3. 7	久留米市少年婦人防火委員会設立

年月	概要
6 3. 1 2	大善寺校区婦人防火クラブ設立
H 1. 3	新東出張所（庁舎及び訓練塔）完成
1. 4	福岡県消防学校へ職員派遣（1名）（H1. 4. 1～H2. 3. 31）
1. 1 2	津福校区婦人防火クラブ設立
2. 3	消防団第14分団格納庫新築（移転）
3. 3	消防・救急通信施設（第2期分）完成
3. 4	職員定数164名となる。
3. 1 1	ヘリコプター用資機材購入
4. 7	久留米市婦人防火クラブ連合会消防庁長官表彰受賞（安全功労者表彰）
4. 1 0	はしご付消防ポンプ自動車（15m級）購入（本署に配置）
5. 3	消防団第22分団格納庫新築
5. 4	福岡県消防学校へ職員派遣（1名）（H5. 4. 1～H7. 3. 31）
5. 4	消防署に課及び方面隊を設置
6. 4	女性消防団員が誕生する。
6. 1 0	新消防本部・署庁舎（防災センター併設）完成
7. 3	消防団第7分団格納庫新築
7. 9	緊急消防援助隊登録
8. 3	日吉町（三本松公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置
8. 4	職員定数172名となる。
8. 4	消防署に警防指導課を新設
8. 1 2	救急救命士の誕生
9. 2	高規格救急自動車購入（本署）
9. 3	南出張所用地取得（1, 330 m ² ）
1 0. 1	小頭町（小頭町公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（2基目）
1 0. 2	消防団第10分団格納庫新築
1 0. 4	女性消防吏員の誕生
1 0. 7	新南出張所完成
1 0. 1 0	第16回全国消防操法大会優勝（ポンプ車の部、消防団）
1 0. 1 1	自治体消防50周年式典開催
1 1. 2	高規格救急自動車購入（南出張所）
1 1. 4	消防本部、消防署組織改正を行う。
1 1. 1 1	東町（東町公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（3基目）
1 2. 3	消防本部、消防防災情報ホームページ開設
1 2. 3	消防団第2分団格納庫新築
1 2. 1 2	消防団第3分団格納庫新築
1 3. 1	救急普及啓発広報車受納
1 3. 2	高規格救急自動車購入（東出張所）
1 3. 3	通信施設更新（消防緊急通信指令システム）

年月	概要
13. 4	職員定数 180 名となる。
13. 9	消防音楽隊 20 周年記念演奏会開催
13. 11	蛭川町（蛭川公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（4 基目）
14. 2	救助工作車Ⅲ型購入（東出張所）
14. 2	消防団第 4 分団格納庫新築
14. 3	善導寺出張所のサイレン移設
14. 11	消防団第 20 分団格納庫新築
14. 12	荘島町（荘島公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（5 基目）
15. 2	高規格救急自動車購入（西出張所）
16. 2	消防団第 15 分団格納庫新築
16. 8	久留米市、大川市及び福岡県南広域消防組合により、常備消防体制の広域化に関する事項等を協議することを目的とする久留米広域消防検討委員会を設置する。
16. 11	新西出張所完成
17. 1	久留米市の合併に向け、合併協定項目調整方針に従い、従前の福岡県南広域消防組合消防本部との応援協定を見直し、新たに応援協定を締結する。
17. 2	浮羽郡田主丸町、三井郡北野町、三潞郡城島町、三潞郡三潞町と合併（旧 4 町の区域の常備消防体制については、引き続き福岡県南広域消防組合に加入となる。消防団体制については、5 消防団、44 分団、団員定数 1587 名となる。）
17. 3	高規格救急自動車購入（善導寺出張所）
17. 3	久留米市消防団第 1 分団格納庫新築
17. 4	職員定数 194 名となる。
17. 4	5 消防団の久留米支部統一
17. 4	福岡県南広域消防組合消防本部との職員人事交流（2 年間）を行う。
17. 4	救急隊 6 隊体制による運用開始
17. 11	女性救急救命士の誕生
17. 11	津福本町（津福公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（6 基目）
18. 2	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入（東出張所）
18. 2	久留米市消防団が日本消防協会「特別表彰まとい」を受章
18. 3	久留米市消防団第 25 分団格納庫新築
18. 4	消防本部、消防署組織改正を行い、消防本部に情報指令課を新設する。
19. 2	久留米市消防団第 19 分団格納庫新築
19. 3	善導寺出張所車庫完成
19. 4	職員定数 202 名となる。
19. 4	福岡県南広域消防組合消防本部と事務委託方式による消防緊急通信指令業務の共同運用を開始する。
19. 4	災害情報メール配信システム・メール 119 緊急通報システムの運用開始
19. 4	特別救助隊発足
19. 12	消防用緊急自動車（警防号）受納

年月	概要
20.	1 高規格救急車受納
20.	3 久留米市消防団第6分団格納庫(日吉小学校屋内運動場等複合施設)新築
20.	3 西町(西町公園内)に耐震性貯水槽(100t級)設置(7基目)
20.	9 査察車受納
20.	11 自治体消防60周年記念防災イベント開催
21.	3 久留米市消防本部解散

福岡県南広域消防組合消防本部 沿革

年月	概要
S45.	7 広域市町村圏振興整備措置要綱に基づく久留米広域市町村圏の設定がなされた。
45.	10 久留米市・大川市・吉井町・田主丸町・浮羽町・北野町・小郡町・大刀洗町・城島町・大木町・三潆町の2市9町をもって久留米広域市町村圏事務組合を設立し、自主的振興計画を樹立することになる。
46.	11 久留米広域市町村圏基本計画に基づき、広域的防災体制の確立を図るため、常備消防を持たない小郡町外8町で、久留米地区広域消防組合の設立を申請、同日県知事より設置許可 第1回消防組合議会を開催し、消防事務の一部を久留米市に委託するための「消防事務の委託に関する規約」及び関係条例等を議決
47.	1 「消防事務の委託に関する規約」が施行され、小郡町外8町管内における予防警防事務が久留米市において執行開始される。
47.	3 水槽付消防ポンプ自動車3台、救急自動車3台、指令車3台、消防用超短波無線電話装置(基地局1、移動局9)を購入整備、昭和47.4.1消防職員60名を採用する。
47.	6 浮羽・三井・三潆各消防署に配置する職員を発令し、久留米市消防局内に仮事務所を置き、それぞれの管内における予防事務管内調査、開庁準備事務開始
47.	8 浮羽・三井消防署庁舎落成及び開庁式を挙行、それぞれ下記人員及び機械を配置して業務開始 職員数 署長以下17名 機械台数 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台 三潆消防署仮庁舎を三潆郡大木町旧役場庁舎跡に置き、署長以下17名を配置して現地業務開始
47.	11 三潆消防署庁舎落成及び開庁式を挙行、仮庁舎より移転する。 職員数 署長以下17名 機械台数 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台
47.	12 浮羽・三井出張所要員として消防職員22名を採用、職員数合計82名となる。

年月	概要
47. 1 2	森田式中型消防ポンプ自動車 3 台を購入して、三井消防署に 2 台三潞消防署に 1 台を配置する。
48. 3	浮羽消防署長公舎落成 いちほら式中型消防ポンプ自動車 2 台を購入して、浮羽消防署に配置する。
48. 4	浮羽・三井各本署及び出張所要員として、消防職員 12 名を採用職員数合計 94 名となる。
48. 5	浮羽出張所庁舎落成及び開庁式挙行 職員数所長以下 13 名、中型消防ポンプ自動車 1 台を配置する。
48. 9	福岡県共済農業協同組合連合会及び浮羽ライオンズクラブ助成による救急自動車 2 台を購入、浮羽・三井出張所用としてそれぞれ配置する。
48. 1 2	三潞消防署要員として消防職員 4 名を採用、職員定数 98 名となる。 三井出張所庁舎落成及び開庁式挙行 職員数 所長以下 13 名、中型消防ポンプ自動車 1 台及び救急自動車 1 台を配置する。
49. 4	地元出身代議士檜橋進氏より消防用連絡車（自動二輪車）5 台の寄贈を受け、浮羽・三井・三潞各署所にそれぞれ 1 台ずつ配置する。
50. 3	三潞消防署長公舎落成
50. 1 1	組合議会全員協議会開催、消防事務の委託を解除して自主運営に切替えるとの組合側の基本方針を協議決定
51. 1	浮羽ライオンズクラブより救助器具積載自動車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
52. 2	組合議会定例会において、委託解除の時期は昭和 53 年 4 月を目標とし、執行部に久留米市との話し合いをするよう要望する。
52. 5	小郡ライオンズクラブより指令車 1 台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
52. 7	消防専門委員会（関係市町助役で組織）を設立し、消防事務委託解除及び組合財政問題について検討を始める。
52. 9	組合議会全員協議会を開催、久留米市に対し事務委託解除に関する要望書を提出することとし、その内容を協議決定する。
52. 1 0	組合代表（正副組合長及び正副議会議長）が久留米市長と会談し、事務委託解除について基本的に了解を得、以後双方において事務的折衝が進められることになった。
52. 1 1	第 2 回消防専門委員会開催、委託解除に伴う消防本部の設置、職員の身分、給与その他具体的問題について検討する。 日本損害保険協会より小郡市に消防ポンプ自動車 1 台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
52. 1 2	組合議会全員協議会開催、組合長より委託解除に関する準備事務の経過報告ののち、具体的諸問題は担当課長及び助役会で検討するよう付託する。
53. 1	第 3 回専門委員会開催、委託解除後の消防体制等について執行部案を検討、同意する。

年月	概要
5 3.	2 組合議会全員協議会開催、委託解除の時期について昭和 53 年 4 月を目標としていたが無線免許の関係で延期することを了承確認
5 3.	8 浮羽町浮羽外科病院より救急自動車（2B 型）1 台の寄贈を受け、浮羽出張所に配置
5 4.	1 日本自動車工業会より救急自動車（2B 型）1 台の寄贈を受け三井消防署に配置する。
5 4.	2 組合議会定例会において、委託解除に伴う消防本部及び消防署設置条例、火災予防条例その他関係条例 8 件を議決 小型動力ポンプ積載自動車 1 台を購入して、浮羽消防署に配置する。
5 4.	3 三井・浮羽消防署にそれぞれ簡易車庫増設 三井・浮羽・三潞各消防署の通信指令業務の合理化を図るため大興電機製作所による一斉通報装置を整備する。
5 4.	7 54 年第 2 回組合議会において、「消防事務の委託に関する規約を廃止する規約」を議決（施行期日を 3 ヶ月以内とする。）
5 4.	8 組合構成市町議会の議決を経て、事務委託廃止に伴う組合格約の一部変更許可申請を福岡県知事あて提出する。
5 4.	9 54 地行第 280 号をもって同上規約変更が許可される。 組合消防自主運営のため、三井・三潞消防署に新たに無線基地局を設置、従来の浮羽基地局及び各署移動局を統合して組合独自の無線業務を開始する。
5 4.	1 0 久留米市への消防事務委託を廃止し、派遣中の消防職員 98 名を引取り、本部要員 3 名を増員して 1 本部 3 署 2 出張所の体制（職員定数 101 名）で自主運営による消防業務を開始する。
5 4.	1 1 無線連絡車 4 台を購入して、本部及び三井・浮羽・三潞各消防署に 1 台ずつ配置するとともに小型乗用車 1 台を購入して、本部に配置する。
5 5.	2 職員定数 2 名を増員し、消防職員定数 103 名となる。
5 5.	3 三井・浮羽・三潞各消防署及び構成市町の消防用サイレン（有線操作）を無線操作装置に切替える。
5 5.	7 三井消防署に高圧空気充てん室を設置する。
5 5.	1 0 福岡県共済農業協同組合連合会より消防用指令車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
5 5.	1 1 浮羽ロータリークラブより消防広報車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。 吉井町奥村精神神経科病院より中型消防ポンプ自動車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
5 6.	3 三潞消防署簡易車庫増設 三潞消防署訓練場拡張用地購入整備（995 m ² ） 浮羽出張所訓練場拡張用地を購入整備（2,339 m ² ）訓練塔設置（鉄骨造 3 階建 17.5 m ² ）
5 6.	6 小型乗用車 1 台を購入して、消防本部に配置する。
5 6.	9 組合発足 10 周年記念式典を挙る
5 7.	3 三井・浮羽・三潞消防署の通信指令業務の充実を図るため、一斉通報装置を増設

年月	概要
57. 3	三井・三潞各消防署に非常用自家発電装置を設置
57. 9	小郡市嶋田病院より自動ホース洗浄機1台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
58. 2	職員定数6名を増員し、消防職員定数109名となる。
58. 3	福岡県農業協同組合連合会より、消防用広報車1台の寄贈を受け三潞消防署に配置する。 三井消防署に簡易車庫増設 三潞消防署訓練場拡張用地購入整備(2,012 m ²) 三井出張所訓練場拡張用地購入整備(4,414 m ²)
58. 4	人員輸送車(29人乗)を購入して、消防本部に配置する。
58. 7	消防本部庁舎建設用地購入(1,673 m ²)
59. 3	消防長の階級を消防監から消防正監に改める。
59. 3	連絡車1台を購入して三井消防署に配置する。 三井消防署三国出張所(仮称)用地購入(3,314.4 m ²)する。 小型動力ポンプ積載自動車1台を購入して、三井消防署に配置する。
59. 12	三井消防署三井出張所庁舎を増改築(会議室等設置135.27 m ² 増)
60. 1	組合名称を「久留米地区広域消防組合」から「福岡県南広域消防組合」に変更するための組合規約一部変更申請書を福岡県知事あて提出する。 59地行第691号をもって同上規約変更が許可される。 連絡車1台を購入して、消防本部に配置する。
60. 6	水難救助用ボートを3隻購入して、三井・浮羽・三潞各消防署にそれぞれ1隻を配置する。
60. 9	浮羽消防署浮羽出張所庁舎を増改築(会議室等を増築66.86 m ² 増)する。
60. 11	三潞消防署訓練場用地(2,536 m ²)を購入する。
61. 2	職員定数条例を改正(8名増員)し、職員定数117名となる。
61. 3	小型動力ポンプ積載自動車1台を購入して、浮羽消防署に配置する。
62. 1	貨物自動車(資材運搬車)を購入して、消防本部に配置する。 組合事務局及び消防本部の所在地を「久留米市荒木町白口55番地」から「久留米市山川町2828番地1」に変更するための組合規約一部変更申請書を福岡県知事あて提出する。 消防本部庁舎完工(鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積1,673 m ² 建築面積564.4 m ² 、延床面積934.2 m ²)
62. 2	61地行第308号をもって規約変更許可される。 消防本部庁舎竣工式を挙げる。 組合議会全員協議会にて組合章(シンボルマーク)を制定する。
62. 3	久留米市との「消防職員の相互派遣協定」を解除する。
62. 5	三潞地区防災協会より消防広報車1台の寄贈を受け、三潞消防署に配置する。
62. 10	国庫補助による15m級はしご付消防ポンプ自動車を購入し三井消防署に配置する。
62. 11	三井消防署の救急無線基地局及び移動局を複信式とする。

年月	概要
6 2. 1 2	三井消防署本署庁舎を増改築（事務所、車庫等 285.9 m ² 増）する。 日本損害保険協会より、救急自動車 1 台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
6 3. 1	久留米市東部地域の住居表示変更に伴い、組合事務局及び消防本部の所在地「久留米市山川町 2828 番地 1」を「久留米市山川杓形町 3 番 15 号」に変更するための組合規約の一部変更申請書を福岡県知事あて提出する。
6 3. 2	62 地行第 418 号をもって規約変更許可される。
6 3. 3	三井消防署に救助工作車を配置する。 浮羽消防署訓練場用地（819.9 m ² ）を購入する。
6 3. 1 0	浮羽消防署本署庁舎を増改築（事務所、車庫等 295.6 m ² 増）する。
6 3. 1 0	三井消防署三国出張所開庁式を挙行（敷地面積 3,314.4 m ² 、鉄骨造 2 階建延べ面積 378.5 m ² ）する。
6 3. 1 1	三井消防署三国出張所完成 職員数 所長以下 7 名、消防ポンプ自動車 1 台及び救急自動車 1 台を配置する。 浮羽消防署の救急無線基地局及び移動局を複信式とする。
H 1. 1	浮羽消防署に電動ホースカー付消防ポンプ自動車（CD-I）を配置する。
1. 2	職員定数条例を改正（6 名増員）し、職員定数 123 名となる。
1. 3	浮羽消防署に救助工作車を配置する。 三井消防署三国出張所に水槽付ポンプ自動車（水-I A）を配置する。
1. 1 2	日本防火協会より、防火広報車の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。 三潞消防署庁舎増改築（事務所、車庫等 327.58 m ² ）する。
2. 3	三潞消防署に救助工作車を配置する。 消防本部、財務会計・人事管理・給与計算の電算処理を開始する。
3. 2	職員定数条例を改正し、職員定数 123 名から 133 名とする。
3. 3	三井消防署消防緊急情報システムを更新する。
3. 1 0	国庫補助による 15m 級はしご付消防ポンプ自動車を購入し浮羽消防署に配置する。
4. 2	平成 3 年 9 月 27 日福岡県下を襲った台風 19 号の災害活動に対し、福岡県知事防災功労者表彰を受賞する。
4. 3	浮羽・三潞消防署の消防緊急通信指令施設を更新する。
4. 8	平成 3 年 9 月 27 日福岡県下を襲った台風 19 号の災害活動に対し、消防庁長官防災功労者表彰を受賞する。
4. 1 1	応急処置拡大に伴い「9 項目資機材」を積載した 2B 型救急車を購入して三井消防署に配置する。
4. 1 2	全消防署、全出張所の非常用自家発電設備を更新、新設する。 消防無線の充実のため全基地局、全移動局に第 2 市町村波を増波する。
5. 2	県費補助による林野火災空中消火用バケットを購入して、浮羽消防署に配置する。
5. 4	4 週 8 休制を導入する。
5. 1 0	救急救命東京研修所に職員 1 名を入所させる。
5. 1 1	日本防火協会より、優良市町村幼年婦人防火委員会表彰を受賞する。

年月	概要
6. 2	職員定数条例を改正（15名増員）し、職員定数148名となる。
6. 3	三井消防署三井出張所訓練場用地（3,572 m ² ）を購入する。
6. 4	救急救命士誕生する。
6. 9	県知事より、救急医療功労者表彰を受賞する。 9項目資機材を積載した2B型救急車を購入して、三瀦消防署に配置する。
6. 11	9項目資機材を積載した2B型救急車を購入して、浮羽消防署に配置する。
7. 3	株式会社田中チェーンより救急車1台寄贈を受け、9項目の資機材を積載し、三井消防署に配置する。
7. 3	浮羽消防署の消防団緊急伝達システム（アンサーバック方式）を更新する。
7. 7	阪神・淡路大震災の消防応援に対し、消防庁長官から感謝状を受賞する。
7. 9	緊急消防援助隊に救急隊として登録される。
7. 9	三瀦消防署の消防団緊急伝達システム（アンサーバック方式）を更新する。
8. 1	三井消防署にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
8. 2	J A福岡共済連より救急車1台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
8. 8	消防組織法に基づく消防職員委員会制度が発足する。
8. 9	三井消防署の消防団緊急伝達システム（アンサーバック方式）を更新する。
8. 10	浮羽消防署にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
9. 1	9項目資機材を積載した2B型救急車を購入して、三井消防署三国出張所に配置する消防無線の充実を図るため全国共通2波・3波を増波する。
9. 2	職員定数条例を改正（4名増員）し、職員定数162名となる。
9. 5	三瀦地区防災協会より、防火広報車1台の寄贈を受け、三瀦消防署に配置する。
9. 11	浮羽町大栄製作所より、防火広報車1台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
10. 2	三瀦消防署にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
10. 4	全救急車に携帯電話を配置する。
10. 9	災害時の救護活動等に使用するエアータントを浮羽消防署に配置する。
11. 3	消防庁長官より、消防功労者表彰竿頭綬を受賞する。 救急隊員研修の充実を図るため、高度救急処置シミュレーターを消防本部に配置する。
11. 7	災害時の救護活動等に使用するエアータントを三井消防署及び三瀦消防署に配置する。
11. 10	組織機構改革に伴い、消防署に課制を導入する。
12. 2	三井消防署にクレーン等をフル装備した救助工作車（Ⅱ型）を配置する。
13. 3	県道拡幅工事に伴い、三井消防署三井出張所庁舎を同敷地内に移転・新築し、落成式を挙げる。（13.2.28 竣工） 「鉄筋コンクリート造一部鉄骨2階建・（訓練塔部分3階建）、 延べ面積1,014.92 m ² 」
13. 4	高度情報通信社会に対応するため、消防本部及び三井・浮羽・三瀦各消防署にインターネットを整備する。

年月	概要
14.	6 高度情報及び IT 化推進計画に基づき、消防本部及び各署所にパソコンを増設し、庁内 LAN を整備する。
14.	8 制服・作業服等を国の基準に基づき一新し、エンブレムを作製する。
15.	4 三井消防署三井出張所にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
16.	2 職員定数条例を改正（16 名増員）し、職員定数 178 名となる。
16.	12 浮羽消防署浮羽出張所にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
17.	2 浮羽郡田主丸町、三井郡北野町、三潞郡城島町及び三潞町が久留米市に編入合併し、この 4 町区域に限り久留米市が新たに組合に加入する。
17.	3 浮羽郡吉井町と浮羽町が合併して「うきは市」となり、新たに組合に加入する。
18.	2 国庫補助による災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を購入し、三井消防署に配置する。
18.	12 三井消防署三国出張所にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
19.	4 「福岡県南広域消防組合と久留米市との間における消防緊急通信指令業務に関する事務の委託に関する規約」により、久留米市消防本部にて消防緊急通信指令業務の共同運用を開始する。 「消防緊急通信指令業務委託に係る職員の派遣に関する協定書」により、久留米市消防本部情報指令課へ職員 8 名を派遣する。
19.	5 三潞地区防災協会より、防火広報車 1 台の寄贈を受け、三潞消防署に配置する。
19.	8 各消防署の気象観測装置を更新する。
19.	11 三井・小郡地区防災協会より、防火広報車 1 台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
20.	2 浮羽消防署本署庁舎を増築（車庫 88.82 ㎡増）する。
20.	3 小郡市より広報車 1 台の無償譲渡を受け、三井消防署に配置する。 小型動力ポンプ付大型水槽車（9 t 水槽）を購入し、浮羽消防署に配置する。
20.	4 うきは市浮羽町樋口自動車より、軽貨物自動車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
20.	7 携帯・IP 電話の発信地表示通知システム（簡易型）を久留米市消防本部と共同導入し運用を開始する。
20.	7 化学防護服 4 体及び除染シャワー一式（増強・更新）を購入し、三井消防署に配置する。
20.	9 簡易画像探査機 2 機を購入し、浮羽、三潞消防署の救助工作車に配置する。
20.	10 組合構成市町議会の議決を経て、福岡県南広域消防組合の解散届出を福岡県知事あて提出し、同日付けで受理される。 福岡県南広域消防組合と久留米市消防本部との統合に伴う、久留米広域市町村圏事務組合の規約の一部を変更する申請を福岡県知事あて提出する。 久留米広域市町村圏事務組合の規約変更が許可される。
20.	10 三井・浮羽・三潞消防署及び浮羽出張所の耐震補強工事が完了する。
21.	3 福岡県南広域消防組合解散

大川市消防本部 沿革

年月	概要
S 6. 7	三瀨郡大川町初の消防自動車配置
1 4. 4	警防団令（勅令第 20 号）制定により警防団結成
2 2. 4	消防団令（勅令第 185 号）制定により消防団結成 三瀨郡大川町消防団水槽付消防自動車配置
2 6. 4	三瀨郡大川町消防団本部開設
2 6. 1 0	三瀨郡大川町消防団音楽隊結成、団歌誕生
2 8. 4	三瀨郡大川町消防団各部消防自動車配置
2 8. 6	大雨により筑後川堤防決壊大水害
2 9. 4	一町五村合併大川市誕生（大川町、三又村、木室村、田口村、川口村、大野島村） 市制施行により大川市消防団結成
2 9. 6	大川市消防団条例施行（団員 1,202 名）
3 4. 4	消防団第一次機構改革（44 部、995 名）
3 6. 2	日本消防協会長表彰受賞（竿頭綬）（消防団）
3 6. 4	消防団第二次機構改革（22 部、354 名）
3 7. 1	大川市消防葬挙行（故 志岐伝太郎 氏）
3 7. 6	志岐弘 氏よりジープを受納
3 7. 7	大川市火災予防条例施行
3 8. 2	日本消防協会長表彰受賞（表彰旗）（消防団）
3 8. 7	消防本部開設（職員定数条例改正 6 名）
3 8. 1 0	消防庁舎開庁（所在地：大川市大字榎津）
3 9. 2	消防本部、署義務設置政令指定
3 9. 3	日本損害保険協会より消防自動車を受納（第 1 分団第 5 部配置）
3 9. 1 0	大川市消防本部署設置条例施行
3 9. 1 2	消防ポンプ自動車を消防署に配置 職員定数条例改正（25 名）
4 0. 3	消防庁舎新築移転（所在地：大川市大字津） 救急業務開始（任意実施） 消防署開設
4 0. 1 0	水槽付消防ポンプ自動車を署に配置
4 1. 3	消防団第三次機構改革（22 部、345 名） 職員定数条例改正（27 名）
4 2. 3	消防庁長官表彰受賞（竿頭綬）〔消防本部、消防団〕 大川ライオンズクラブより救急車を受納（消防署配置） 筑後地区消防設備士会大川部会発足
4 3. 4	政令指定救急業務実施義務
4 3. 6	職員定数条例改正（29 名）

年月	概要
44. 3	消防庁長官表彰受賞（表彰旗）〔消防本部、消防団〕
45. 3	大木町との救急業務協定締結
45. 9	職員定数条例改正（31 名）
46. 4	職員定数条例改正（33 名）
46. 12	火災多発に伴う非常事態宣言（大川市議会）
47. 3	化学消防ポンプ自動車を消防署に配置
47. 4	職員定数条例改正（37 名） 大川市危険物安全協会発足
47. 7	消防本部機構改革（2 課 4 係）
47. 10	消防専用超短波無線機設置
47. 11	大木町との救急業務協定廃止
48. 4	消防庁舎新築移転（所在地：大川市大字郷原） 職員定数条例改正（40 名）
48. 12	消防指令装置設置
49. 4	職員定数条例改正（42 名） 大川市消防設備士会発足
49. 7	消防指令車を消防団本部に配置
50. 3	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車を受納（消防署配置） 職員定数条例改正（44 名）
50. 5	大川市危険物安全協会規約改正により大川市防災協会と名称変更
50. 11	消防専用超短波無線傍受機を消防団全分団各部に設置 消防専用中短波無線機廃止
51. 6	貞包武人 氏より救急車を受納（消防署配置）
52. 10	大川ライオンズクラブより携帯用無線機（2 機）を受納
53. 7	大川市防災協会より救助安全ネット（一式）を受納
54. 7	大川市防災協会より査察広報車を受納（消防署配置）
54. 10	大川市制施行 25 周年記念式典
55. 2	内閣総理大臣表彰（紺綬褒状）〔大川市防災協会〕
55. 3	救急医療体制システム端末装置設置
55. 9	消防団第四次機構改革（21 部、339 名）
56. 2	日本損害保険協会より救急車を受納（消防署配置）
58. 8	日本消防協会より消防指令車を受納（消防団本部配置） 大川中央ライオンズクラブより査察車を受納（消防署配置）
58. 12	福岡県共済農業協同組合連合会より消防指揮車を受納（消防署配置）
59. 4	大川市制施行 30 周年記念式典
60. 1	工業再配置促進補助事業で消防ポンプ自動車を受納（消防署配置）
60. 9	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車を受納（第 4 分団第 1 部）
61. 10	大川市消防団葬挙行（故 橋本利興 氏）

年月	概要
6 2. 3	隣接常備消防相互応援協定締結
6 2. 4	大川市少年消防クラブ結成 (1 クラブ)
6 3. 1 0	資器材搬送車を消防団本部に配置
6 3. 1 1	消防本部機構改革 (2 課 6 係) 大川市幼年消防クラブ結成 (19 クラブ)
H 1. 2	大川市婦人防火クラブ結成 日本自動車工業会より救急車を受納 (消防署配置)
1. 3	防災センター落成 消防緊急情報システム装置 (指令台設置) 消防緊急伝達システム装置 (無線サイレン設置) 福岡県消防相互応援協定締結 (県内各市町村、組合消防本部)
2. 3	地図検索システム装置設置
2. 7	消防庁長官表彰受賞 (安全功労) [大川市防災協会]
3. 7	内閣総理大臣表彰受賞 (安全功労) [大川市防災協会]
3. 8	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車を受納 (第 2 分団第 2 部)
3. 1 0	大川市防災協会より指揮車を受納 (消防署配置)
4. 2	福岡県知事表彰受賞 (台風 17 , 19 号活動) [消防本部、消防団] 日本消防協会表彰受賞 (竿頭綬) [消防団]
4. 3	救助工作車を消防署に配置
4. 8	消防庁長官表彰受賞 (防災功労) [消防団]
4. 9	内閣総理大臣表彰受賞 (防災功労) [消防団] 職員定数条例 (48 名)
5. 2	福岡県共済農業協同組合連合会より救急車を受納 (消防署配置)
5. 5	大川ライオンズクラブより査察車を受納 (消防署配置)
6. 3	消防専用電話装置設置 (救急波)
7. 4	消防本部機構改革 (2 課 7 係)
7. 6	緊急消防援助隊「消防隊 1 隊」登録
7. 8	日本損害保険協会より水槽付消防自動車を受納 (消防署配置)
8. 1 2	大川ライオンズクラブ、ライオネスクラブより消防団指令車を受納 (消防団本部配置)
1 0. 3	佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定締結
1 0. 9	大川三潞医師会より心肺蘇生用訓練人形 2 体を受納
1 0. 1 2	第 3 分団第 2 部ポンプ庫新築移転
1 1. 1	救急救命士 誕生
1 1. 1 2	第 5 分団第 3 部ポンプ庫新築移転
1 2. 9	大川三潞医師会より心肺蘇生用訓練人形 2 体を受納
1 3. 7	第 1 分団第 4 部ポンプ庫新築移転
1 3. 8	高規格救急自動車を消防署に配置

年月	概要
13. 9	大川三瀨医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
14. 2	久留米大学病院ドクターヘリ運行開始
15. 7	地図検索システム装置更新
15. 9	大川三瀨医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
15. 10	大川中央ライオンズクラブ、大川中央ライオネスクラブより広報査察車を受納 (消防署配置)
	第 2 分団第 2 部ポンプ庫新築移転
15. 11	第 1 分団第 1 部ポンプ庫新築
16. 9	大川三瀨医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
16. 11	大川市防災協会より指揮車を受納 (消防署配置)
17. 3	消防緊急情報システム装置更新 (簡易型指令台導入)
17. 9	大川三瀨医師会より自動体外式除細動器 (AED) トレーナー 2 台を受納
18. 7	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器用ボンベ 14 本を受納
18. 9	大川三瀨医師会より人工呼吸用キューマスク 300 個を受納
19. 9	大川三瀨医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
20. 3	有明海沿岸道路消防相互応援協定締結
20. 5	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器 4 式・空気呼吸器用ボンベ 2 本を受納
20. 9	大川三瀨医師会よりプロジェクターを受納
21. 3	大川中央ライオンズクラブより災害支援車を受納
21. 6	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器 4 式・空気呼吸器用ボンベ 2 本を受納
21. 9	大川三瀨医師会よりノート型パソコン、キューマスクを受納 高木病院より消防防災エアータントを受納
22. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材及び AED 一式を受領
22. 9	大川三瀨医師会より心肺蘇生用訓練人形 6 体を受納
23. 3	東日本大震災に伴う緊急消防援助隊派遣 東日本大震災に伴う災害医療チーム派遣 (消防本部から救急救命士 1 名派遣)
23. 9	大川三瀨医師会より AED トレーナー、キューマスクを受納
23. 12	第 5 分団第 2 部ポンプ庫新築移転
24. 3	筑後地域消防通信指令事務協議会設置に関する協議書締結 (8 消防本部)
24. 8	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材 (救命ボート一式、潜水用器材一式) を受納
24. 9	大川三瀨医師会より心肺蘇生訓練人形 (成人)、バックマスク一式を受納
24. 12	第 3 分団第 1 部ポンプ庫新築移転
25. 6	㈱シギヤマ家具工業より署活動用携帯無線機 13 台を受納
25. 9	大川三瀨医師会より AED トレーナー、ポータブルスクリーンを受納
25. 12	第 6 分団第 1 部・3 部ポンプ庫新築移転
26. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材 (ドライスーツ 2 着、船外機 1 機)、 救急資器材 (酸素バッグ 2 個、酸素ボンベ 1 本、減圧弁 1 個) を受納

年月	概要
26. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー2 台を受納
26. 12	日本損害保険協会より救急 1 号車を受納
27. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材（潜水用器材一式）、消防資器材（防爆ライト 5 個、赤外線温度計 1 個）を受納
27. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー2 台を受納
27. 12	公益財団法人 日本消防協会より団指令車を受納
28. 4	筑後地域消防指令センター運用開始 平成 28 年熊本地震に伴う緊急消防援助隊派遣
28. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材 2 組（潜水用器材一式）を受納
28. 9	大川三瀧医師会より実物投影機・キューマスク（130 個）を受納
29. 4	第 1 分団第 3 部ポンプ庫新築移転
29. 5	嘉麻市産業廃棄物火災に伴う福岡県消防相互応援協定に基づく応援隊派遣
29. 6	㈱シギヤマ家具工業より消防活動用軽トラック 1 台を受納
29. 7	平成 29 年 7 月九州北部豪雨に伴う福岡県消防相互応援協定に基づく応援隊派遣
29. 9	大川三瀧医師会よりワイヤレスアンプ、ワイヤレスマイク、有線マイク（ケーブル付）を受納
30. 6	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器用ボンベ 8 本を受納
30. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー、心肺蘇生訓練人形（小児）を受納
31. 3	大川市消防本部解散

久留米広域消防本部 沿革

年月	概要
21. 4	久留米広域消防本部発足 1 本部 4 署 7 出張所、職員定数 372 名 旧久留米市消防本部と旧福岡県南広域消防組合消防本部が統合し、久留米市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の 3 市 2 町を管轄する消防本部となる。
21. 8	財) 日本宝くじ協会より、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」の寄贈を受け、予防課に配置する。
21. 10	広報誌「久留米広域消防だより」を創刊する。
22. 6	位置情報通知システム（統合型）の運用実験に伴い、総務省より無償貸与される。救急車に映像伝送システムの導入を開始する。
22. 10	久留米市防災協会連合会より、事務連絡用車両（久防号）等の寄贈を受ける。
23. 3	東日本大震災被災地に、緊急消防援助隊として 3 隊 11 名を派遣する。
23. 10	高度救助隊が発足する。（久留米消防署 東出張所）
23. 11	消防音楽隊 30 周年記念演奏会開催

年月	概要
24. 3	久留米消防署本署及び南出張所を一部改築する。(女性専用浴室、仮眠室等)
24. 4	筑後地域 8 消防本部による指令センター共同運用開始に向けて、「筑後地域消防通信指令事務協議会」が発足する。 防災センターに防災映像システムを新設する。
24. 8	消防本部に全国瞬時警報システム (J アラート) を整備する。
25. 1	第 59 回文化財防火デーにおける消防訓練が消防庁長官・文化庁長官視察のもと、大本山善導寺で実施される。
25. 3	総務省消防庁より、緊急消防援助隊都道府県隊の後方支援活動体制の充実強化を目的として、支援車 (I 型) が無償貸与される。
25. 3	(株)アサヒコーポレーション、(株)ブリヂストン久留米工場、(株)ムーンスターの 3 社より、消防本部防災インストラクター「スーパーラビット」の着ぐるみ受納
25. 4	南出張所に救急隊を増隊する。
25. 5	聖マリア病院設置の「高所カメラ」と消防本部庁舎を専用線で接続することにより災害現場のリアルタイムな映像が確認可能となる。 久留米消防署本署救急隊の派遣型救急ワークステーションの運用開始 (久留米大学病院・聖マリア病院)
25. 6	水難救助用ボート 2 艇 (浮羽消防署・三潁消防署) を整備する。
25. 10	東出張所の移転先用地拡張のため、用地 (652 m ²) を購入する。
25. 10	久留米市防災協会連合会より、消防本部防災インストラクタースーパーラビット「ミミィ」の着ぐるみの寄贈を受ける。併せて、既存のスーパーラビットを「ハリィ」と命名する。
26. 9	消防体制整備計画・長期財政計画の策定
26. 11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が久留米市にて開催される。 筑後地域消防指令センター・東出張所合同庁舎竣工
26. 12	久留米市建築協同組合等より、救急防災号受納
27. 1	久留米市ドクターカーの試験運行開始
27. 4	職員定数 381 名となる。
27. 5	善導寺出張所の移転 (善導寺町島) のため、用地 (2510.76 m ²) を購入する。 久留米市が高規格救急車を受納し、久留米消防署にて運用を開始する。
27. 7	ダイハツ工業株式会社より、査察検査車 (軽乗用車) 受納
27. 10	重大な消防法令違反対象物の是正に取り組む特別査察隊が発足する。 南出張所救急隊の派遣型救急ワークステーションの運用開始 (聖マリア病院)
27. 11	筑後地域消防指令センターの仮運用開始・東出張所移転 消防救急デジタル無線の運用開始 Web119 の運用開始
27. 12	三潁消防署に資機材搬送車を新規配備する。

年月	概要
28.	4 筑後地域消防指令センターの本格運用開始 久留米市ドクターカー本格運行開始 三井消防署本署救急隊専従化
28.	4 福岡県総務部防災危機管理局へ職員派遣（1名） 熊本地震被災地に、緊急消防援助隊として延べ28隊97名を派遣する。
28.	9 久留米市防災協会連合会より防火広報用着ぐるみ「アイリィ」受納 社会医療法人天神会より、事務連絡車受納
29.	1 善導寺出張所新庁舎竣工
29.	2 九州地区消防音楽隊フェスティバル in くるめを開催する。
29.	4 各消防署で実施していた検査事務等を消防本部予防課に一元化（事務移管）する。 防災センターをリニューアルし、体験施設の一部として地震体験車を導入する。 特別救助隊が発足する。（三井消防署本署）
29.	5 嘉麻市産業物火災被災地に、福岡県消防相互応援協定に基づき、延べ26隊51名を派遣する。
29.	7 平成29年7月九州北部豪雨被災地に、福岡県消防相互応援協定に基づき、延べ156隊500名を派遣する。 三潞地区防災協会より、事務連絡車受納
29.	8 消防広域化推進協議会の設置
29.	9 みい農業協同組合より、事務連絡車受納
29.	11 善導寺出張所新庁舎へ移転 三潞消防署新庁舎竣工 三井・小郡地区防災協会より、広報用ミニ救急車受納
30.	3 久留米消防署に支援車Ⅲ型を新規配備
30.	7 平成30年7月豪雨被災地に、緊急消防援助隊として延べ7隊35名を派遣する。 田中藍株式会社より、エアータント受納
31.	4 大川市消防本部と統合 1本部5署7出張所、職員定数429名 大川市消防本部との統合により、久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の4市2町を管轄する消防本部となる。 浮羽消防署本署及び三潞消防署救急隊専従化
R 1.	8 株式会社樋口自動車より、事務連絡車を受納
2.	3 消防本部にドローンを新規配備 三井消防署に支援車Ⅲ型を新規配備 三潞消防署にポンプ機能付救助工作車を配備（更新） 大川消防署に資機材搬送車を配備
2.	7 令和2年7月豪雨被災地に、緊急消防援助隊として延べ10隊35名を派遣する。
2.	8 職員定数条例を改正（35名増員）し、職員定数464名となる。

年月	概要
2. 8	総務省消防庁より、緊急消防援助隊都道府県隊の救助活動体制の充実強化を目的として、津波・大規模風水害対策車が無償貸与される。
2. 8	久留米市防災協会連合会より、アイソレータ（2台）受納
3. 3	日商保険コンサルティング株式会社より、消防音楽隊用制服を受納 久留米消防署（善導寺出張所及び西出張所）に、水害救助支援ボートを新規配備する。 浮羽消防署に、水槽ポンプ機能付救助工作車を配備する。（更新）
4. 3	三潞地区防災協会より、水害救助支援ボートを受納
4. 5	浮羽みのうライオンズクラブより、水害救助支援ボートを受納

令和4年度 消防本部 施策概要

1 人員の配置・育成

- (1) 定員管理計画に基づく適正な要員配置 重点項目
- (2) 再任用職員の有効活用
- (3) 将来を見据えた人材育成 重点項目
- (4) 働きやすい職場環境の確保

2 消防施設等の整備

- (1) 消防署所施設の整備 重点項目
- (2) 消防車両の更新・整備
- (3) 消防資機材の更新・整備
- (4) 救急資機材の整理・管理
- (5) 署活動用無線機の更新・整備
- (6) 次期指令システム及びデジタル無線全体整備に係る調査研究

3 消防サービスの質の向上

- (1) 災害対応力の強化
- (2) 火災現場活動の質の向上
- (3) 救急業務の高度化
- (4) 病院前救急医療体制の充実
- (5) 高度救助体制の充実
- (6) 指令管制能力の向上
- (7) 近代的な消防活動指針の構築 重点項目

4 広域連携体制の強化

- (1) 受援体制の確立 重点項目
- (2) 消防相互応援体制の充実
- (3) 緊急消防援助隊支援体制の強化
- (4) 消防通信指令業務の充実

5 関係機関との連携による災害対応力の強化

- (1) 自助・共助体制構築の支援
- (2) 構成市町及び消防団との連携

6 防火施策の充実

- (1) 防火思想の普及啓発の推進
- (2) 重大な消防法令違反対象物の是正推進 重点項目
- (3) 大規模物品販売店舗の火災予防策の強化
- (4) 防火対象物利用者等の安全確保策の充実
- (5) 建築予定の大規模対象物等の防火安全性確保
- (6) 危険物施設の自主保安体制の確立促進
- (7) 火災原因調査体制の充実

消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部

総務課

- (1) 総合企画及び調整に関すること。
- (2) 予算及び事業に関する事務の総括に関すること。
- (3) 公印の保管に関すること。
- (4) 文書事務の総括に関すること。
- (5) 本部に属する条例、規則及び規程等の制定改廃に関すること。
- (6) 構成自治体との連絡調整に関すること。
- (7) 本部に属する財産の管理に関すること。
- (8) 庁舎等の整備に関すること。
- (9) 本部に属する情報の公開に関すること。
- (10) 本部に属する個人情報保護に関すること。
- (11) 公益通報者保護に関すること（外部の労働者からの通報に限る。）。
- (12) 消防広報広聴の総括に関すること。
- (13) 消防年報に関すること。
- (14) 消防音楽隊に関すること。
- (15) その他各課に属さない事務に関すること。

人事研修課

- (1) 組織に関すること。
- (2) 職員の定数及び配置に関すること。
- (3) 職員の任免、分限、懲戒その他身分に関すること。
- (4) 職員の勤務規律に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 報酬、費用弁償及び旅費の基準に関すること。
- (7) 職員の能力開発及び研修計画に関すること。
- (8) 表彰に関すること。
- (9) 福岡県市町村職員共済組合に関すること。
- (10) 職員の福利厚生に関すること。
- (11) 職員の安全衛生管理に関すること。
- (12) 職員の公務災害補償に関すること。
- (13) 消防職員委員会に関すること。
- (14) 公益通報者保護に関すること（内部の職員等からの通報に限る。）。
- (15) その他人事研修事務に関すること。

予防課

- (1) 火災予防の対策に関すること。
- (2) 予防査察及び違反処理の事務に関すること。
- (3) 建築確認等の同意事務に関すること。
- (4) 危険物施設の許可及び認可等の事務に関すること。
- (5) 消防用設備等の検査及び指導に関すること。
- (6) 火災調査事務に関すること。
- (7) 危険物災害調査事務に関すること。
- (8) 火災予防に係る広報及び広聴に関すること。
- (9) 火災予防に係る調査及び統計に関すること。
- (10) 防火管理者及び防災管理者の資格認定に関すること。
- (11) 自主防災組織の育成に係る事務に関すること。
- (12) 外郭団体の育成に関すること。
- (13) 防災センターに関すること。
- (14) その他火災予防に係る事務及び予防行政の総括調整に関すること。

救急防災課

- (1) 水火災その他の災害の総合的な警防計画に関すること。
- (2) 救急、救助対策の総合企画に関すること。
- (3) 各種災害の出動計画に関すること。
- (4) 総合的な訓練及び計画に関すること。
- (5) 救急、救助その他災害の統計及び報告に関すること。

- (6) 消防の国民保護措置に関すること。
- (7) 消防相互応援協定に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊に関すること。
- (9) 消防活動及び消防訓練の安全管理の総括に関すること。
- (10) 消防車両の安全運転管理の総括に関すること。
- (11) 消防車両及び装備に関すること。
- (12) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (13) 医療関係機関との連絡調整に関すること。
- (14) メディカルコントロールに関すること。
- (15) その他救急、救助及び防災の事務に関すること。

情報指令課

- (1) 災害通報の受信及び出動指令に関すること。
- (2) 指令管制業務に関すること。
- (3) 消防情報の収集及び伝達に関すること。
- (4) 関係機関への災害情報の連絡及び出動要請に関すること。
- (5) 関係団体への連絡に関すること。
- (6) 消防通信施設の保安全管理及び運用に関すること。
- (7) 消防活動支援システムに関すること。
- (8) 通信情報管理の総括に関すること。
- (9) 消防信号に関すること。
- (10) 筑後地域消防通信指令事務協議会に関すること。
- (11) その他消防通信事務に関すること。

消 防 署（各消防署共通）

警防課

- (1) 署に属する事務事業の総括及び企画調整に関すること。
- (2) 署に属する文書の管理に関すること。
- (3) 署に属する公印の保管に関すること。
- (4) 署に属する職員の配置及び勤務に関すること。
- (5) 署員の研修及び訓練計画に関すること。
- (6) 署に属する統計及び報告に関すること。
- (7) 部隊の編成及び運用に関すること。
- (8) 安全管理に関すること。
- (9) 建築確認等の同意及び危険物施設の許認可並びに消防用設備等の検査及び指導に関すること。
- (10) 消防対象物の査察及び違反処理の指導に関すること。
- (11) 液化石油ガス、旅館等の意見書の交付に関すること。
- (12) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (13) 危険物災害の調査に関すること。
- (14) 火災の予防及び防火思想の普及啓発に関すること。
- (15) 外郭団体等の育成指導に関すること。
- (16) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (17) 庁舎等の維持管理に関すること。
- (18) 各種証明に関すること。
- (19) 消防団の訓練及び指導に関すること。
- (20) 消防気象に関すること。
- (21) その他火災予防及び警防業務に関すること。

消防課

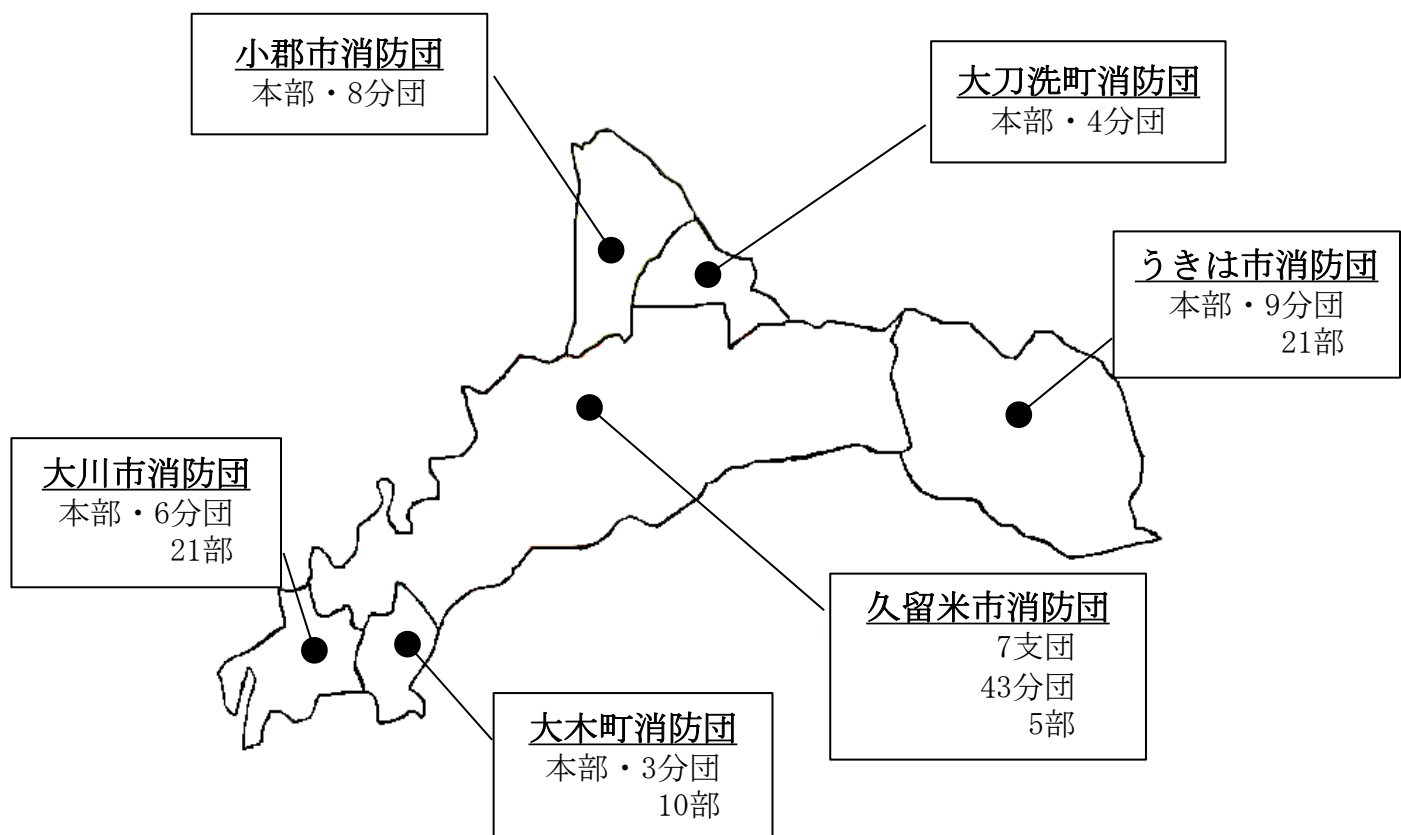
- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防除に関すること。
- (2) 救急及び救助業務に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 訓練及び演習の計画に関すること。
- (5) 消防車両及び資機材の運用管理に関すること。
- (6) 消防水利の調査に関すること。
- (7) 消防対象物及び危険物施設の査察及び指導に関すること。
- (8) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (9) 危険物災害の調査に関すること。
- (10) 防火及び救急指導に関すること。
- (11) 消防団の訓練及び指導に関すること。
- (12) その他警防業務に関すること。

久留米広域消防本部管内消防団の概要

(令和4年4月1日)

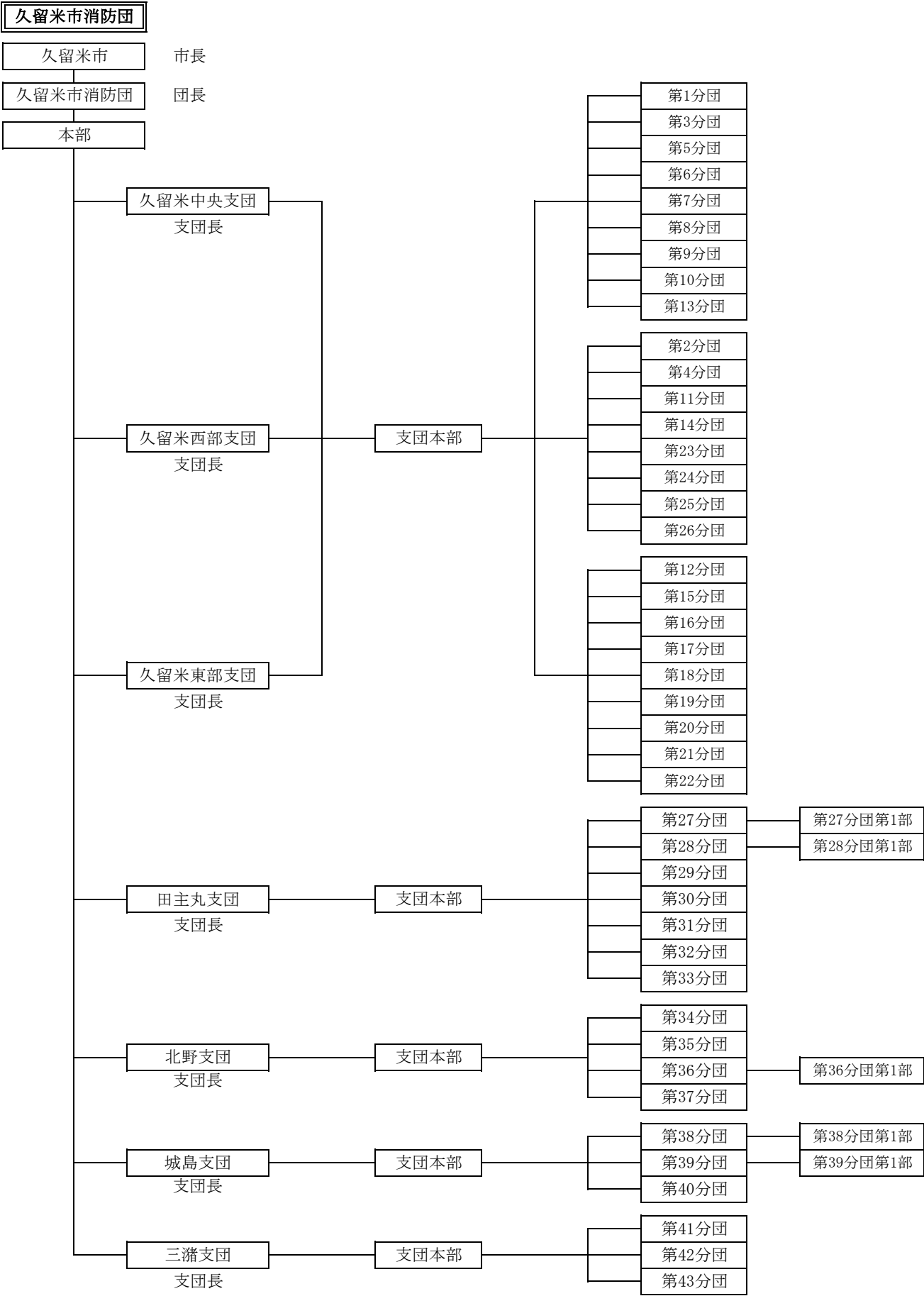
消防団名	団本部所在地	消防団長	支団	本部分団	分団	部	定員	実員
久留米市消防団	久留米市東櫛原町999番地1	古賀 誠一	7		43	5	1,587	1,513
大川市消防団	大川市大字酒見256番地1	吉川 昌徳		1	6	21	339	259
小郡市消防団	小郡市小郡255番地1	柳原 和敏		1	8		255	238
うきは市消防団	うきは市吉井町新治316番地	松村 康之		1	9	21	500	469
大刀洗町消防団	三井郡大刀洗町大字富多819番地	安達 友喜		1	4		100	94
大木町消防団	三潞郡大木町大字八町牟田255番地1	中島 豊記		1	3	10	168	167
管内総数			7	5	73	57	2,949	2,740

構成市町消防団配置図

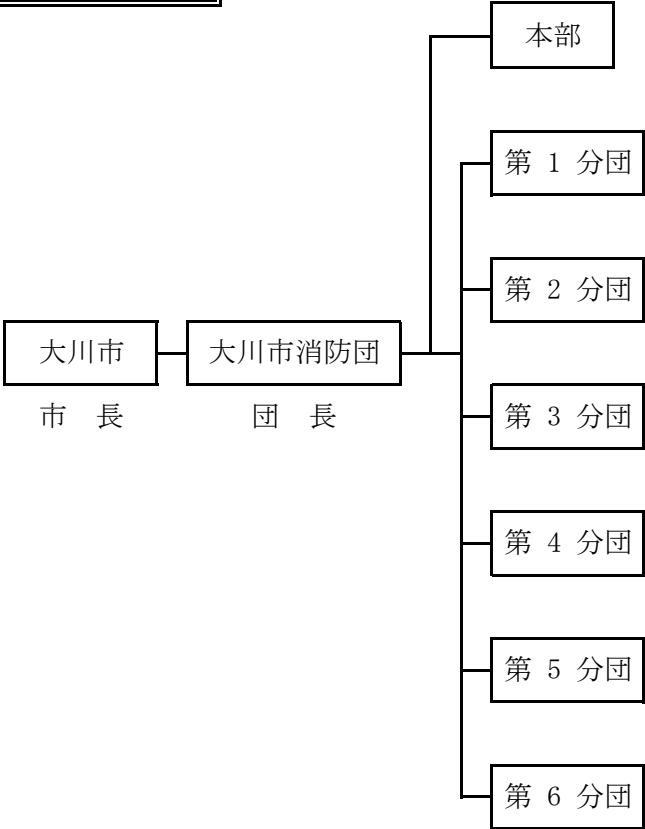


構成市町消防団組織系統図

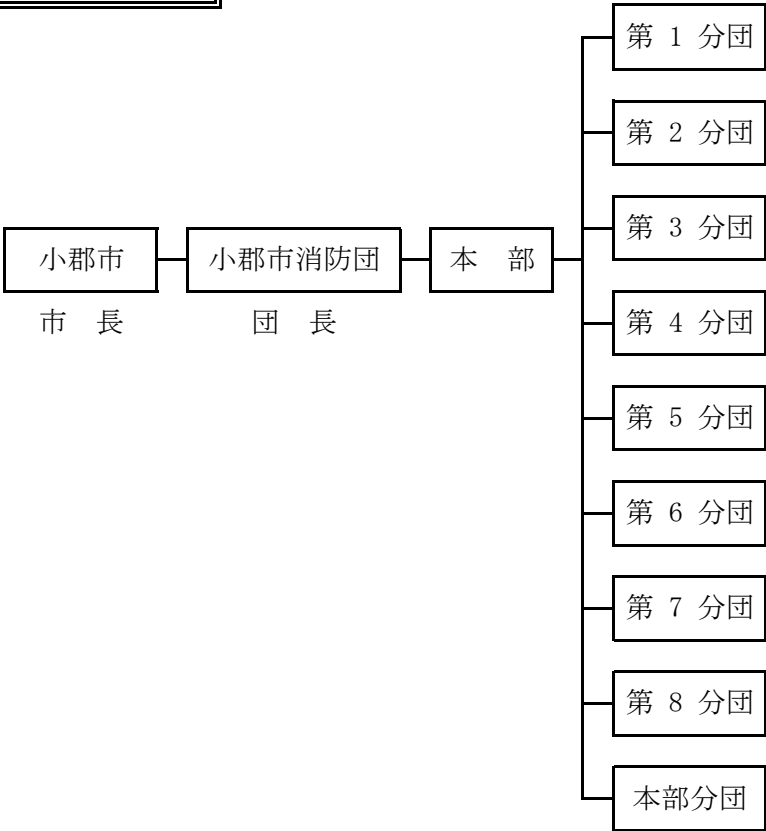
令和4年4月1日

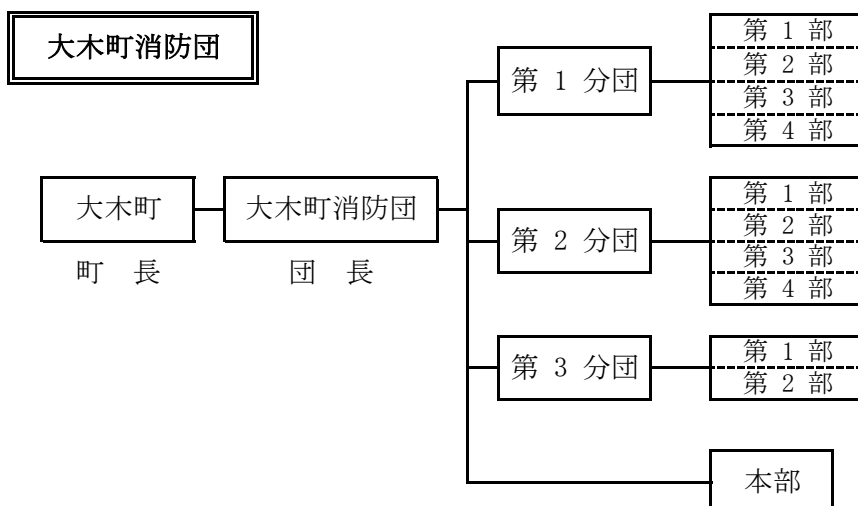
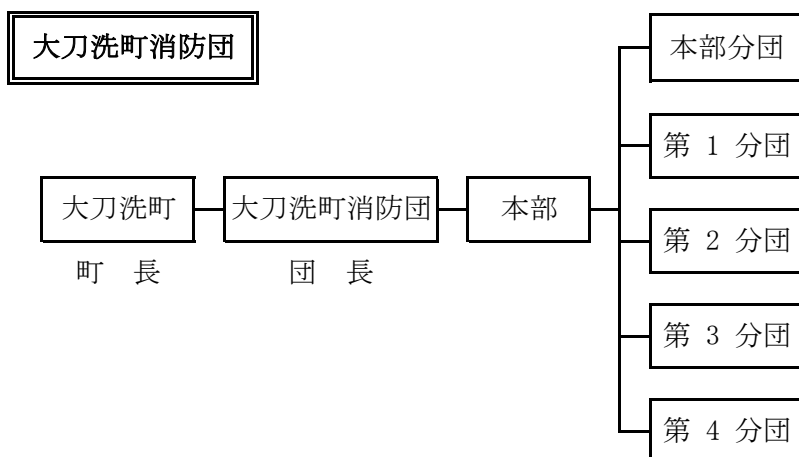
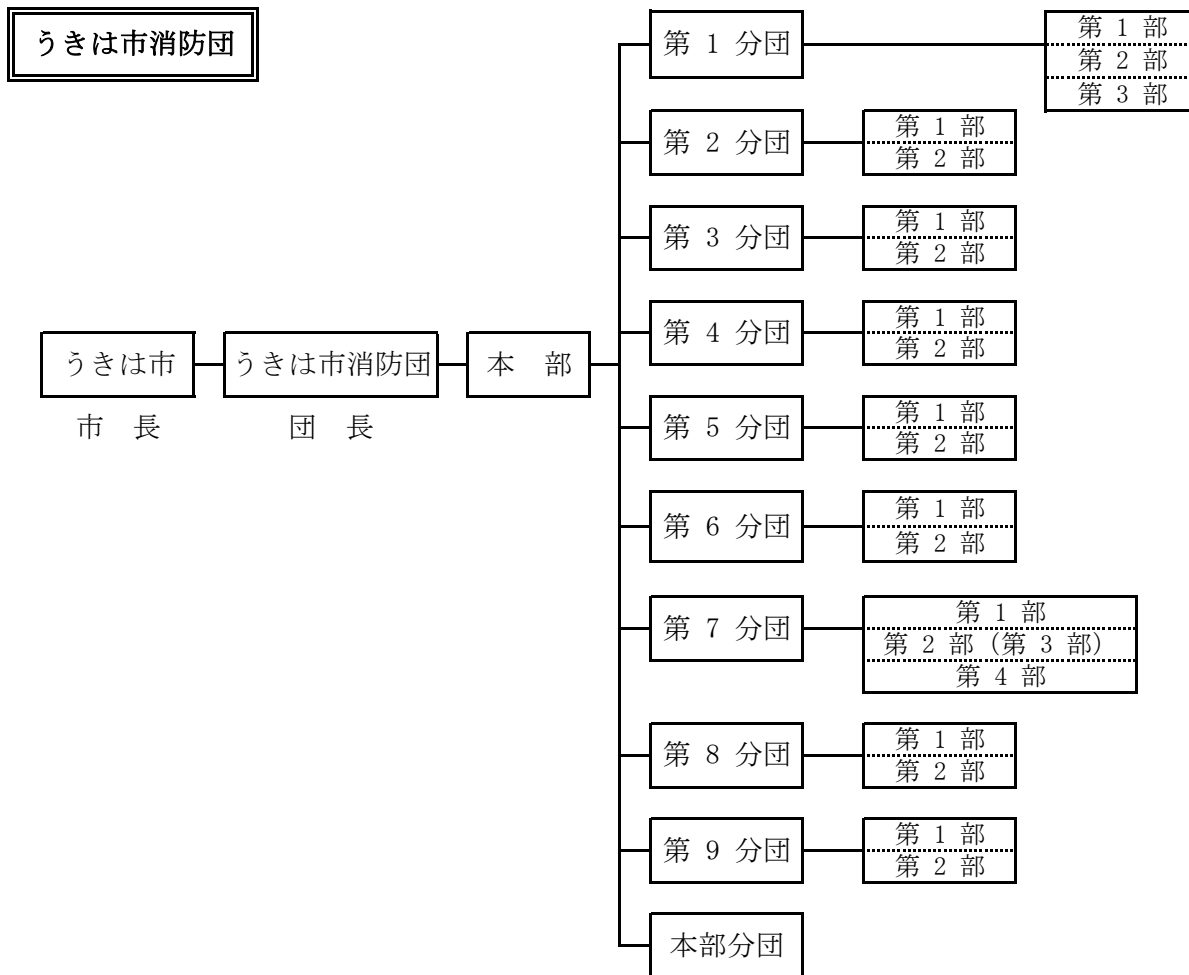


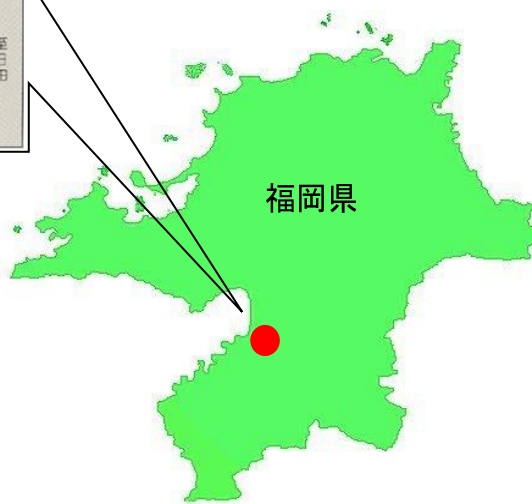
大川市消防団



小郡市消防団







消 防 年 報

(令和3年版)

発行日

令和4年9月

発行者

久留米広域消防本部

久留米市東櫛原町999番地1

T E L 0942 (38) 5151